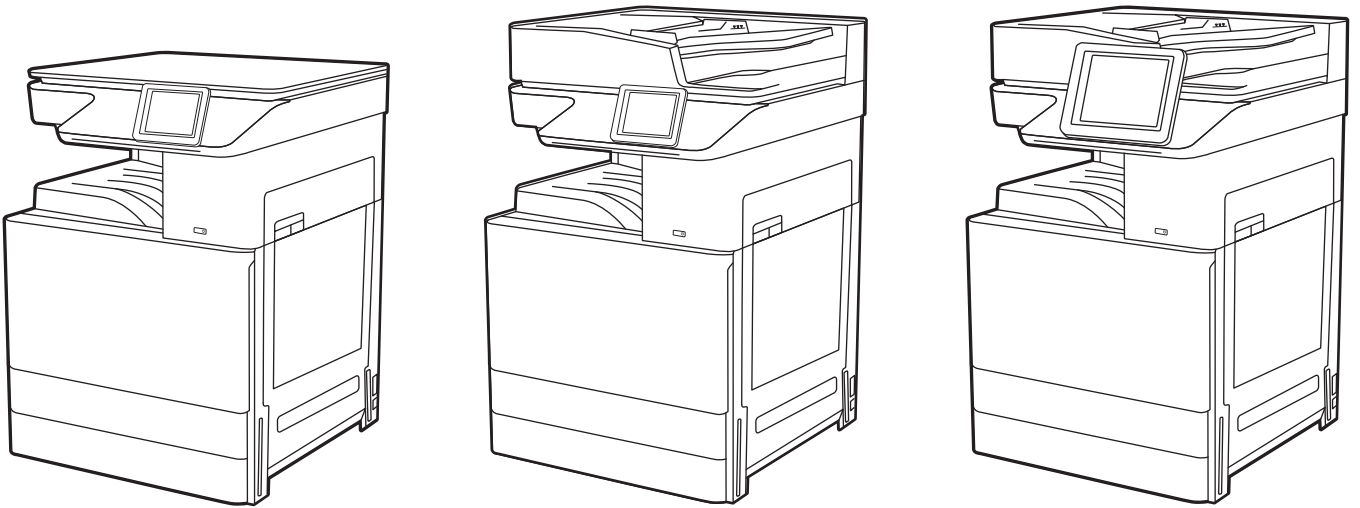




HP Color LaserJet Managed MFP E77422, E77428

ユーザーガイド



www.hp.com/videos/A3
www.hp.com/support/colorljE77422MFP



HP Color LaserJet Managed MFP E77422,
E77428

ユーザーガイド

著作権およびライセンス

© Copyright 2019 HP Development Company, L.P.

事前の書面による許可なく複製、改変、変換することは、著作権法で許可されていない限り禁じられています。

本文書の内容は、事前の通知なく変更される可能性があります。

HP の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品またはサービスに付属の明示的な保証条項で規定されます。本文書のいかなる部分も、追加の保証を構成するとは見なされません。HP は、本文書に含まれる技術的または表記上の誤記や欠落について、一切の責任を負わないものとします。

Edition 1, 4/2019

商標について

Adobe®、Adobe Photoshop®、Acrobat®、および PostScript® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Apple および Apple ロゴは、米国およびその他の国/地域における Apple Inc. の商標です。

macOS は、米国およびその他の国/地域における Apple Inc. の商標です。

AirPrint は、米国およびその他の国/地域における Apple Inc. の商標です。

Google™ は、Google Inc. の商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows XP®、および Windows Vista® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

UNIX® は Open Group の登録商標です。

目次

1 プリンタの概要	11
警告アイコン	11
感電の危険性	13
プリンタの図	14
プリンタ前面図	14
プリンタ背面図	17
インタフェースポート	18
コントロールパネル	19
タッチスクリーン コントロール パネルの使用法	21
プリンタの仕様	23
技術仕様	23
サポートされているオペレーティングシステム	25
プリンタの寸法	27
消費電力、電気仕様、およびアコースティック エミッション	28
動作環境範囲	29
プリンタのハードウェアのセットアップとソフトウェアのインストール	29
2 用紙トレイ	31
はじめに	31
トレイ 1 (汎用トレイ) に用紙をセット	32
トレイ 1 (汎用トレイ) のセット	32
トレイ 1 (汎用トレイ) の用紙の向き	33
代替レターヘッドモードの使用	38
プリンタのコントロールパネル メニューを使用して代替レターヘッドモ ードを有効にする	38
トレイ 2、トレイ 3 およびオプションの 2x520 枚給紙トレイへの用紙のセット	39
トレイ 2、トレイ 3 およびオプションの 2x520 枚給紙トレイへの用紙のセット	39
トレイ 2、トレイ 3 およびオプションの 2x520 枚給紙トレイの用紙の向き	41
代替レターヘッドモードの使用	44
プリンタのコントロールパネル メニューを使用して代替レターヘッドモ ードを有効にする	44
封筒のセットと印刷	45

封筒の印刷	45
封筒の向き	45
ラベルのセットと印刷	47
ラベル紙の手差し	47
ラベルの向き	47
3 サプライ品、アクセサリ、および部品	49
サプライ品、アクセサリ、および部品の注文	50
注文	50
トナーカートリッジの交換	51
トナーカートリッジ情報	51
トナーカートリッジの取り外しと交換	51
トナー回収ユニットの交換	54
トナー回収ユニットの取り外しと交換	54
ステイプルカートリッジ(オプションの内部フィニッシャ)の交換	57
はじめに	57
インナー フィニッシャ アクセサリのステイプルカートリッジの取り外しと交換	57
4 印刷	61
印刷タスク (Windows)	62
印刷方法 (Windows)	62
自動両面印刷 (Windows)	62
手動両面印刷 (Windows)	63
1枚の用紙への複数ページの印刷 (Windows)	64
用紙タイプの選択 (Windows)	64
補足的な印刷タスク	65
印刷タスク (macOS)	66
印刷方法 (macOS)	66
自動両面印刷 (macOS)	66
手動両面印刷 (macOS)	67
1枚の用紙に複数ページを印刷する (macOS)	67
用紙タイプを選択する (macOS)	68
補足的な印刷タスク	68
プリンタに印刷ジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷	69
はじめに	69
保存ジョブの作成 (Windows)	69
保存ジョブの作成 (macOS)	70
印刷してジョブ保存	71
保存ジョブの削除	72
プリンタに保存されているジョブを削除	72

ジョブ保存の制限を変更	72
ジョブ アカウントの目的でプリンタに送信される情報	72
USB フラッシュ ドライブからの印刷	73
USB ポートを有効化して印刷	74
方法 1: プリンタのコントロールパネルから USB ポートを有効化	74
方法 2: HP 内蔵 Web サーバから USB ポートを有効化 (ネットワークに接続し ているプリンタのみ)	74
USB からの文書の印刷	74
高速 USB 2.0 ポート (有線) を使用して印刷する	76
高速 USB ポートを有効化して印刷する	77
方法 1: プリンタのコントロールパネル メニューから高速 USB 2.0 ポートを 有効化	77
方法 2: HP 内蔵 Web サーバから高速 USB 2.0 ポートを有効化 (ネットワーク に接続しているプリンタのみ)	77

5 コピー 79

コピーする	79
両面コピーする	81
補足的なコピー タスク	82

6 スキャン 85

[スキャンして電子メールで送信] のセットアップ	86
はじめに	86
作業を開始する前に	86
手順 1 : HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス	87
手順 2 : [ネットワーク ID] 設定の設定	87
手順 3 : [電子メールへの送信] 機能の設定	89
方法 1: [電子メールセットアップウィザード] を使用した基本的な設定	89
方法 2: 電子メールセットアップを使用した高度な設定	92
手順 4 : クイックセットの設定 (オプション)	97
手順 5 : Office 365 Outlook を使用するための [電子メールへの送信] のセットアップ (オ プション)	99
はじめに	99
Office 365 Outlook アカウントから電子メールを送信するための送信電子メ ールサーバ (SMTP) の設定	99
[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] のセットアップ	102
はじめに	102
作業を開始する前に	102
手順 1 : HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス	102
手順 2 : [スキャン データをネットワーク フォルダに送信] のセットアップ	104
方法 1: [スキャン データをネットワーク フォルダに送信ウィザード] の使用 .	104

方法 2:[スキャンデータをネットワークフォルダに送信セットアップ]の 使用	106
手順 1 : 設定の開始	106
手順 2 : スキャンデータをネットワークフォルダに送信する設定 の構成	107
手順 3 : 設定の完了	117
[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップ	118
はじめに	118
手順 1 : HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス	118
手順 2 : [スキャンして USB ドライブに保存] の有効化	119
手順 3 : クイックセットの設定 (オプション)	119
[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップのデフォルトのスキャン設定	120
[USB に保存] のセットアップのデフォルトのファイル設定	121
スキャンしてジョブ保存	123
はじめに	123
スキャンしてプリンタのジョブ保存に送信する	123
プリンタのジョブ保存からの印刷	125
スキャンして USB ドライブに保存	126
はじめに	126
スキャンして USB ドライブに保存	126
HP JetAdvantage ビジネスソリューションの使用	127
補足的なスキャンタスク	128
7 ファックス	129
ファックスのセットアップ	130
はじめに	130
プリンタのコントロールパネルを使用したファックスのセットアップ	130
ファックス設定の変更	131
ファックスダイヤル設定	131
一般的なファックス送信設定	132
ファックス受信設定	133
ファックスの送信	134
補足的なファックスタスク	136
8 プリンタの管理	137
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) の高度な設定	138
はじめに	138
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) へのアクセス方法	138
HP 内蔵 Web サーバの機能	140
情報 タブ	140
一般 タブ	141

コピー/印刷 タブ	142
スキャン/デジタル送信 タブ	142
ファックスタブ	144
サプライ品 タブ	144
トラブルシューティング タブ	144
セキュリティ タブ	145
HP Web サービス タブ	146
Networking (ネットワーキング) タブ	146
その他のリンク のリスト	148
IP ネットワークの設定	149
プリンタ共有の免責条項	149
ネットワーク設定の表示または変更	149
ネットワーク上でのプリンタ名の変更	149
コントロールパネルから IPv4 TCP/IP パラメータを手動で設定	150
コントロールパネルから IPv6 TCP/IP パラメータを手動で設定	150
リンク速度と二重通信設定	151
プリンタのセキュリティ機能	153
はじめに	153
セキュリティ ステートメント	153
管理者パスワードの割り当て	154
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使用してパスワードを設定する	154
プリンタのコントロールパネルでユーザーのアクセス認証情報を入力する ..	154
IP セキュリティ	155
暗号化サポート : HP ハイパフォーマンスセキュアハードディスク	155
フォーマッタのロック	155
省エネ設定	156
スリープタイマをセットし、1W 以下の電力を使用するようプリンタを設定します。 ..	156
スリープスケジュールの設定	156
HP Web Jetadmin	157
ソフトウェアおよびファームウェアの更新	157

9 問題の解決 159

カスタマーサポート	160
コントロールパネルのヘルプシステム	160
出荷時の設定に戻す	161
はじめに	161
方法 1: プリンタのコントロールパネルで出荷時の設定に戻す	161
方法 2: HP 内蔵 Web サーバから出荷時の設定に戻す (ネットワーク接続されているプ リンタのみ)	161
「カートリッジ残量わずか」または「カートリッジ残量非常にわずか」のメッセージがプリンタ のコントロールパネルに表示される	162

給紙されない、または給紙ミスが発生する	163
はじめに	163
用紙がピックアップされない	163
複数枚の用紙がピックアップされる	165
文書フィーダで紙詰まり、スキューが起こったり、複数枚の用紙がピックアップされる	169
紙詰まりの解消	170
はじめに	170
紙詰まりの発生場所	170
自動ナビゲーションによる紙詰まり解消	171
紙詰まりが頻繁に、または繰り返し発生する	171
文書フィーダにおける紙詰まりの解消 - 31.13.yz	172
トレイ 1 (汎用トレイ) の紙詰まりを取り除く - 13.A1	173
トレイ 2、トレイ 3 の紙詰まりの解消 - 13.A2、13.A3	174
排紙ピンの紙詰まりの解消 - 13.E1	175
右のドアおよびフューザエリアの紙詰まりの解消 - 13.B9、13.B2、13.FF	176
印刷品質の問題の解決	178
はじめに	178
印刷品質のトラブルシューティング	179
プリンターのファームウェアをアップデートする	179
別のソフトウェア プログラムからの印刷	179
印刷ジョブで使用する用紙タイプ設定の確認	180
プリンタ用紙タイプ設定の確認	180
用紙タイプ設定の変更 (Windows)	180
用紙タイプ設定の確認 (macOS)	180
トナーカートリッジステータスの確認	181
手順 1: サプライ品ステータス ページの印刷	181
手順 2: サプライ品ステータスのチェック	181
クリーニング ページの印刷	181
トナーカートリッジを目視で検査します。	182
用紙および印刷環境の確認	183
手順 1: HP 仕様を満たす用紙を使用	183
手順 2: 環境の確認	183
手順 3: 各トレイ位置を設定	183
別のプリントドライバで試行	184
プリンタを校正してカラーを調整	184
画像の不具合のトラブルシューティング	185
コピーのイメージ品質を向上させる	195
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する	195
スキャナの校正	196
用紙設定を確認する	198
用紙選択オプションを確認します。	198

イメージ調整設定を確認する	198
テキストまたは画像に合わせてコピー品質を最適化する	198
最小マージン コピー	199
スキャンのイメージ品質を向上させる	200
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する	200
解像度設定を確認する	201
カラー設定を確認する	202
イメージ調整設定を確認する	202
テキストまたは画像のスキャン品質を最適化する	203
出力品質設定を確認する	203
ファックスの画像品質の向上	205
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する	205
送信ファックスの解像度設定を確認する	206
イメージ調整設定を確認する	207
テキストまたは画像のファックス品質を最適化する	207
エラー修正設定を確認する	207
用紙の大きさに合わせる設定を確認する	208
異なるファックス機に送信する	208
送信側のファックス機を確認する	208
ファックスに関する問題の解決	209
ファックスの問題を解決するためのチェックリスト	210
どのような種類の電話回線を使用していますか？	210
サージ保護装置を使用していますか？	210
電話会社が提供する音声メッセージサービスまたは留守番電話を使用していますか？	211
電話回線に割り込み通話機能はありますか？	211
ファックスアクセサリのステータスの確認	211
一般的なファックスの問題	213
ファックスを送信できない	213
ファックスアドレス帳ボタンが表示されない	213
HP Web Jetadmin のファックス設定が見つからない	213
オーバーレイを有効にしても、ヘッダがページ上部に付加される	213
受信者ボックスに名前と番号が混在している	213
1 ページのファックスが 2 ページにわたって印刷される	214
ファックスの途中で文書フィーダにある文書が止まる	214
ファックスアクセサリの音量が大きすぎるか小さすぎる	214
USB フラッシュ ドライブからの応答がない	215
方法 1: プリンタのコントロールパネルから USB ポートを有効化	215
方法 2: HP 内蔵 Web サーバから USB ポートを有効化 (ネットワークに接続しているプリンタのみ)	215

1 プリンタの概要

プリンタの機能の場所、プリンタの物理的および技術的な仕様、セットアップ情報の場所を確認します。

- [警告アイコン](#)
- [感電の危険性](#)
- [プリンタの図](#)
- [プリンタの仕様](#)
- [プリンタのハードウェアのセットアップとソフトウェアのインストール](#)

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/A3 を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljE77422MFP を参照してください。

詳細は、[次を参照してください](#)。

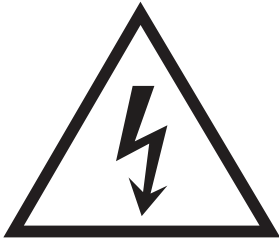
お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

警告アイコン

アイコンの定義で指定されているように、ご使用の HP プリンタに警告のアイコンが表示された場合は、注意してください。

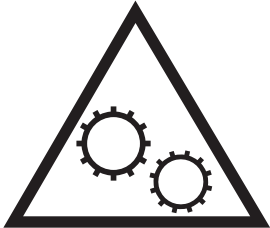
- 注意: 感電



- 注意: 表面が高温



- 注意: 可動部品に近づかない



- 注意: 近くに尖った部分がある



- 警告



感電の危険性

以下の重要な安全上の注意事項をお読みください。

- これらの安全上の注意事項を読んで理解し、感電の危険を回避してください。
- 火災や感電によるけがの危険性を減らすため、この製品を使用するときは、必ず安全に関する基本的な注意事項に従ってください。
- ユーザーガイドに記載されているすべての手順を読んで理解してください。
プリンタ上に記載されたすべての警告および指示に従ってください。
- 製品を電源に接続するときは、接地済みの電源コンセントのみを使用してください。コンセントが接地済みであるかどうか不明な場合は、資格のある技術者に確認してください。
- プリンタのソケットのいずれかの接点に触れないようにしてください。破損したコードはすぐに交換してください。
- クリーニングする前に、製品を電源コンセントから抜いてください。
- この製品を、水の近くや濡れた手で設置または使用しないでください。
- プリンタを水平で安定した面にしっかりと取り付けてください。
- 電源コードを踏んだり、引っかかったりしない安全な場所に製品を設置してください。

プリンタの図

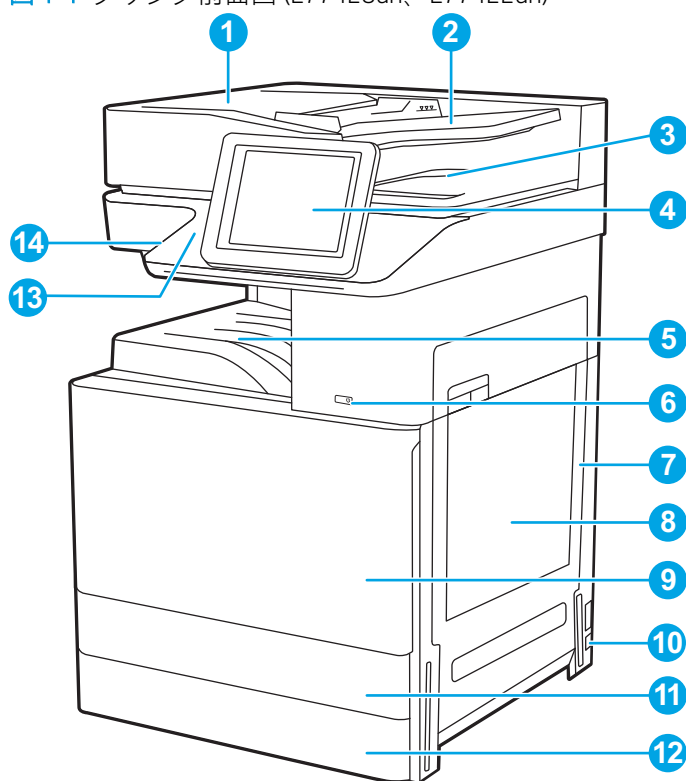
プリンタおよびコントロールパネルの主な機能の位置を確認します。

- [プリンタ前面図](#)
- [プリンタ背面図](#)
- [インタフェースポート](#)
- [コントロールパネル](#)

プリンタ前面図

プリンタの前面にある機能の位置を確認します。

図 1-1 プリンタ前面図 (E77428dn、E77422dn)



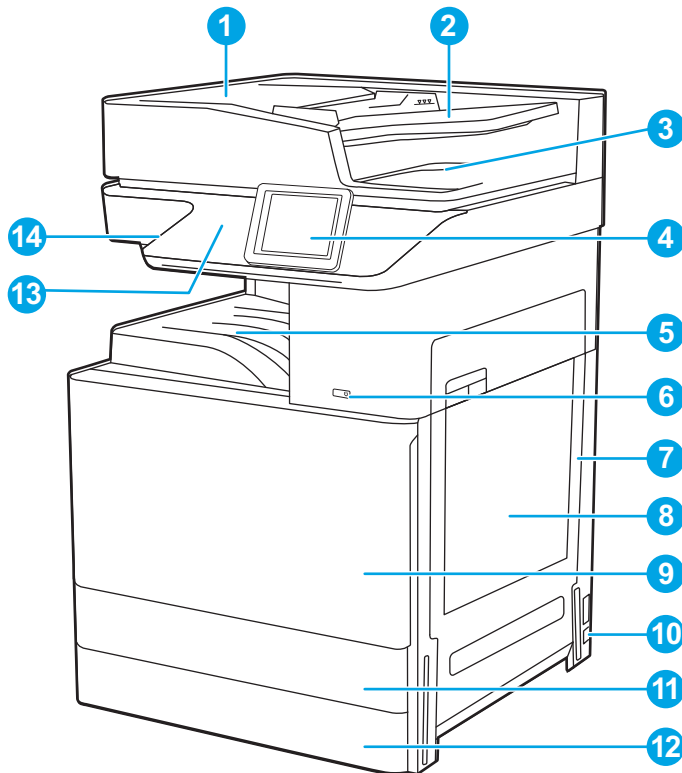
項目	説明
1	自動文書フィーダカバー (紙詰まりを解消する際に開く)
2	自動文書フィーダ給紙トレイ
3	自動文書フィーダ排紙トレイ
4	8 インチ カラー タッチスクリーン ディスプレイ 付き コントロール パネル (上方に傾けて見やすく表示可能)
5	排紙ビン
6	オン/オフ ボタン
7	右のドア (紙詰まりを解消する際に開く)

項目	説明
8	トレイ 1 (汎用トレイ)
9	正面ドア (トナーカートリッジへのアクセス)
10	電源接続
11	トレイ 2
12	トレイ 3
13	ハードウェア統合ポケット (HIP) (アクセサリやサードパーティ製デバイスの接続用)
14	イーージーアクセス USB ポート

USB フラッシュ ドライブを挿入するだけで、コンピュータを使わずに印刷やスキャンを行ったり、プリンタファームウェアを更新することができます。

注記： 管理者がポートを有効にしておく必要があります。

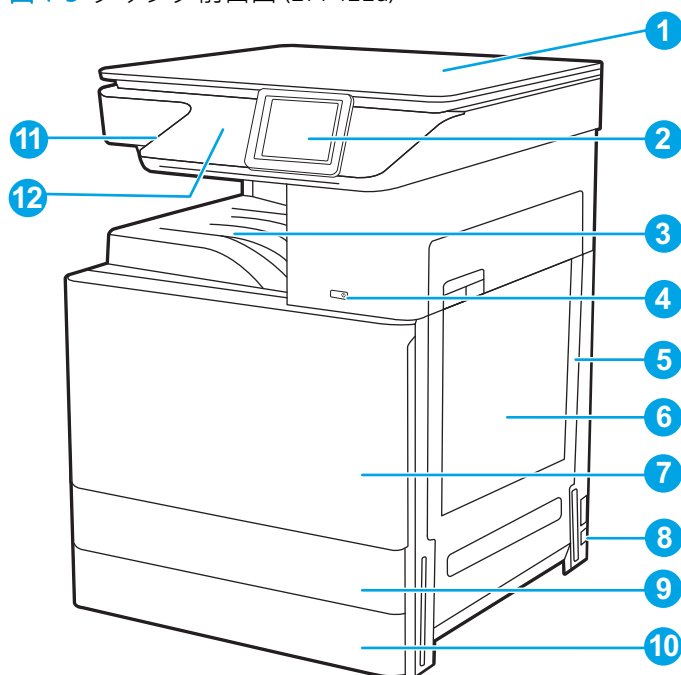
図 1-2 プリンタ前面図 (E77422dv)



項目	説明
1	自動文書フィーダカバー (紙詰まりを解消する際に開く)
2	自動文書フィーダ給紙トレイ
3	自動文書フィーダ排紙トレイ
4	4.3 インチカラー タッチスクリーン ディスプレイ付きコントロールパネル (上方に傾けて見やすく表示可能)
5	排紙ピン

項目	説明
6	オン/オフ ボタン
7	右のドア (紙詰まりを解消する際に開く)
8	トレイ 1 (汎用トレイ)
9	正面ドア (トナーカートリッジへのアクセス)
10	電源接続
11	トレイ 2
12	トレイ 3
13	ハードウェア統合ポケット (HIP) (アクセサリやサードパーティ製デバイスの接続用)
14	イージーアクセス USB ポート USB フラッシュドライブを挿入するだけで、コンピュータを使わずに印刷やスキャンを行ったり、プリンタファームウェアを更新することができます。 注記： 管理者がポートを有効にしておく必要があります。

図 1-3 プリンタ前面図 (E77422a)



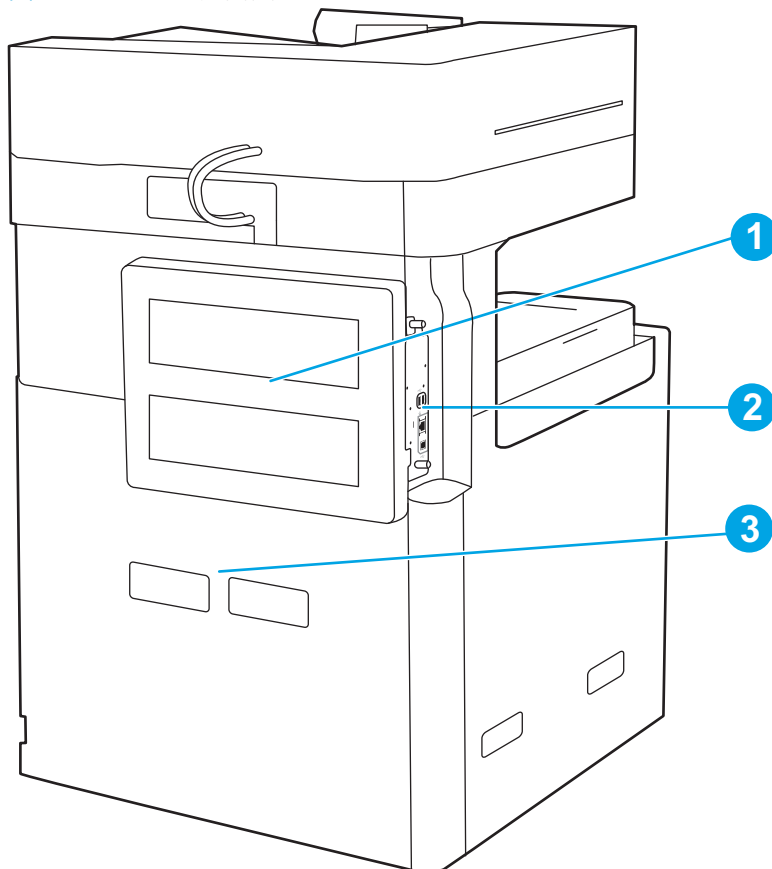
項目	説明
1	スキャナカバー、スキャンガラスの保護用
2	4.3 インチ カラー タッチスクリーン ディスプレイ付きコントロールパネル (上方に傾けて見やすく表示可能)
3	排紙ビン
4	オン/オフ ボタン
5	右のドア (紙詰まりを解消する際に開く)

項目	説明
6	トレイ 1 (汎用トレイ)
7	正面ドア (トナーカートリッジへのアクセス)
8	電源接続
9	トレイ 2
10	トレイ 3
11	イージーアクセス USB ポート USB フラッシュドライブを挿入するだけで、コンピュータを使わずに印刷やスキャンを行ったり、プリンタファームウェアを更新することができます。 注記： 管理者がポートを有効にしておく必要があります。
12	ハードウェア統合ポケット (HIP) (アクセサリやサードパーティ製デバイスの接続用)

プリンタ背面図

プリンタの背面にある機能の位置を確認します。

図 1-4 プリンタ背面図



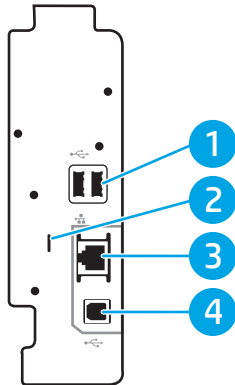
項目	説明
1	フォーマッタカバー

項目	説明
2	インタフェースポート
3	シリアル番号および製品番号ラベル

インタフェースポート

プリンタフォーマットのインタフェースポートを見つけます。

図 1-5 インタフェースポートのビュー



項目	説明
1	外部 USB デバイス接続用 USB ホスト ポート (カバー付きの場合あり) 注記: イージーアクセス USB で印刷を行うには、コントロールパネルの近くにある USB ポートを使用してください。
2	ケーブル式セキュリティ ロック用スロット
3	ローカルエリアネットワーク (LAN) のイーサネット (RJ-45) ネットワーク ポート
4	高速 USB 2.0 印刷ポート



コントロールパネル

コントロールパネルからプリンタの各機能にアクセスしたり、現在のプリンタのステータスを確認したりできます。

- [タッチスクリーンコントロールパネルの使用方法](#)

 **注記**：見やすいようにコントロールパネルが傾きます。

ホーム画面からプリンタの各機能にアクセスしたり、現在のプリンタのステータスを確認したりできます。

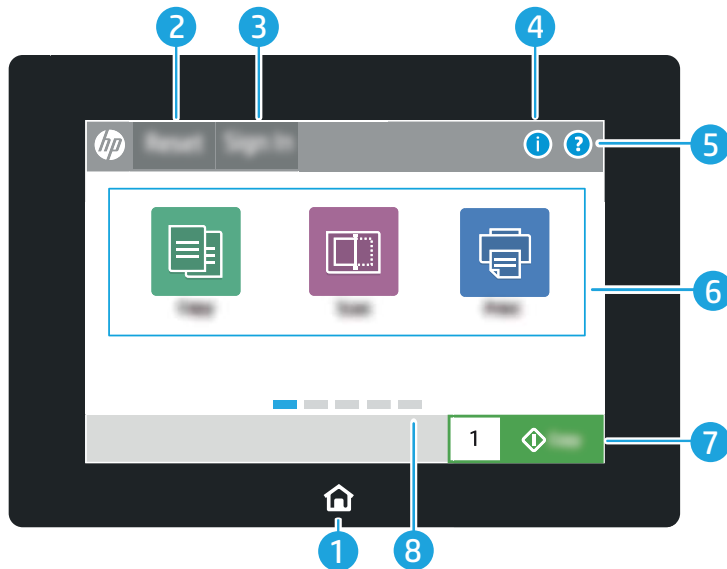
ホーム  ボタンをタッチすると、いつでもホーム画面に戻ることができます。プリンタのコントロールパネルの左側にあるホーム  ボタンをタッチするか、ほとんどの画面の左上隅に表示されるホームボタンをタッチします。



 **注記**：ホーム画面に表示される機能は、プリンタの設定によって異なる場合があります。


図 1-6 8 インチ コントロールパネルの図 (E77428dn、E77422dn)



図 1-7 4.3 インチ コントロールパネルの図 (E77422dv、E77422a)



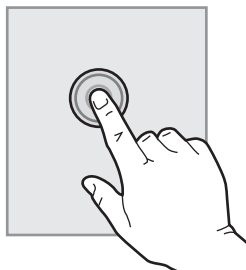
項目	制御	説明
1	ホーム  ボタン	[ホーム] ボタンをタッチすると、ホーム画面に戻ります。
2	[リセット] ボタン	[リセット] ボタンは、プリンタをデフォルト設定に戻し、ユーザーがログインしていない場合に常に表示されます。[リセット] ボタンは、[サインアウト] ボタンが表示されているときには表示されません。[リセット] ボタンをタッチすると、前回の一時停止状態と中断モードからジョブが解除されて再開されます。また、[コピー数] フィールドの[クイック コピー数]のリセット、特殊モードの終了、表示言語とキーボードレイアウトのリセットが実行されます。
3	[サインイン] または [サインアウト] ボタン	保護された機能を利用するには、[サインイン] ボタンにタッチします。 プリンタからログオフするには、[サインアウト] ボタンにタッチします。プリンタのすべてのオプションが既定の設定に戻ります。 注記: このボタンは、管理者が、機能へのアクセスに許可が必要になるようプリンタを設定した場合にのみ表示されます。
4	情報  ボタン	複数の種類のプリンタ情報を確認できる画面にアクセスするには、[情報] ボタンにタッチします。次の情報については、画面の下部にあるボタンにタッチします。 <ul style="list-style-type: none"> ● 表示言語: 現在のユーザー セッションの言語設定を変更します。 ● スリープモード: プリンタをスリープモードにします。 ● Wi-Fi Direct: Wi-fi を使用して、電話、タブレット、またはその他のデバイスをプリンタに直接接続する方法に関する情報を表示します。 ● ワイヤレス: ワイヤレス接続設定を表示または変更します (オプションのワイヤレス アクセサリが取り付けられている場合のみ)。 ● イーサネット: イーサネット接続設定を表示または変更します。 ● HP Web サービス: HP Web サービス (ePrint) を使用して、プリンタに接続して印刷するための情報を表示します。

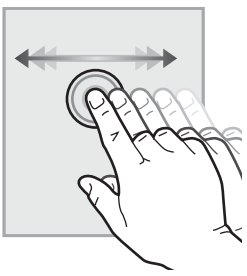
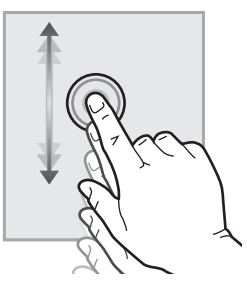
項目	制御	説明
5	ヘルプ  ボタン	[ヘルプ] ボタンにタッチすると、内蔵のヘルプシステムが表示されます。 ステータスラインには、プリンタの全体的なステータスに関する情報が表示されます。
6	アプリケーション領域	アプリケーションを開くには、いずれかのアイコンにタッチします。その他のアプリケーションにアクセスするには、画面を横方向にスワイプします。 注記： 使用できるアプリケーションは、プリンタによって異なります。管理者は、表示するアプリケーションと表示順序を設定できます。
7	コピー ボタン	コピー ジョブを開始するには、 [コピー] ボタンをタッチします。
8	ホーム画面ページのインジケータ	ホーム画面またはアプリケーションのページ数が表示されます。現在のページがハイライトされています。ページ間をスクロールするには、画面を横方向にスワイプします。

タッチスクリーンコントロールパネルの使用方法

プリンタのタッチ スクリーン コントロール パネルを使用するには、次の操作を実行します。


操作	説明	例
タッチ	画面の項目にタッチすると、項目が選択されるか、メニューが開きます。また、メニューをスクロールするとき、素早く画面にタッチするとスクロールが停止します。	設定 アイコンにタッチして 設定 アプリを開きます。



操作	説明	例
<p>スワイプ</p> 	<p>画面を横方向にスクロールするには、画面にタッチし、水平方向に指を動かします。</p>	<p>設定 アプリが表示されるまでスワイプします。</p>
<p>スクロール</p> 	<p>画面を縦方向にスクロールするには、画面にタッチし、垂直方向に指を動かします。メニューをスクロールするとき、素早く画面にタッチするとスクロールが停止します。</p>	<p>設定 アプリをスクロールします。</p>

プリンタの仕様

- [技術仕様](#)
- [サポートされているオペレーティングシステム](#)
- [プリンタの寸法](#)
- [消費電力、電気仕様、およびアコースティック エミッション](#)
- [動作環境範囲](#)

 **重要** : 以下の仕様は公表時のものであり、変更される場合があります。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljE77422MFP を参照してください。

技術仕様

モデル名		E77422a	E77422dv	E77422dn	E77428dn
製品番号		5CM76A	5CM77A	5CM78A	5CM79A
用紙処理	トレイ 1 (100 枚の給紙トレイ)	付属	付属	付属	付属
	トレイ 2 (520 枚給紙トレイ)	付属	付属	付属	付属
	トレイ 3 (520 枚給紙トレイ)	付属	付属	付属	付属
	2x520 枚用紙フィーダ	オプション	オプション	オプション	オプション
	プリンタ キャビネット	オプション	オプション	オプション	オプション
	インナー フィニッシャー アクセサリ	オプション	オプション	オプション	オプション
	<ul style="list-style-type: none"> • 2/3 ホールパンチ アクセサリ 	オプション	オプション	オプション	オプション
	<ul style="list-style-type: none"> • 2/4 ホールパンチ アクセサリ 	オプション	オプション	オプション	オプション
	<ul style="list-style-type: none"> • スウェーデン規格 ホールパンチ アクセサリ 	オプション	オプション	オプション	オプション
	HP ジョブセパレーター	オプション	オプション	オプション	オプション
	HP 第二排出口	オプション	オプション	オプション	オプション
	自動両面印刷	付属	付属	付属	付属
接続性	IPv4 および IPv6 による 10/100/1000 Ethernet LAN 接続	付属	付属	付属	付属
	高速 USB 2.0	付属	付属	付属	付属
	ワイヤレス ネットワーク接続用プリント サーバ	オプション	オプション	オプション	オプション

モデル名		E77422a	E77422dv	E77422dn	E77428dn
製品番号		5CM76A	5CM77A	5CM78A	5CM79A
	外部データ印刷用 USB ポート	付属	付属	付属	付属
	アクセサリやサードパーティ製デバイスを接続するためのハードウェア統合ポケット	付属	付属	付属	付属
	HP 内部 USB ポート	オプション	オプション	オプション	オプション
	HP Jetdirect 3100w BLE/NFC/Wireless Accessory	オプション	オプション	オプション	オプション
	ワイヤレス接続用 HP Jetdirect 2900nw プリントサーバアクセサリ	オプション	オプション	オプション	オプション
	Wi-Fi Bluetooth Low Energy (BLE) 直接	利用不可	利用不可	利用不可	利用不可
メモリ	1.25GB ベースメモリ 注記: ベースメモリは、DIMM メモリ モジュールを追加することで 3.25GB まで拡張できません。	付属	付属	付属	付属
大容量記憶装置	16GB 内蔵マルチメディア コントローラ (eMMC)	付属	付属	付属	付属
	500GB HP セキュア高性能ハードディスク	オプション	オプション	オプション	オプション
セキュリティ	プリンタを通過するすべてのデータの暗号化用 HP Master Systems Operations Key (HP マスターシステム オペレーションキー)	付属	付属	付属	付属
コントロールパネルディスプレイ	8 インチ カラー タッチスクリーン コントロールパネル	利用不可	利用不可	付属	付属
	4.3 インチ カラー タッチスクリーン コントロールパネル	付属	付属	利用不可	利用不可
印刷	印刷速度は A4 サイズの用紙およびレター サイズの用紙で 22 枚/分 (ppm)	付属	付属	付属	利用不可
	印刷速度は A4 サイズの用紙およびレター サイズの用紙で 28 枚/分 (ppm)	利用不可	利用不可	利用不可	付属
	USB プリント	付属	付属	付属	付属
	モバイル/クラウド印刷	利用不可	利用不可	利用不可	利用不可

モデル名		E77422a	E77422dv	E77422dn	E77428dn
製品番号		5CM76A	5CM77A	5CM78A	5CM79A
	印刷してジョブ保存	付属	付属	付属	付属
ファックス	アナログ ファックス キット	オプション	オプション	オプション	オプション
コピーおよびスキャン	スキャン速度は A4 およびレターサイズの用紙で 45 枚/分 (ppm)	利用不可	付属	付属	付属
	リバース両面コピーおよびスキャンが可能な 100 ページ自動文書フィーダ	利用不可	付属	付属	付属
	超音波マルチフィード検出等の HP EveryPage テクノロジー	利用不可	利用不可	利用不可	利用不可
	スキャンしてジョブ保存	オプション	オプション	オプション	オプション
デジタル送信	文書を電子メール、USB、およびネットワーク上の共有フォルダに送信	付属	付属	付属	付属

サポートされているオペレーティング システム

以下の情報を使用して、コンピュータのオペレーティング システムとプリンタの互換性を確保します。

Linux: Linux に関する詳細とプリント ドライバについては、www.hp.com/go/linuxprinting を参照してください。

UNIX: UNIX® に関する詳細とプリンタ ドライバについては、www.hp.com/go/unixmodelscripts を参照してください。

以下の情報は、プリンタ専用の Windows HP PCL 6 プリント ドライバ、macOS 用の HP プリント ドライバおよびソフトウェア インストーラに適用されます。


Windows: HP プリント ドライバをインストールするには、123.hp.com/LaserJet から HP Easy Start をダウンロードします。または、このプリンタのプリンタ サポート Web サイト www.hp.com/support/colorljE77422MFP にアクセスして、プリンタ ドライバまたはソフトウェア インストーラをダウンロードして、HP プリント ドライバをインストールします。

macOS: このプリンタは、Mac コンピュータに対応しています。123.hp.com/LaserJet またはプリンタ サポート ページから HP Easy Start をダウンロードし、HP Easy Start を使用して HP プリント ドライバをインストールします。

1. 123.hp.com/LaserJet にアクセスします。
2. 記載されている手順に従い、プリンタ ソフトウェアをダウンロードします。

表 1-1 対応オペレーティングシステムおよびプリントドライバ

オペレーティングシステム	インストール済みのプリントドライバ (Windows の場合、macOS の場合は Web 上のインストーラからインストール)	注記
Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット)	ソフトウェア インストールの一部として、このオペレーティングシステム用の「HP PCL 6」プリンタ専用プリントドライバがインストールされます。	
Windows 8.1 (32 ビットおよび 64 ビット)	ソフトウェア インストールの一部として、このオペレーティングシステム用の「HP PCL-6 V4」プリンタ専用プリントドライバがインストールされます。	
Windows 10 (32 ビットおよび 64 ビット)	ソフトウェア インストールの一部として、このオペレーティングシステム用の「HP PCL-6 V4」プリンタ専用プリントドライバがインストールされます。	
Windows Server 2008 R2 SP 1 (64 ビット版)	PCL 6 プリンタ専用プリントドライバは、プリンタ サポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。	
Windows Server 2012 (64 ビット)	PCL 6 プリンタ専用プリントドライバは、プリンタ サポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。	
Windows Server 2012 R2 (64 ビット)	PCL 6 プリンタ専用プリントドライバは、プリンタ サポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。	
Windows Server 2016 (64 ビット)	PCL 6 プリンタ専用プリントドライバは、プリンタ サポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。	
macOS 10.14 Mojave、macOS 10.13 High Sierra	123.hp.com/LaserJet から HP Easy Start をダウンロードして、プリントドライバのインストールに使用します。	

 **注記:** サポートされるオペレーティングシステムは変更されることがあります。現在サポートされているオペレーティングシステムの一覧については、www.hp.com/support/colorljE77422MFP にアクセスし、お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプを参照してください。



 **注記** : クライアントとサーバのオペレーティング システムの詳細、およびこのプリンタの HP UPD ドライバサポートについては、www.hp.com/go/upd にアクセスしてください。【Additional information】(追加情報) の下のリンクをクリックして参照してください。

表 1-2 最小システム要件

Windows	macOS
<ul style="list-style-type: none">インターネット接続専用の USB 1.1 または 2.0 接続またはネットワーク接続2GB のハードディスク空き容量1 GB RAM (32 ビット) または 2 GB RAM (64 ビット)	<ul style="list-style-type: none">インターネット接続専用の USB 1.1 または 2.0 接続またはネットワーク接続1.5GB の空きディスク容量

 **注記** : Windows 版ソフトウェア インストーラでは、HP スマート デバイス エージェント ベース サービスがインストールされます。ファイルサイズは約 100KB です。機能は、USB で接続されているプリンタを毎時チェックすることのみです。データは収集しません。USB プリンタが検出されると、ネットワーク上で JetAdvantage Management Connector (JAMc) インスタンスの場所の特定を試みます。JAMc が見つかり、HP Smart Device Agent Base は JAMc から完全な Smart Device Agent に安全にアップグレードされ、印刷するページが MPS (Managed Print Services) で占有されるようになります。hp.com からプリンタ用にダウンロードされ、プリンタの追加ウィザードでインストールされた、ドライバのみの Web パックでは、このサービスはインストールされません。

このサービスをアンインストールするには、Windows の [コントロール パネル] を開き、【プログラム】または【プログラムと機能】を選択します。次に、【プログラムの追加/削除】または【プログラムのアンインストール】を選択して、サービスを削除してください。ファイル名は、【HPSmartDeviceAgentBase】です。

プリンタの寸法

プリンタの環境が、プリンタを収容できる大きさであることを確認します。

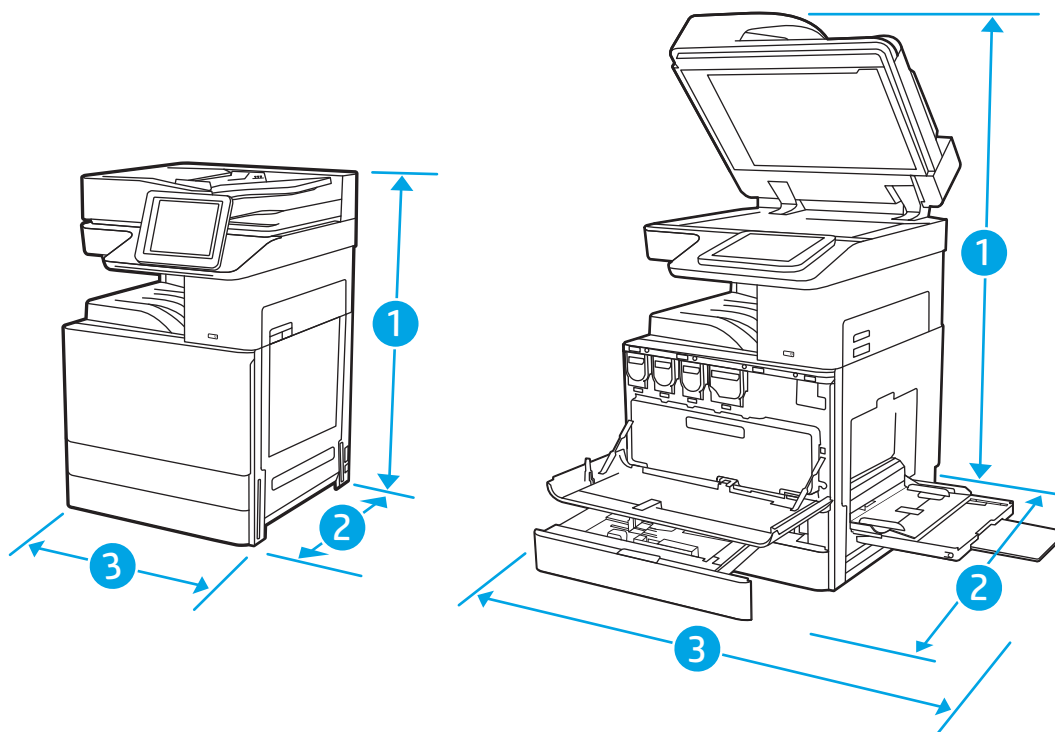


表 1-3 E77422a、E77422dv、E77422dn、E77428dn モデルの寸法

	プリンタをすべて閉じた状態	プリンタをすべて開いた状態
1.高さ	a モデル : 783 mm dv および dn モデル : 870 mm	a モデル : 1250 mm dv および dn モデル : 1262 mm
2.奥行き	a および dv モデル : 690 mm dn モデル : 725 mm	a モデル : 1074 mm dv および dn モデル : 1113 mm
3.幅	a モデル : 566 mm dv および dn モデル : 566 mm	a モデル : 936 mm dv および dn モデル : 936 mm
重量	a モデル : 77.7 kg dv モデル : 81.5 kg dn モデル : 82.9 kg	

▲ これらの値は変更される可能性があります。現時点の情報については、www.hp.com/support/colorljE77422MFP を参照してください。

消費電力、電気仕様、およびアコースティック エミッション

最新情報については、www.hp.com/support/colorljE77422MFP を参照してください。

△注意：電源要件は、プリンタが販売された国/地域に基づきます。動作電圧は変更しないでください。変更すると、プリンタが損傷しても保証の対象となりません。

動作環境範囲

表 1-4 動作環境仕様

環境	推奨	許容値
温度	17 ~ 25° C	10° ~ 32.5° C
相対湿度	相対湿度 (RH) 30 ~ 70%	相対湿度 (RH) 10 ~ 80%

プリンタのハードウェアのセットアップとソフトウェアのインストール

基本的なセットアップ手順については、プリンタに同梱されているハードウェアのインストールガイドを参照してください。詳細な手順については、Web の HP サポートを確認してください。

www.hp.com/support/colorljE77422MFP にアクセスして、お使いのプリンタを含む HP の包括的なヘルプを参照します。次のサポートが含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

2 用紙トレイ

封筒やラベル紙などの特殊なアイテムをセットする方法を含む、用紙トレイをセットして使用方法を確認します。

- [はじめに](#)
- [トレイ 1 \(汎用トレイ\) に用紙をセット](#)
- [トレイ 2、トレイ 3 およびオプションの 2 x 520 枚給紙トレイへの用紙のセット](#)
- [封筒のセットと印刷](#)
- [ラベルのセットと印刷](#)

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/A3 を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljE77422MFP を参照してください。

詳細は、[次を参照してください](#)。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- [設置と設定](#)
- [学習と使用](#)
- [問題の解決](#)
- [ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新](#)
- [サポート フォーラムへの参加](#)
- [保証および規制に関する情報の検索](#)

はじめに

用紙トレイをセットするときには注意してください。

⚠ 注意 : 一度に複数の用紙トレイを引き出さないでください。

用紙トレイを踏み台として使用しないでください。

閉じるときに、用紙トレイの中に手を入れないでください。

プリンタを移動する場合は、すべてのトレイを閉じてください。


トレイ 1 (汎用トレイ) に用紙をセット


以下の情報は、トレイ 1 に用紙をセットする方法について説明するものです。

- [トレイ 1 \(汎用トレイ\) のセット](#)
- [トレイ 1 \(汎用トレイ\) の用紙の向き](#)
- [代替レターヘッドモードの使用](#)

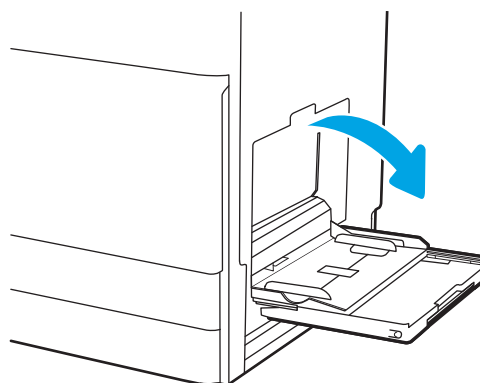
トレイ 1 (汎用トレイ) のセット

このトレイには、75g/m² 用紙 100 枚まで、または封筒 10 枚までをセットできます。

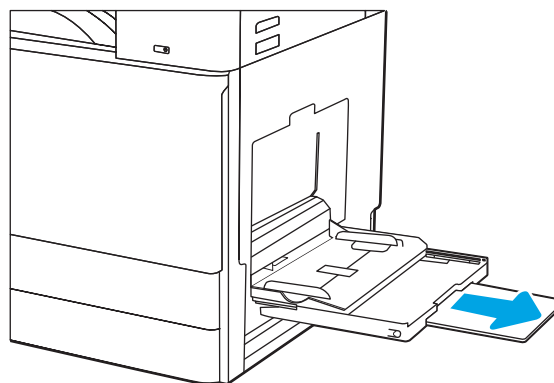
 **注記**：印刷を行う前に、プリントドライバで正しい用紙タイプを選択する

 **注意**：紙詰まりを避けるため、印刷中はトレイ 1 に用紙を追加したりこのトレイから用紙を取り出したりしないでください。

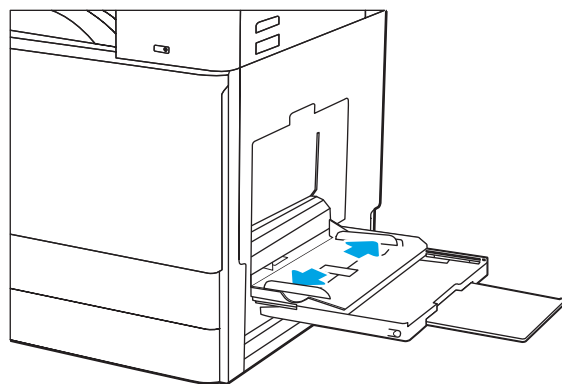
1. トレイ 1 を引き出します。



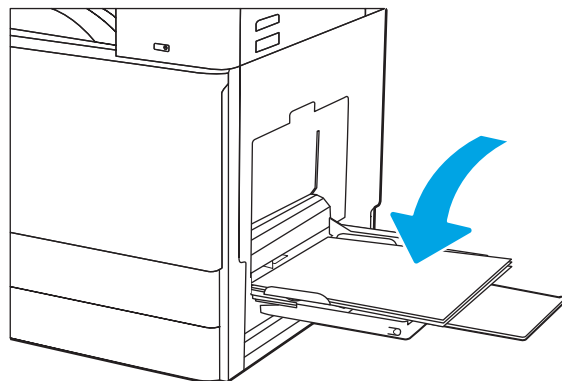
2. 用紙をサポートしているトレイ拡張部を引き出す。



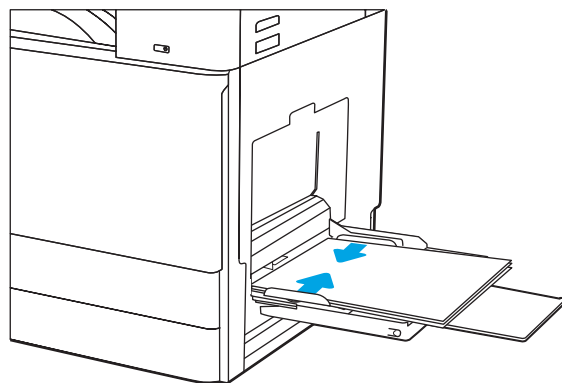
- 調整ラッチを使用して、用紙ガイドを外側に開きます。



- トレイに用紙をセットします。
用紙が用紙幅ガイドの上限ライン以内に収まっていることを確認します。
注記：積み重ねの最大高さは10mm、または75g/m²の用紙約100枚です。



- 調整ラッチを使用して両側のガイドを調整し、用紙がたわまない程度に紙積みに軽く触れるようにします。



トレイ1 (汎用トレイ) の用紙の向き

最高の印刷品質を確保するため、トレイ1 (汎用トレイ) に正しく用紙をセットします。

表 2-1 トレイ 1 の用紙の向き

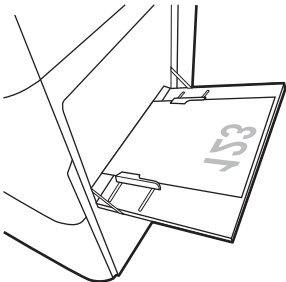
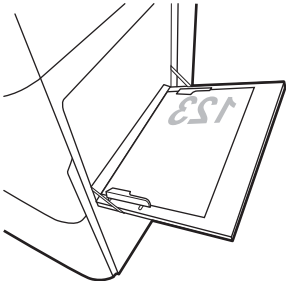
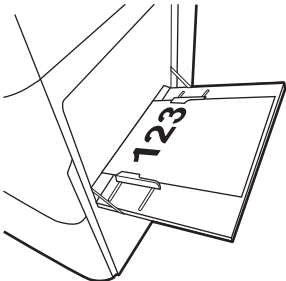
用紙タイプ	画像の向き	両面印刷モード	用紙をセットする方法
レターヘッドまたは印刷済み用紙	[縦]	片面印刷	下向き 下端から給紙されるようにセット
			
			下向き プレプリント画像の左側をプリンタに向けてセット
			
		自動両面印刷または代替レターヘッドモードでの印刷	上向き 上端から給紙されるようにセット
			

表 2-1 トレイ 1 の用紙の向き (続き)

用紙タイプ	画像の向き	両面印刷モード	用紙をセットする方法
レターヘッドまたは印刷 済み用紙 (続き)	[縦] (続き)	自動両面印刷または代 替レターヘッドモード での印刷 (続き)	上向き プレプリント画像の右側をプリンタに向けて セット
	横	片面印刷	下向き プレプリント画像の左側をプリンタに向けて セット
		自動両面印刷または代 替レターヘッドモード での印刷	上向き プレプリント画像の右側をプリンタに向けて セット

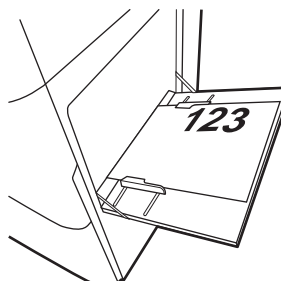
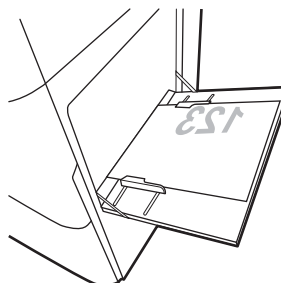
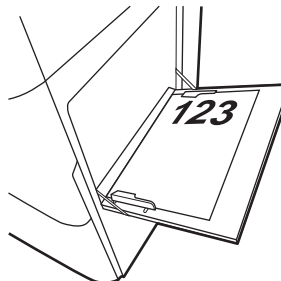


表 2-1 トレイ 1 の用紙の向き (続き)

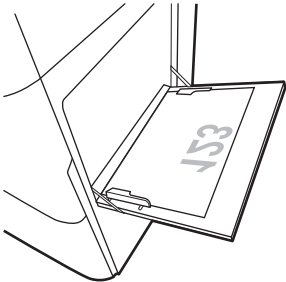
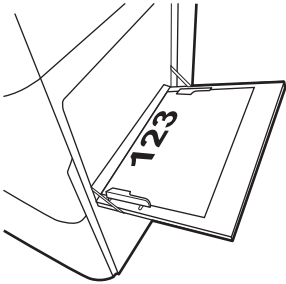
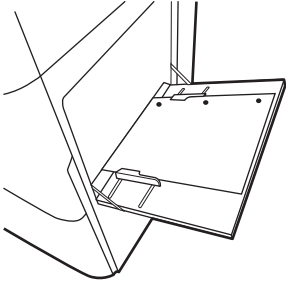
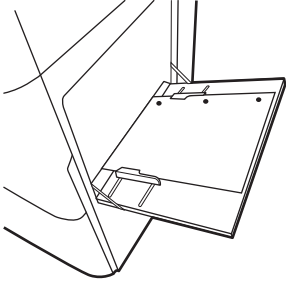
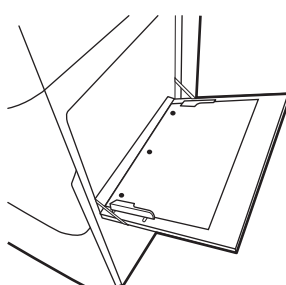
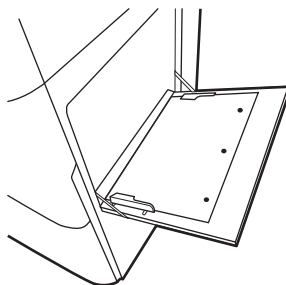
用紙タイプ	画像の向き	両面印刷モード	用紙をセットする方法
レターヘッドまたは印刷 済み用紙 (続き)	横 (続き)	片面印刷	下向き 下端から給紙されるようにセット 
		自動両面印刷または代 替レターヘッドモード での印刷	上向き 上端から給紙されるようにセット 
穴あき用紙	[縦]	片面印刷	下向き 穴をプリンタの後ろ側に向けてセット 
穴あき用紙 (続き)	[縦] (続き)	自動両面印刷または代 替レターヘッドモード での印刷	上向き 穴をプリンタの後ろ側に向けてセット 

表 2-1 トレイ 1 の用紙の向き (続き)

用紙タイプ	画像の向き	両面印刷モード	用紙をセットする方法
	横	片面印刷	下向き 穴がプリンタと反対側になるようにセット
		自動両面印刷または代 替レターヘッドモード での印刷	上向き 穴をプリンタに向けてセット



代替レターヘッドモードの使用

代替レターヘッドモード機能を使用すると、片面印刷か両面印刷にかかわらず、すべてのジョブで、レターヘッドや印刷済み用紙を常に同じようにトレイにセットできます。このモードを使用するときは、自動両面印刷と同じように用紙をセットします。

- [プリンタのコントロールパネルメニューを使用して代替レターヘッドモードを有効にする](#)

プリンタのコントロールパネルメニューを使用して代替レターヘッドモードを有効にする

設定メニューを使用して、代替レターヘッドモードを設定します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[設定]メニューを開きます。
2. 以下のメニューを開きます。
 - コピー/印刷 または 印刷
 - トレイの管理
 - 代替レターヘッドモード
3. [有効] オプションを選択し、次に [保存] ボタンにタッチするか、[OK] ボタンを押します。

トレイ2、トレイ3 およびオプションの2x520枚給紙トレイへの用紙のセット

以下の情報は、トレイ2、3 およびオプションの2x520枚給紙トレイに用紙をセットする方法を説明するものです。

- [トレイ2、トレイ3 およびオプションの2x520枚給紙トレイへの用紙のセット](#)
- [トレイ2、トレイ3 およびオプションの2x520枚給紙トレイの用紙の向き](#)
- [代替レターヘッドモードの使用](#)

△ 注意：一度に複数の用紙トレイを引き出さないでください。

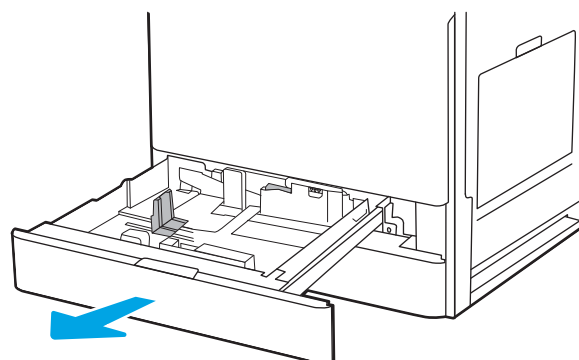
トレイ2、トレイ3 およびオプションの2x520枚給紙トレイへの用紙のセット

これらのトレイには、75g/m²用紙520枚までをセットできます。

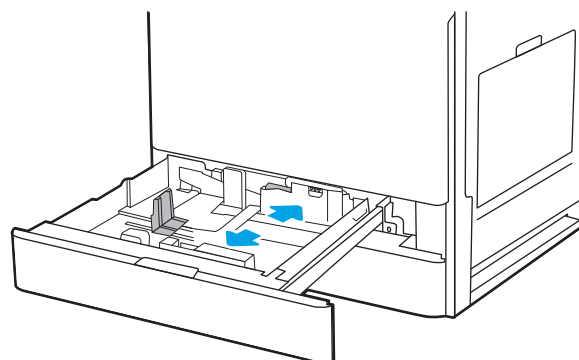
📖 注記：トレイ2、トレイ3 およびオプションの2x520枚給紙トレイに用紙をセットする手順は同じです。ここではトレイ2の図で説明します。

1. トレイを開きます。

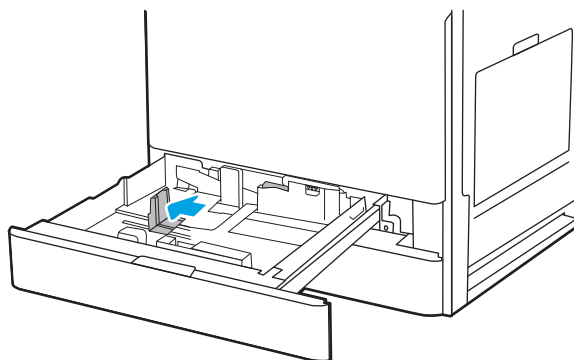
注記：プリンタの使用中はトレイを引き出さないでください。



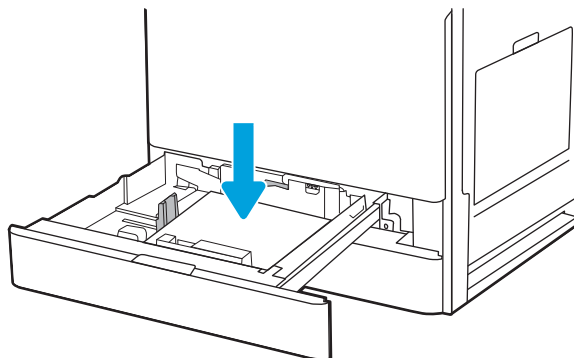
2. 用紙をセットする前に、横方向用紙ガイドを調整します。リア側の横方向用紙ガイドの青いロック/ロック解除切り替えスイッチを押したまま、フロント側の横方向用紙ガイドの青い調整ラッチをつまみ、ガイドをスライドさせて完全に広げます。



3. 縦方向用紙ガイドの青い調整ラッチを押し込んで、使用する用紙のサイズに合わせます。



4. トレイに用紙をセットします。

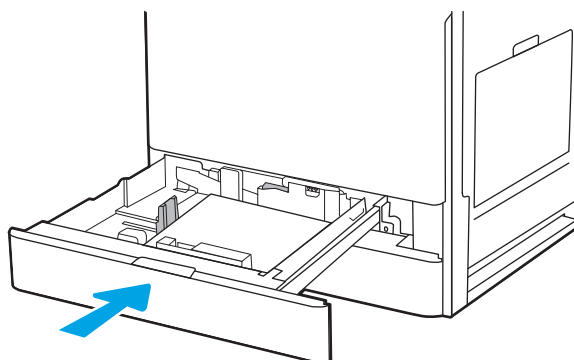


5. 使用する用紙のサイズに合わせて、縦方向用紙ガイドと横方向用紙ガイドを調整します。ガイドを調整して、用紙がたわまない程度に軽く用紙に触れるようにします。

注記：用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。

注記：紙詰まりを防ぐため、用紙ガイドを正しいサイズに調整し、用紙を入れすぎないようにしてください。用紙束の高さがトレイの上限線を超えないようにしてください。

6. トレイを閉じます。



7. プリンタのコントロールパネルにトレイ設定メッセージが表示されます。
8. 検出されたタイプを受け入れる場合は **OK** を選択し、別のサイズまたはタイプを選択する場合は **変更** を選択します。

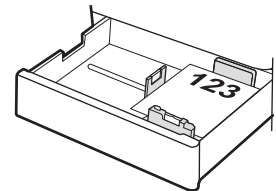
カスタムサイズの場合、プリンタのコントロールパネルにメッセージが表示された場合は、XおよびY方向の寸法を指定する必要があります。

トレイ2、トレイ3およびオプションの2x520枚給紙トレイの用紙の向き

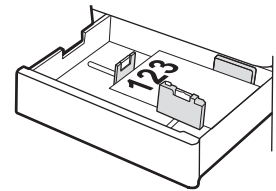
最高の印刷品質を確保するため、トレイ2、トレイ3およびオプションの2x520枚給紙トレイに正しく用紙をセットします。

表 2-2 トレイ2、トレイ3およびオプションの2x520枚給紙トレイの用紙の向き

用紙タイプ	画像の向き	両面印刷モード	用紙をセットする方法
レターヘッドまたは印刷済み用紙	[縦]	片面印刷	上向き 用紙の上端をトレイ後ろ側に向けてセット
			上向き 用紙の上端をトレイ左側に向けてセット
		自動両面印刷または代替レターヘッドモードでの印刷	下向き 用紙の上端をトレイ後ろ側に向けてセット



上向き
用紙の上端をトレイ左側に向けてセット



下向き
用紙の上端をトレイ後ろ側に向けてセット

注記：これは、A4またはレターに印刷する場合にお勧めの向きです。

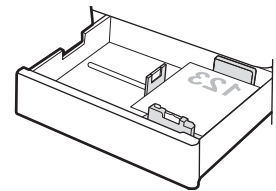


表 2-2 トレイ 2、トレイ 3 およびオプションの 2x520 枚給紙トレイの用紙の向き (続き)

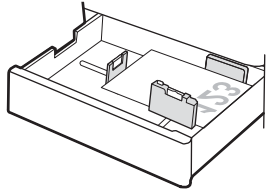
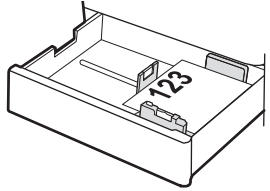
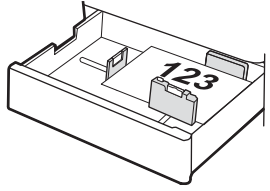
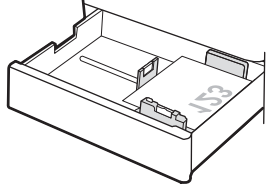
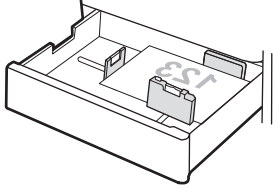
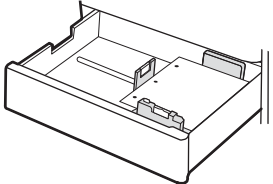
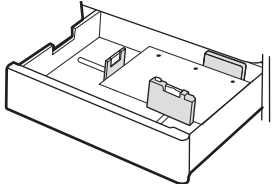
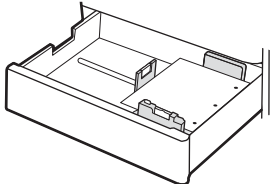
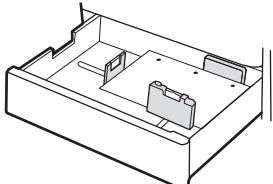
用紙タイプ	画像の向き	両面印刷モード	用紙をセットする方法
			下向き 用紙の上端をトレイ右側に向けてセット
			
レターヘッドまたは印刷 済み用紙 (続き)	横	片面印刷	上向き 用紙の上端をトレイ左側に向けてセット
			
			上向き 用紙の上端をトレイ後ろ側に向けてセット
			
		自動両面印刷または代替 レターヘッドモードでの 印刷	下向き 用紙の上端をトレイ右側に向けてセット
			

表 2-2 トレイ 2、トレイ 3 およびオプションの 2x520 枚給紙トレイの用紙の向き (続き)

用紙タイプ	画像の向き	両面印刷モード	用紙をセットする方法
			<p>下向き</p> <p>用紙の上端をトレイ後ろ側に向けてセット</p> 
穴あき用紙	[縦]	片面印刷	<p>上向き</p> <p>穴をトレイ左側にむけ、プリンタの背面に用紙の上部を向けてセット</p> 
			<p>上向き</p> <p>穴をトレイの背面に向けてセット</p> 
		自動両面印刷または代替レターヘッドモードでの印刷	<p>下向き</p> <p>穴をトレイ右側に向けてセット</p> 
			<p>下向き</p> <p>穴をトレイの背面に向けてセット</p> 

代替レターヘッドモードの使用

代替レターヘッドモード機能を使用すると、片面印刷か両面印刷にかかわらず、すべてのジョブで、レターヘッドや印刷済み用紙を常に同じようにトレイにセットできます。このモードを使用するときは、自動両面印刷と同じように用紙をセットします。

- [プリンタのコントロールパネルメニューを使用して代替レターヘッドモードを有効にする](#)

プリンタのコントロールパネルメニューを使用して代替レターヘッドモードを有効にする

設定メニューを使用して、代替レターヘッドモードを設定します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[設定]メニューを開きます。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [コピー/印刷](#) または [印刷](#)
 - [トレイの管理](#)
 - [代替レターヘッドモード](#)
3. [有効] オプションを選択し、次に [保存] ボタンにタッチするか、[OK] ボタンを押します。

封筒のセットと印刷

封筒を印刷するには、トレイ 1 (汎用トレイ) を使用します。トレイ 2、トレイ 3 およびオプションの 2 x 520 枚給紙トレイでは、封筒はサポートされていません。トレイ 1 (汎用トレイ) には封筒 10 枚までセットできます。


- [封筒の印刷](#)
- [封筒の向き](#)

封筒の印刷

手差しオプションで封筒を印刷するには、次の手順に従ってプリントドライバで適切な設定を選択し、印刷ジョブをプリンタに送信した後に封筒をトレイにセットします。

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリントドライバを開きます。

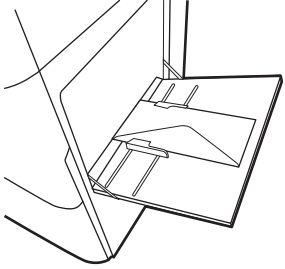
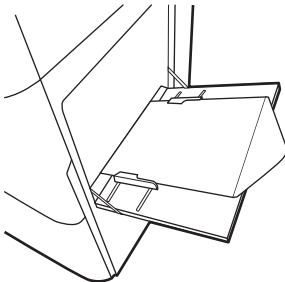
 **注記:** ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

 **注記:** Windows 8 または 8.1 のスタート画面にアクセスするには、**[デバイス]**、**[印刷]** を順に選択してから、プリンタを選択します。

3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
4. **[用紙サイズ]** ドロップダウンリストで該当する封筒のサイズを選択します。
5. **[用紙タイプ]** ドロップダウンリストで **[封筒]** を選択します。
6. **[給紙方法]** ドロップダウンリストで **[手差し]** を選択します。
7. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログボックスを閉じます。
8. **[印刷]** ダイアログボックスで、**[OK]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

封筒の向き

正常に印刷するために、封筒は特定の方法でセットする必要があります。

トレイ	封筒サイズ	封筒のセット方法
トレイ 1	封筒 9 号、封筒 10 号、封筒 Monarch、封筒 DL、封筒 B5、封筒 C5 (ウォレット)、封筒 C6	<p>下向き</p> <p>封筒の上端をプリンタの前面に向けてセット</p> 
	B5 封筒、C5 封筒 (ポケット)	<p>下向き</p> <p>下端から給紙されるようにセット (上部フラップを開く)</p> 

ラベルのセットと印刷

ラベル紙を印刷するには、トレイ 1 (汎用トレイ) を使用します。トレイ 2、トレイ 3 およびオプションの 2 x 520 枚給紙トレイでは、ラベル紙はサポートされていません。


- [ラベル紙の手差し](#)
- [ラベルの向き](#)

ラベル紙の手差し

ラベル紙を印刷するには、トレイ 1 (汎用トレイ) の手差しモードを使用します。

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリントドライバを開きます。

 **注記:** ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

 **注記:** Windows 8 または 8.1 のスタート画面にアクセスするには、**[デバイス]**、**[印刷]** を順に選択してから、プリンタを選択します。

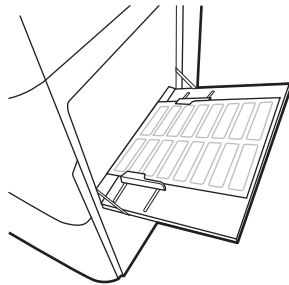
3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
4. **[用紙サイズ]** ドロップダウンリストで該当するラベル紙のサイズを選択します。
5. **[用紙タイプ]** ドロップダウンリストで **[ラベル紙]** を選択します。
6. **[給紙方法]** ドロップダウンリストで **[手差し]** を選択します。
7. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログボックスを閉じます。
8. **[印刷]** ダイアログボックスで、**[印刷]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

ラベルの向き

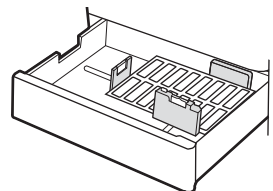
正常に印刷するために、ラベル紙は特定の 방법으로セットする必要があります。

トレイ ラベルをセットする方法

トレイ1 下向き
下端から給紙されるようにセット



トレイ2または 上向き
3 用紙の上端をトレイ左側に向けてセット



3 サプライ品、アクセサリ、および部品

サプライ品またはアクセサリの注文、トナーカートリッジの交換、別の部品の取り外しまたは交換を行います。

- [サプライ品、アクセサリ、および部品の注文](#)
- [トナーカートリッジの交換](#)
- [トナー回収ユニットの交換](#)
- [ステイプルカートリッジ\(オプションの内部フィニッシャ\)の交換](#)

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/A3 を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljE77422MFP を参照してください。

詳細は、[次を参照してください](#)。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポートフォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

サプライ品、アクセサリ、および部品の注文

プリンタの交換用のサプライ品、アクセサリ、および部品の注文方法を確認します。

- [注文](#)

注文

管理対象サービス担当者にお問い合わせください。プリンタの後部の製品ラベルに記載されているモデル番号を確認してください。

トナーカートリッジの交換

このプリンタでメッセージが表示される場合、または印刷品質の問題がある場合は、トナーカートリッジを交換してください。

- [トナーカートリッジ情報](#)
- [トナーカートリッジの取り外しと交換](#)

トナーカートリッジ情報

トナーカートリッジの残量が少なくなったり、非常にわずかになると、プリンタに表示されます。実際のトナーカートリッジの残り寿命は異なる場合があります。印刷品質が許容範囲を下回った場合に、交換用カートリッジの取り付けをご検討ください。

カートリッジを購入する場合は、管理対象サービスの担当者にお問い合わせください。プリンタの後部の製品ラベルに記載されているモデル番号を確認してください。プリンタとのカートリッジの互換性を確認するには、HP SureSupply (www.hp.com/go/SureSupply) にアクセスしてください。ページの一番下までスクロールして、国/地域が正しいことを確認してください。

トナーカートリッジは、交換直前までパッケージから出さないでください。

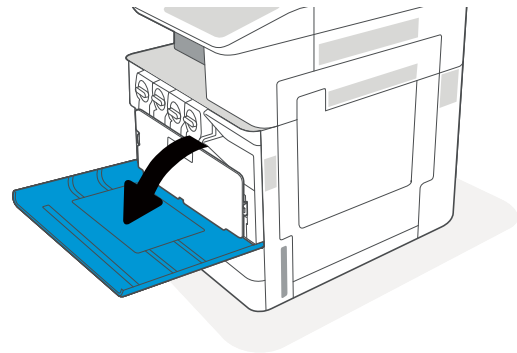
⚠ 注意： 損傷を防ぐため、トナーカートリッジに、数分以上光を当てないでください。トナーカートリッジを長時間プリンタから取り外しておく必要がある場合は、緑色のイメージングドラムを覆ってください。

注意： トナーが服に付いた場合は、乾いた布で拭き取り、冷水で洗ってください。お湯を使うと、トナーが布に染み着きます。

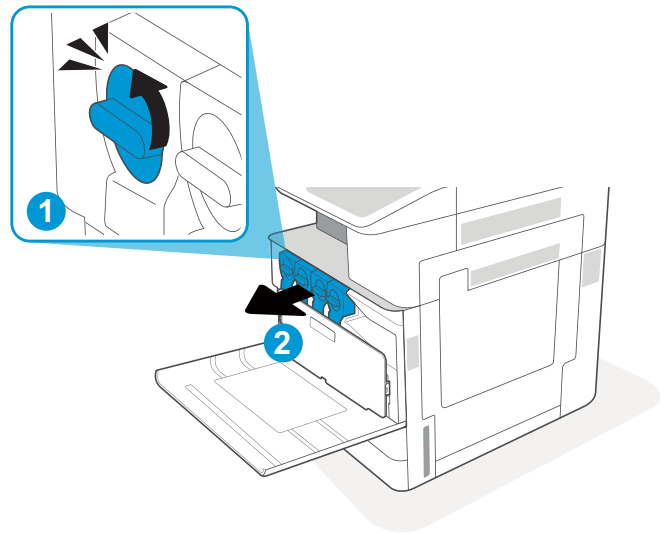
📖 注記： 使用済みトナーカートリッジのリサイクルの詳細は、トナーカートリッジの箱に記載されています。

トナーカートリッジの取り外しと交換

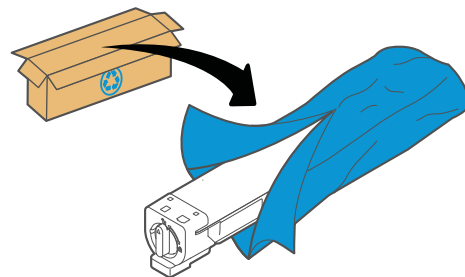
1. 正面ドアを開きます。



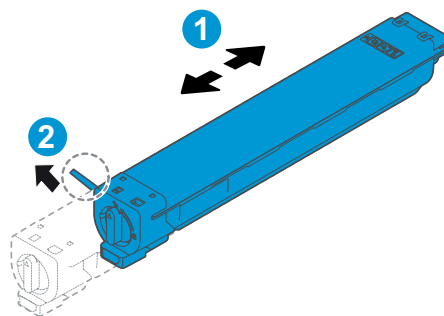
2. トナーカートリッジのラッチを解除し、カートリッジをプリンタからまっすぐに引き出します。



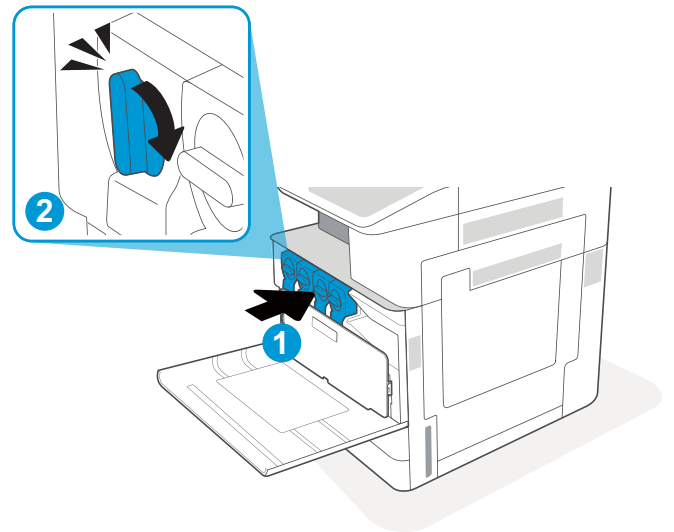
3. 新しいトナーカートリッジを開梱します。使用済みトナーカートリッジのリサイクル用に、梱包材はすべて保存してください。



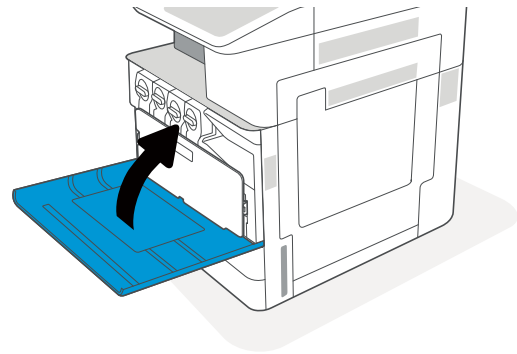
4. トナーカートリッジの両端を持ち、トナーが全体に均等に行き渡るように振ります。次にシールを剥がします。



5. トナーカートリッジをスロットに合わせ、プリンタにトナーカートリッジを挿入して、ラッチを固定します。



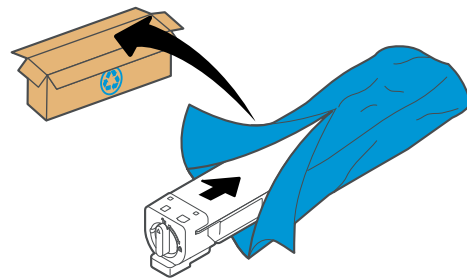
6. 正面ドアを閉じます。



7. 新しいトナーカートリッジが入っていた箱に使用済みトナーカートリッジを入れます。リサイクルについては、同梱されているリサイクルガイドを参照してください。

米国およびカナダでは、プリペイド出荷ラベルが箱に含まれています。その他の国や地域では、www.hp.com/recycle にアクセスしてプリペイド出荷ラベルを印刷してください。

プリペイド出荷ラベルを箱に貼って、使用済みカートリッジをリサイクル用に HP に返送してください。



トナー回収ユニットの交換

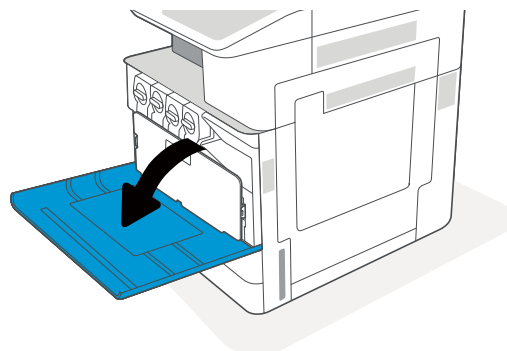
このプリンタでメッセージが表示される場合、または印刷品質の問題がある場合は、トナー回収ユニットを交換してください。

- トナー回収ユニットの取り外しと交換

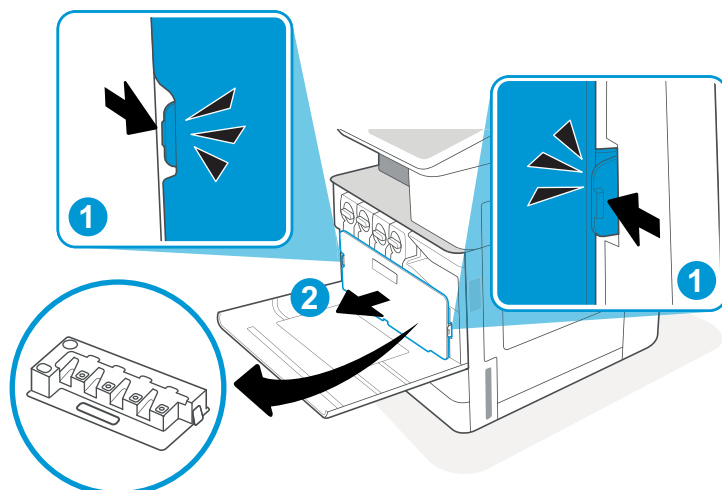
トナー回収ユニットの取り外しと交換

次の手順に従って、トナー回収ユニット (TCU) を交換します。

1. 正面ドアを開きます。

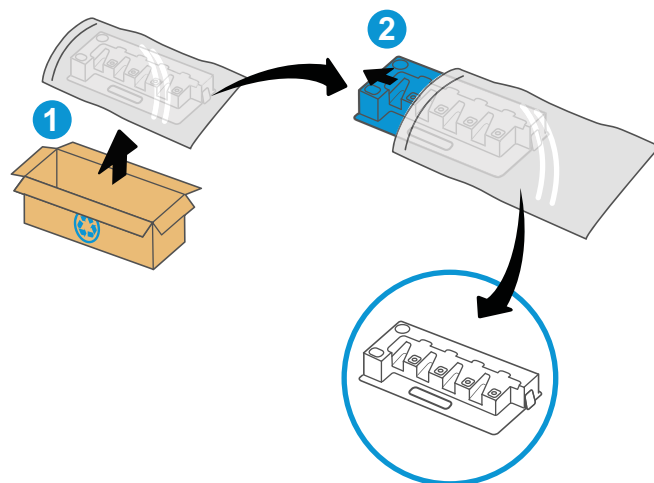


2. トナー回収ユニットの側面にあるそれぞれのタブを引いてTCUを解除し、プリンタからまっすぐ引き出してください。

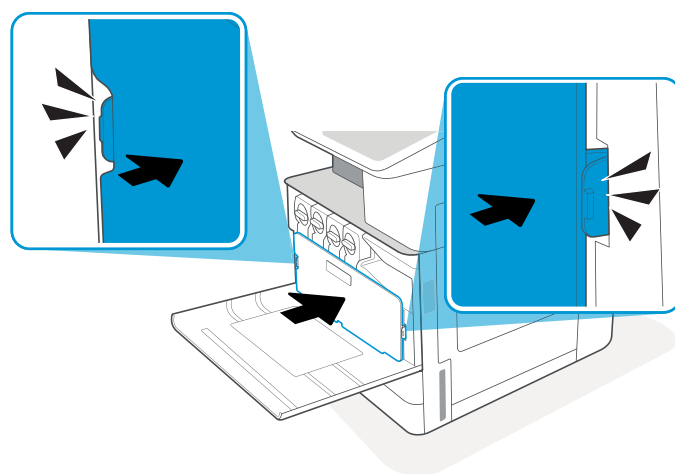


注記: TCUの位置を保ちながらプリンタから引き出します。これは、プリンタの廃棄トナーがこぼれないようにするためです。TCUを完全に取り外した後は、穴を下にして横向きに置かないでください。新しいTCUがパッケージされている透明なプラスチックの袋にユニットを入れます。プラスチックの袋を密封します。

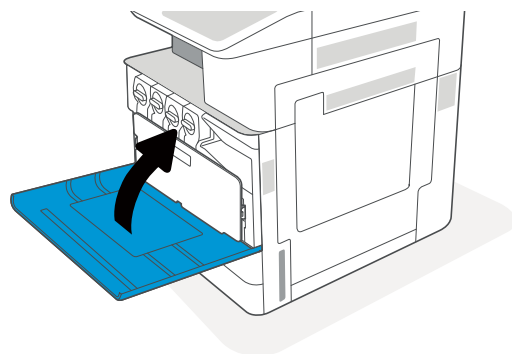
3. パッケージから新しいトナー回収ユニット (TCU) を取り出します。使用済みトナー回収ユニット (TCU) をリサイクルするために梱包材はすべて保存してください。



4. タブがカチッとはまるまで両側を押し込んで、新しいTCUを取り付けます。



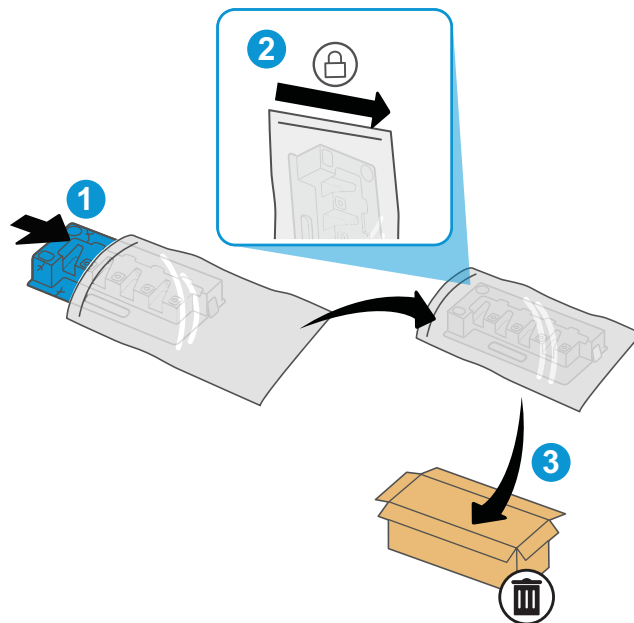
5. 正面ドアを閉じます。



6. 新しいトナー回収ユニット (TCU) が入っていた箱に使用済みのトナー回収ユニット (TCU) を入れます。リサイクルについては、同梱されているリサイクルガイドを参照してください。

米国およびカナダでは、プリペイド出荷ラベルが箱に含まれています。その他の国や地域では、www.hp.com/recycle にアクセスしてプリペイド出荷ラベルを印刷してください。

プリペイド出荷ラベルを箱に貼って、使用済みのトナー回収ユニット (TCU) をリサイクル用に HP に返送してください。



ステイプルカートリッジ(オプションの内部フィニッシャ)の交換

現在お使いのカートリッジが空になったときに、新しいステイプルカートリッジを取り付けます。

- [はじめに](#)
- [インナーフィニッシャアクセサリのステイプルカートリッジの取り外しと交換](#)

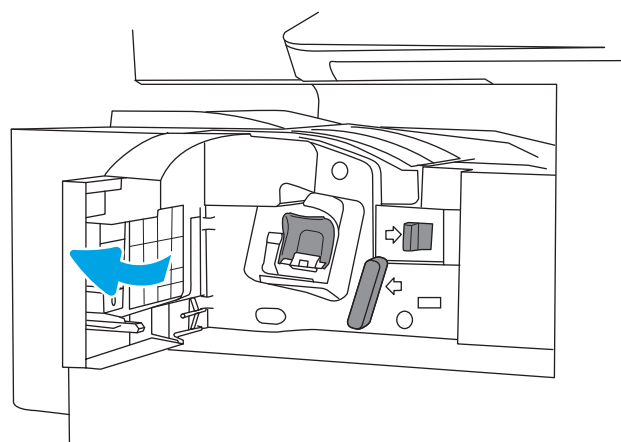
はじめに

ここでステイプルカートリッジを交換する手順について説明します。

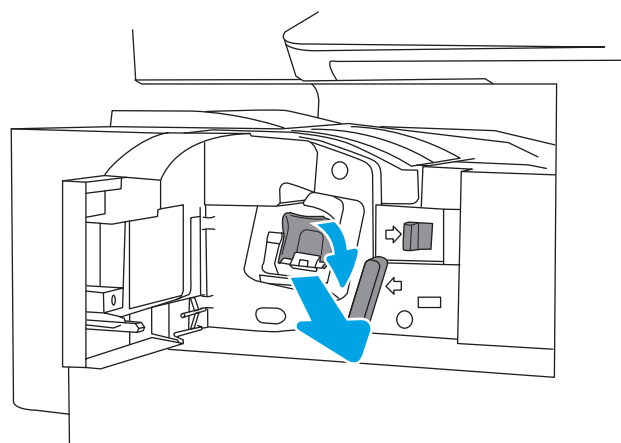
インナーフィニッシャアクセサリのステイプルカートリッジの取り外しと交換

次の手順に従って、インナーフィニッシャアクセサリのステイプルカートリッジを交換します。

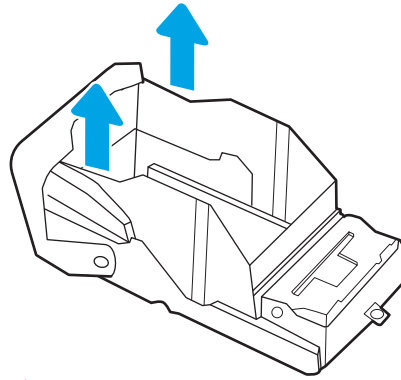
1. インナーフィニッシャの正面ドアを開きません。



2. ステイプルカートリッジキャリアの色付きタブを握って、ステイプルカートリッジキャリアをまっすぐに引き出します。

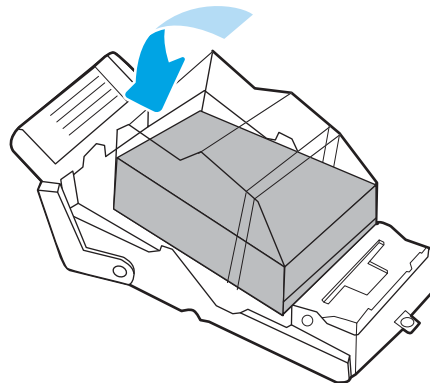


3. ステップカートリッジの2つのつまみを持ち上げてから、空のステップカートリッジをステップカートリッジキャリッジアセンブリから取り外します。

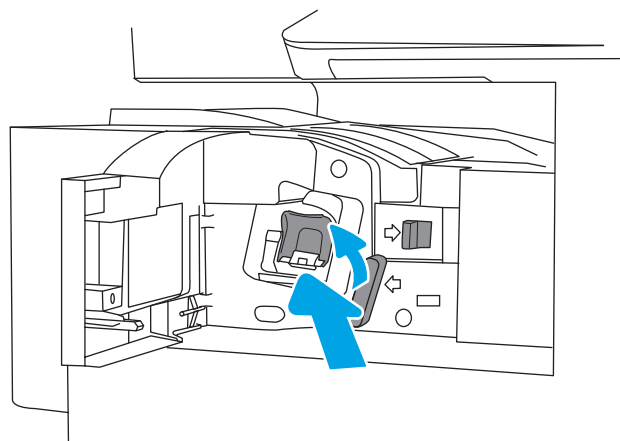


注記：ステップカートリッジキャリッジを廃棄しないでください。新しいステップカートリッジで再利用する必要があります。

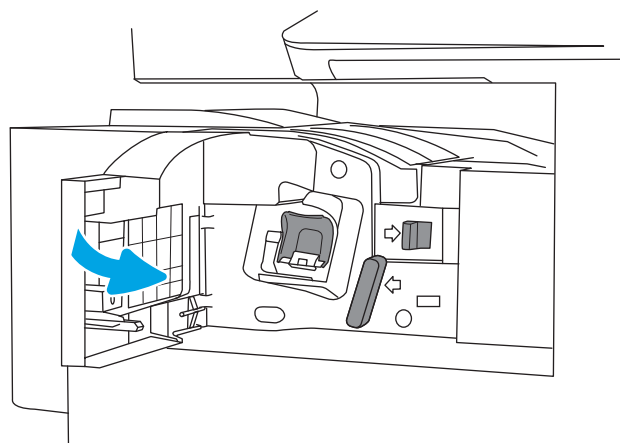
4. 新しいステップカートリッジをステップカートリッジキャリッジに挿入します。



5. ステイプルカートリッジキャリアをステイプラに再挿入して、カチッと音がしてカートリッジがはまるまで色付きのハンドルを内側に押しします。



6. インナーフィニッシャの正面ドアを閉じます。



4 印刷

ソフトウェアを使用して印刷するか、モバイル デバイスまたは USB フラッシュ ドライブから印刷します。

- [印刷タスク \(Windows\)](#)
- [印刷タスク \(macOS\)](#)
- [プリンタに印刷ジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷](#)
- [USB フラッシュ ドライブからの印刷](#)
- [高速 USB 2.0 ポート \(有線\) を使用して印刷する](#)

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/A3 を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljE77422MFP を参照してください。

詳細は、[次を参照してください](#)。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

印刷タスク (Windows)

Windows ユーザーの一般的な印刷タスクについて学習します。


- [印刷方法 \(Windows\)](#)
- [自動両面印刷 \(Windows\)](#)
- [手動両面印刷 \(Windows\)](#)
- [1 枚の用紙への複数ページの印刷 \(Windows\)](#)
- [用紙タイプの選択 \(Windows\)](#)
- [補足的な印刷タスク](#)

印刷方法 (Windows)

ソフトウェアアプリケーションの **[印刷]** オプションを使用して、プリンタと、印刷ジョブの基本的なオプションを選択します。


次の手順では、Windows での基本的な印刷処理について説明します。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択します。設定を変更するには、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリント ドライバを開きます。

 **注記** : ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップアプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows 10**: **[印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
- **Windows 8.1 または Windows 8**: **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。


 **注記** : 詳細については、プリント ドライバのヘルプ ([?]) ボタンをクリックしてください。

3. プrint ドライバの各タブをクリックし、使用可能なオプションを設定します。たとえば、用紙の向きは **[仕上げ]** タブで設定し、給紙方法、用紙タイプ、用紙サイズ、品質設定は **[用紙/品質]** タブで設定します。
4. **[OK]** ボタンをクリックし、**[印刷]** ダイアログ ボックスに戻ります。印刷する部数をこの画面で選択します。
5. ジョブを印刷するには、**[印刷]** ボタンをクリックします。

自動両面印刷 (Windows)

ご使用のプリンタに、自動両面印刷ユニットが取り付けられている場合は、自動的に用紙の両面に印刷できます。両面印刷ユニットでサポートされている用紙のサイズとタイプを使用してください。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリントドライバを開きます。

 **注記** : ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップアプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。


- Windows 10: **[印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
- Windows 8.1 または Windows 8: **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。

-
3. **[レイアウト]** タブをクリックします。
 4. **[両面印刷]** を選択します。**[OK]** をクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログを閉じます。
 5. **[印刷]** ダイアログで、**[印刷]** をクリックして、ジョブを印刷します。

手動両面印刷 (Windows)

この手順は、自動両面印刷ユニットが取り付けられていないプリンタの場合、または両面印刷ユニットでサポートされていない用紙に印刷する場合に使用します。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリントドライバを開きます。

 **注記** : ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップアプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。


- Windows 10: **[印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
- Windows 8.1 または Windows 8: **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。

-
3. **[レイアウト]** タブをクリックします。
 4. **[両面印刷 (手差し)]** を選択し、**[OK]** をクリックして、**文書のプロパティ** ダイアログを閉じます。
 5. 印刷 ダイアログで、**[印刷]** をクリックしてジョブの 1 ページ目を印刷します。
 6. 排紙ビンから印刷済みの用紙を取り出し、トレイ 1 に入れます。
 7. 確認メッセージが表示された場合は、適切なコントロールパネル ボタンを選択して操作を続けます。

1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Windows)

[印刷] オプションを使用して、ソフトウェアアプリケーションから印刷するときに、1 枚の用紙に複数のページを印刷するオプションを選択できます。たとえば、大きな文書を印刷するときに用紙を節約したい場合に、これを行うことができます。

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリントドライバを開きます。

 **注記** : ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップアプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows 10:** **[印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
 - **Windows 8.1 または Windows 8:** **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。
-
3. **[レイアウト]** タブをクリックします。
 4. **[1 枚の用紙に印刷するページ数]** ドロップダウンから、1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。
 5. 適切な **[ページ境界線]**、**[ページの順序]**、**[印刷の向き]** オプションを選択します。**[OK]** をクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログを閉じます。
 6. **[印刷]** ダイアログで、**[印刷]** をクリックして、ジョブを印刷します。

用紙タイプの選択 (Windows)

[印刷] オプションを使用して、ソフトウェアアプリケーションからの印刷時に、印刷ジョブで使用している用紙タイプを設定できます。たとえば、デフォルトの用紙タイプがレターでも、印刷ジョブに異なるタイプの用紙を使用している場合は、その特定の用紙タイプを選択します。

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリントドライバを開きます。

 **注記** : ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップアプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows 10:** **[印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
 - **Windows 8.1 または Windows 8:** **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。
-
3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
 4. **[用紙の種類]** ドロップダウン リストから用紙の種類を選択します。

5. [OK] をクリックして、[文書のプロパティ] ダイアログを閉じます。[印刷] ダイアログで、[印刷] をクリックして、ジョブを印刷します。

トレイを設定する必要がある場合は、プリンタのコントロールパネルにトレイ設定メッセージが表示されます。
6. 指定されたタイプとサイズの手紙をトレイにセットし、トレイを閉めます。
7. [OK] ボタンをタッチして検出されたタイプおよびサイズを受け入れるか、[変更] ボタンをタッチして別のサイズまたはタイプを選択します。
8. 正しいタイプとサイズを選択して、[OK] ボタンをタッチします。

補足的な印刷タスク

一般的な印刷タスクを実行するための Web 上の情報を確認します。

www.hp.com/support/colorljE77422MFP にアクセスします。

たとえば、次のような印刷タスクの手順を参照できます。

- 印刷機能のショートカットおよびプリセットの作成と使用
- 用紙サイズの選択、またはカスタム用紙サイズの使用
- ページの印刷の向きを選択
- ブックレットの作成
- 特定の用紙サイズに収まるように文書を拡大縮小する
- 文書の最初または最後のページを異なる用紙に印刷する
- 文書に透かしを印刷する

印刷タスク (macOS)

両面印刷または1枚の用紙に複数ページを印刷するオプションを含む、MacOS用のHP印刷ソフトウェアを使用して印刷します。

- [印刷方法 \(macOS\)](#)
- [自動両面印刷 \(macOS\)](#)
- [手動両面印刷 \(macOS\)](#)
- [1枚の用紙に複数ページを印刷する \(macOS\)](#)
- [用紙タイプを選択する \(macOS\)](#)
- [補足的な印刷タスク](#)

印刷方法 (macOS)

ソフトウェアアプリケーションの【印刷】オプションを使用して、プリンタと、印刷ジョブの基本的なオプションを選択します。

次の手順では、macOSの基本的な印刷プロセスについて説明します。

1. 【ファイル】メニューをクリックし、【印刷】オプションをクリックします。
2. 該当するプリンターを選択します。
3. 【詳細表示】または【部数とページ数】をクリックし、その他のメニューを選択して印刷設定を調節します。


 **注記：** 項目の名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

4. 【印刷】ボタンをクリックします。

自動両面印刷 (macOS)

ご使用のプリンタに、自動両面印刷ユニットが取り付けられている場合は、自動的に用紙の両面に印刷できます。両面印刷ユニットでサポートされている用紙のサイズとタイプを使用してください。

 **注記：** この情報は、自動両面印刷ユニットが装備されているプリンタに適用されます。

 **注記：** この機能は、HPプリントドライバをインストールしている場合に使用できます。AirPrint®を使用する場合はこの機能を使用できない場合があります。

1. 【ファイル】メニューをクリックし、【印刷】オプションをクリックします。
2. 該当するプリンターを選択します。
3. 【詳細表示】または【部数とページ数】をクリックし、【レイアウト】メニューをクリックします。


macOS 10.14 Mojave 以降：【詳細表示】または【両面印刷】をクリックし、【レイアウト】メニューをクリックします。

 **注記：** 項目の名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

4. **[両面印刷]** ドロップダウン リストから **[縦じ込み]** オプションを選択します。
5. **[印刷]** ボタンをクリックします。

手動両面印刷 (macOS)

この手順は、自動両面印刷ユニットが取り付けられていないプリンタの場合、または両面印刷ユニットでサポートされていない用紙に印刷する場合に使用します。

 **注記** : この機能は、HP プリント ドライバをインストールしている場合に使用できます。AirPrint を使用する場合はこの機能を使用できない場合があります。

1. **[ファイル]** メニューをクリックし、**[印刷]** オプションをクリックします。
2. 該当するプリンターを選択します。
3. **[詳細表示]** または **[部数とページ数]** をクリックし、**[手動両面印刷]** メニューをクリックします。

 **注記** : 項目の名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

4. **[手動両面印刷]** ボックスをクリックし、**[縦じ込み]** オプションを選択します。
5. **[印刷]** ボタンをクリックします。
6. プリンタのトレイ 1 に入っている空白の用紙をすべて取り除きます。
7. 排紙ビンから印刷済みの用紙を取り出し、印刷面を下向きにして給紙トレイにセットします。
8. 確認メッセージが表示された場合は、適切なコントロールパネル ボタンをタッチして操作を続けます。

1 枚の用紙に複数ページを印刷する (macOS)

[印刷] オプションを使用して、ソフトウェア アプリケーションから印刷するときに、1 枚の用紙に複数のページを印刷するオプションを選択できます。たとえば、大きな文書を印刷するときに用紙を節約したい場合に、これを行うことができます。

1. **[ファイル]** メニューをクリックし、**[印刷]** オプションをクリックします。
2. 該当するプリンターを選択します。
3. **[詳細表示]** または **[部数とページ数]** をクリックし、**[レイアウト]** メニューをクリックします。

 **注記** : 項目の名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

4. **[用紙あたりのページ数]** ドロップダウン リストから、1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。
5. **[レイアウト方向]** 領域で、用紙に印刷するページの順序と位置を選択します。
6. **[境界線]** メニューで、用紙の各ページの周囲に印刷する境界線の種類を選択します。
7. **[印刷]** ボタンをクリックします。


用紙タイプを選択する (macOS)

[印刷] オプションを使用して、ソフトウェアアプリケーションからの印刷時に、印刷ジョブで使用している用紙タイプを設定できます。たとえば、デフォルトの用紙タイプがレターでも、印刷ジョブに異なるタイプの用紙を使用している場合は、その特定の用紙タイプを選択します。

1. [ファイル] メニューをクリックし、[印刷] オプションをクリックします。
2. 該当するプリンターを選択します。
3. [詳細表示] または [部数とページ数] をクリックし、[メディアと品質] メニューまたは [用紙/品質] メニューをクリックします。

 **注記**：項目の名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。

4. [メディアと品質] または [用紙/品質] オプションから選択します。

 **注記**：このリストには、使用可能なオプションのマスタ セットが含まれています。一部のオプションは、プリンタによっては使用できません。

- [メディアタイプ]：印刷ジョブでメディアタイプに合ったオプションを選択します。
- [印刷品質] または [品質]：印刷ジョブの解像度を選択します。
- [全幅印刷]：用紙の端近くまで印刷するには、このオプションを選択します。

5. [印刷] ボタンをクリックします。

補足的な印刷タスク

一般的な印刷タスクを実行するための Web 上の情報を確認します。

www.hp.com/support/colorljE77422MFP にアクセスします。

たとえば、次のような印刷タスクの手順を参照できます。

- 印刷機能のショートカットおよびプリセットの作成と使用
- 用紙サイズを選択、またはカスタム用紙サイズの使用
- ページの印刷の向きを選択
- ブックレットの作成
- 特定の用紙サイズに収まるように文書を拡大縮小する
- 文書の最初または最後のページを異なる用紙に印刷する
- 文書に透かしを印刷する

プリンタに印刷ジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷

プリンタのメモリに印刷ジョブを保存して、後で印刷します。

- [はじめに](#)
- [保存ジョブの作成 \(Windows\)](#)
- [保存ジョブの作成 \(macOS\)](#)
- [印刷してジョブ保存](#)
- [保存ジョブの削除](#)
- [ジョブアカウントの目的でプリンタに送信される情報](#)


はじめに

以下に、USB フラッシュドライブに保存されるドキュメントを作成および印刷する手順について説明します。これらのジョブは、後で印刷したり、プライベートで印刷したりすることができます。

保存ジョブの作成 (Windows)

プライベート印刷または遅延印刷のために、USB フラッシュドライブにジョブを保存します。

1. ソフトウェアプログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタの一覧からこのプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** を選択します。

 **注記** : ボタンの名前はソフトウェアプログラムの種類によって異なります。


Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップアプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。


- **Windows 10:** **[印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
 - **Windows 8.1 または Windows 8:** **[デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。
3. **[ジョブ保存]** タブをクリックします。
 4. **[ジョブ保存モード]** オプションを選択します。
 - **[試し刷り後に保留]** : ジョブを 1 部試し刷りしてから、追加の部数を印刷できます。
 - **[個人ジョブ]** : ジョブは、ユーザーがプリンタのコントロールパネルで印刷を指示するまで印刷されません。このジョブ保存モードでは、**[ジョブをプライベート/セキュアに設定]** オプションのいずれか 1 つを選択できます。個人識別番号 (PIN) をジョブに割り当てる場合は、コントロールパネルで必要な PIN を入力する必要があります。ジョブを暗号化した場合は、コントロールパネルで必要なパスワードを入力する必要があります。この印刷ジョブは印刷後にメモリから削除され、プリンタの電源を切ると失われます。

- **[クイックコピー]**: 指定した部数だけジョブを印刷し、後で再度印刷できるようにプリンタのメモリにジョブを保存します。
 - **[保存ジョブ]**: プリンタにジョブを保存して、他のユーザーが後でいつでもそのジョブを印刷できるようにします。このジョブ保存モードでは、**[ジョブをプライベート/セキュアに設定]** オプションのいずれか1つを選択できます。個人識別番号 (PIN) をジョブに割り当てた場合は、そのジョブを印刷するユーザーがコントロールパネルで必要な PIN を入力する必要があります。ジョブを暗号化した場合は、そのジョブを印刷するユーザーがコントロールパネルで必要なパスワードを入力する必要があります。
5. カスタムユーザー名またはジョブ名を使用するには、**[ユーザー設定]** ボタンをクリックして、ユーザー名またはジョブ名を入力します。
- 別の保存ジョブに同じ名前が付いている場合に使用するオプションを選択します。
- **[ジョブ名と 1 ~ 99 までの数値を使用する]**: 固有の番号をジョブ名の末尾に追加します。
 - **[既存のファイルを置換]**: 既存の保存ジョブを新しいジョブで上書きします。
6. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで、**[印刷]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

保存ジョブの作成 (macOS)

プライベート印刷または遅延印刷のために、USB フラッシュドライブにジョブを保存します。

1. **[ファイル]** メニューをクリックし、**[印刷]** オプションをクリックします。
 2. **[プリンタ]** メニューで、このプリンタを選択します。
 3. **[詳細表示]** または **[部数とページ数]** をクリックし、**[ジョブ保存]** メニューをクリックします。
-
-  **注記**: **[ジョブ保存]** メニューが表示されない場合は、印刷ウィンドウをいったん閉じて再度開いて、メニューをアクティブにします。
-
4. **[モード]** ドロップダウン リストで、保存するジョブの種類を選択します。
 - **[試し刷り後に保留]**: ジョブを 1 部試し刷りしてから、追加の部数を印刷できます。
 - **[個人ジョブ]**: ジョブは、ユーザーがプリンタのコントロールパネルで印刷を指示するまで印刷されません。個人識別番号 (PIN) がジョブに割り当てられている場合は、コントロールパネルで必要な PIN を入力します。この印刷ジョブは印刷後にメモリから削除され、プリンタの電源を切ると失われます。
 - **[クイックコピー]**: 指定した部数だけジョブを印刷し、後で再度印刷できるようにプリンタのメモリにジョブを保存します。
 - **[保存ジョブ]**: プリンタにジョブを保存して、他のユーザーが後でいつでもそのジョブを印刷できるようにします。個人識別番号 (PIN) がジョブに割り当てられている場合は、そのジョブを印刷するユーザーがコントロールパネルで必要な PIN を入力する必要があります。
 5. カスタムユーザー名またはジョブ名を使用するには、**[ユーザー設定]** ボタンをクリックして、ユーザー名またはジョブ名を入力します。


 **注記**: macOS 10.14 Mojave 以降: プリンタ ドライバに、**[カスタム]** ボタンが含まれなくなりました。保存ジョブを設定するには、**[モード]** ドロップダウン リストの下のオプションを使用します。


別の保存ジョブが同じ名前の場合に使用するオプションを選択します。

- **[ジョブ名と 1 ~ 99 までの数値を使用する]** : 固有の番号をジョブ名の末尾に追加します。
 - **[既存のファイルを置換]** : 既存の保存ジョブを新しいジョブで上書きします。
6. **[モード]** ドロップダウンリストで**[保存ジョブ]**または**[個人ジョブ]**オプションを選択した場合、PIN でジョブを保護できます。**[印刷用の PIN を使用]** フィールドに 4 桁の番号を入力します。他のユーザーがこのジョブを印刷しようとする、この PIN の入力を求められます。
 7. **[印刷]** ボタンをクリックして、ジョブを処理します。

印刷してジョブ保存

次の手順に従って、プリンタのメモリに保存されているジョブを実行します。

 **注記** : 印刷したジョブは、ジョブ保存に保存でき、必要な場合は、ハードドライブをフォーマットに増設してストレージ追加できます。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**印刷** アプリケーションに移動し、次に **印刷** アイコンを選択します。
2. **ジョブ保存から印刷** を選択します。
3. **選択** を選択し、ジョブが保存されているフォルダの名前を選択します。
4. ジョブの名前を選択します。ジョブがプライベートであるか暗号化されている場合、PIN またはパスワードを入力する必要があります。
5. 部数を調整するには、画面の左下隅にある **[部数]** フィールドを選択します。キーパッドを使用して、印刷する部数を入力します。
6. **[スタート]**  または **印刷** を選択して、ジョブを印刷します。


保存ジョブの削除

プリンタに保存した文書が不要になったら、その文書を削除することができます。また、プリンタに保存するジョブの最大数を調整できます。

- [プリンタに保存されているジョブを削除](#)
- [ジョブ保存の制限を変更](#)

プリンタに保存されているジョブを削除

コントロールパネルを使用して、プリンタのメモリに保存されているジョブを削除します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**印刷** アプリケーションに移動し、次に **印刷** アイコンを選択します。
2. **ジョブ保存から印刷** を選択します。
3. **選択** を選択し、ジョブが保存されているフォルダの名前を選択します。
4. ジョブの名前を選択します。ジョブがプライベートであるか暗号化されている場合、PIN またはパスワードを入力する必要があります。
5. **ゴミ箱**  ボタンを選択してジョブを削除します。

ジョブ保存の制限を変更

新しいジョブをプリンタのメモリに保存するとき、ユーザー名とジョブ名が一致するジョブが既に存在していると、そのジョブは上書きされます。プリンタの空き容量が不足している場合に新規の保存ジョブを送信すると、最も古い保存ジョブから順に削除されます。

プリンタに保存できるジョブ数を変更するには、次の手順を実行します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **コピー/印刷** または **印刷**
 - **保存ジョブの管理**
 - **一時的なジョブ保存制限**
3. キーパッドを使用して、プリンタで保存するジョブ数を入力します。
4. **OK** または **完了** を選択して、この設定を保存します。

ジョブアカウントの目的でプリンタに送信される情報

クライアント (PC など) のドライバから送信される印刷ジョブでは、個人を識別できる情報が HP の印刷およびイメージングデバイスに送信されることがあります。この情報には、印刷デバイスの管理者の決定に従って、ジョブアカウントの目的で使用できるジョブの発行元のユーザー名とクライアント名が含まれることがあります (ただしそれに限定されるわけではありません)。ジョブ保存機能を使用する場合、この同じ情報が印刷デバイスの大容量デバイス (ディスクドライブなど) にジョブとともに格納されることもあります。

USB フラッシュ ドライブからの印刷

このプリンタはイーザー アクセス USB 印刷機能を備えているため、コンピュータからファイルを送信せずにすばやくファイルを印刷できます。

- [USB ポートを有効化して印刷](#)
- [USB からの文書の印刷](#)

コントロールパネルの近くにある USB ポートには、標準の USB フラッシュ ドライブを接続できます。対応するファイルタイプ：

- .pdf
- .prn
- .pcl
- .ps
- .cht

USB ポートを有効化して印刷

USB ポートは、デフォルトで無効になっています。この機能を使用する際は、USB ポートを有効にしてください。

- [方法 1: プリンタのコントロールパネルから USB ポートを有効化](#)
- [方法 2: HP 内蔵 Web サーバから USB ポートを有効化 \(ネットワークに接続しているプリンタのみ\)](#)

ポートを有効にするには、次のいずれかの方法を実行します。

方法 1: プリンタのコントロールパネルから USB ポートを有効化


プリンタのコントロールパネルを使用して、印刷用 USB ポートを有効にします。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **コピー/印刷** または **印刷**
 - **デバイス USB の有効化**
3. **USB ドライブからの印刷を有効化** を選択します。

方法 2: HP 内蔵 Web サーバから USB ポートを有効化 (ネットワークに接続しているプリンタのみ)

HP 内蔵 Web サーバを使用して、印刷用 USB ポートを有効にします。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面から、[情報] ⓘ アイコン、[ネットワーク] 品アイコンの順に選択して、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されている IP アドレスをアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 **注記** : EWS を開こうとしたときに Web ブラウザに [この Web サイトのセキュリティ証明書に問題があります] というメッセージが表示された場合、[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] をクリックします。


[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] を選択しても、HP プリンタの EWS 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。

3. MFP モデルの場合は [コピー/印刷] タブ、SFP モデルの場合は [印刷] タブを選択します。
4. 左側のメニューで、[USB ドライブからの印刷の設定] を選択します。
5. [USB ドライブからの印刷を有効化] を選択します。
6. [適用] をクリックします。


USB からの文書の印刷


USB フラッシュドライブから文書を印刷します。

1. USB フラッシュドライブをイーザーアクセス USB ポートに挿入します。

 **注記** : ポートにカバーが付いている場合があります。一部のプリンタについては、カバーはフリップ式です。その他のプリンタのカバーは、まっすく引いて取り外す形式です。

2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**印刷** アプリケーションに移動し、次に **印刷** アイコンを選択します。
3. **USB ドライブから印刷** を選択します。
4. **選択** を選択し、印刷する文書の名前を選択し、**選択** を選択します。

 **注記** : 文書はフォルダ内にある場合があります。必要に応じてフォルダを開きます。

5. 部数を調整するには、**印刷** ボタンの左側のボックスをタッチし、表示されるキーパッドでコピーの部数を選択します。キーパッドを閉じるには、[閉じる]  ボタンを選択します。
6. **印刷** を選択して、文書を印刷します。

高速 USB 2.0 ポート (有線) を使用して印刷する

- [高速 USB ポートを有効化して印刷する](#)

高速 USB ポートを有効化して印刷する

このプリンタには、有線 USB 印刷用の高速 USB 2.0 ポートがあります。ポートはインタフェースポートにあり、デフォルトでは無効になっています。ポートを有効にするには、次のいずれかの方法を実行します。ポートが有効になったら、このポートを使用して印刷するために、製品ソフトウェアをインストールします。

- [方法 1: プリンタのコントロールパネルメニューから高速 USB 2.0 ポートを有効化](#)
- [方法 2: HP 内蔵 Web サーバから高速 USB 2.0 ポートを有効化 \(ネットワークに接続しているプリンタのみ\)](#)

方法 1: プリンタのコントロールパネルメニューから高速 USB 2.0 ポートを有効化

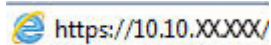
コントロールパネルを使用して、ポートを有効化します。


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **全般**
 - **デバイス USB の有効化**
3. **有効化** オプションを選択します。

方法 2: HP 内蔵 Web サーバから高速 USB 2.0 ポートを有効化 (ネットワークに接続しているプリンタのみ)

ポートを有効にするには、HP EWS を使用します。

1. プリンタの IP アドレスを見つけます。プリンタのコントロールパネルで、**[情報]** ⓘ ボタンを選択し、**[ネットワーク]** 🖨️ アイコンを選択して、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されている IP アドレスをアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 https://10.10.XX.XXX/

 **注記:** Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピューターが損害を受けることはありません。

3. **[セキュリティ]** タブを選択します。
4. 画面の左側で、**[一般セキュリティ]** を選択します。
5. **[ハードウェア ポート]** まで下にスクロールし、次の両方の項目を有効にするチェックボックスをオンにします。
 - **[デバイス USB の有効化]**
 - **[ホスト USB プラグアンドプレイの有効化]**
6. **[適用]** をクリックします。

5 コピー

プリンタでコピーし、両面の文書のコピー方法を確認し、Web 上の補足的なコピー タスクを特定します。

- [コピーする](#)
- [両面コピーする](#)
- [補足的なコピータスク](#)

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/A3 を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljE77422MFP を参照してください。

詳細は、[次を参照してください](#)。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。


- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

コピーする

自動文書フィーダまたはスキャナのガラス面から、文書または画像をコピーします。

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[コピー](#) アプリケーションに移動し、次に [コピー](#) アイコンを選択します。
3. [オプション](#) ペインで、部数を選択します。
4. テキスト、グラフィックス、または写真など、コピーする画像の種類に合わせて最適化するには、[テキスト/画像の最適化](#) を選択します。次のいずれかの事前定義オプションを選択します。

5. プレビュー機能を使用する前に、黄色い三角形のマークが付いたオプションを設定します。

 **注記**：これらのオプションは、プレビュー スキャン後、メインの **オプション** リストから削除され、**事前スキャンオプション** リストにまとめられます。これらのオプションのいずれかを変更するには、プレビューを破棄して、最初からやり直します。

プレビュー機能の使用はオプションです。

6. 文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー画面で、画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。



2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えるには、これらのボタンを使用します。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。



選択したページをズームインまたはズームアウトするには、これらのボタンを使用します。

注記：これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。



ページを 180 度回転するには、このボタンを使用します。

注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



選択したページを削除するには、このボタンを使用します。

注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書内のページの順序を変更するには、これらのボタンを使用します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。

注記：これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書にページを追加するには、このボタンを使用します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。




プレビューで加えた変更をクリアして最初からやり直すには、このボタンを使用します。

7. 文書の準備が整ったら、**スタート** をタッチしてコピーを開始します。

両面コピーする

用紙の両面にコピーまたは印刷します。

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** アプリケーションに移動し、次に **コピー** アイコンを選択します。
3. **オプション** ペインで、**片面原稿/両面原稿** を選択して、原稿について説明するオプションを選択します。
 - **自動検出** を使用して、原稿のページが片面印刷か、両面印刷かを検出することができます。
 - ページの片面のみに印刷されている原稿については、**片面** を使用します。
 - 本のような、ページの左端または右端が綴じられている原稿については、**両面 (製本スタイル)** を使用します。イメージが縦向きの場合、出力されたページの綴じ向きは長辺側になります。イメージが横向きの場合、出力されたページの綴じ向きは短辺側になります。
 - カレンダのような、ページの上部または下部が綴じられている原稿については、**両面 (綴込みスタイル)** を使用します。イメージが縦向きの場合、出力されたページの綴じ向きは短辺側になります。イメージが横向きの場合、出力されたページの綴じ向きは長辺側になります。
4. [出力面] を選択して、これらのオプションのいずれかを選択します。
 - **原稿と同じ** : 出力ページの形式が、原稿と同じになります。たとえば、原稿が片面であれば、出力ページも片面になります。ただし、管理者によって片面印刷が制限されており、原稿が片面である場合は、出力コピーは両面 (製本スタイル) になります。
 - **片面** : 出力コピーは片面になります。ただし、管理者によって片面印刷が制限されている場合は、出力コピーは両面 (製本スタイル) になります。
 - **両面 (製本スタイル)**: 出力コピーは、本のように、右端または左端が綴じられた状態になります。イメージが縦向きの場合、出力されたページの綴じ向きは長辺側になります。イメージが横向きの場合、出力されたページの綴じ向きは短辺側になります。
 - **両面 (綴込みスタイル)**: 出力コピーは、本のように、上部または下部が綴じられた状態になります。イメージが縦向きの場合、出力されたページの綴じ向きは短辺側になります。イメージが横向きの場合、出力されたページの綴じ向きは長辺側になります。
5. プレビュー機能を使用する前に、黄色い三角形のマークが付いたオプションを設定します。

 **注記** : これらのオプションは、プレビュー スキャン後、メインの **オプション** リストから削除され、**事前スキャンオプション** リストにまとめられます。これらのオプションのいずれかを変更するには、プレビューを破棄して、最初からやり直します。

プレビュー機能の使用はオプションです。

6. 文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー画面で、画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

項目	説明
	2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えるには、これらのボタンを使用します。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
	
	選択したページをズームインまたはズームアウトするには、これらのボタンを使用します。 注記: これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。
	
	ページを 180 度回転するには、このボタンを使用します。 注記: このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	選択したページを削除するには、このボタンを使用します。 注記: このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	文書内のページの順序を変更するには、これらのボタンを使用します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。 注記: これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	
	文書にページを追加するには、このボタンを使用します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。
	プレビューで加えた変更をクリアして最初からやり直すには、このボタンを使用します。

7. 文書の準備が整ったら、**スタート** をタッチしてコピーを開始します。

補足的なコピー タスク

一般的なコピー タスクを実行するための Web 上の情報を確認します。

www.hp.com/support/colorljE77422MFP にアクセスします。

たとえば、以下のようなコピー タスクの手順を参照できます。

- 本またはその他の綴じられた文書のページのコピーまたはスキャン
- 複数のサイズが混在する原稿のコピー
- IDカードの両面のコピーまたはスキャン
- 文書をブックレット形式でコピーまたはスキャンします。

6 スキャン

ソフトウェアを使用してスキャンするか、電子メール、USB フラッシュドライブ、ネットワークフォルダ、または別の宛先に直接スキャンします。

- [\[スキャンして電子メールで送信\]のセットアップ](#)
- [\[スキャンデータをネットワークフォルダに送信\]のセットアップ](#)
- [\[スキャンしてUSBドライブに保存\]のセットアップ](#)
- [スキャンしてジョブ保存](#)
- [スキャンしてUSBドライブに保存](#)
- [HP JetAdvantage ビジネスソリューションの使用](#)
- [補足的なスキャンタスク](#)

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/A3 を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljE77422MFP を参照してください。

詳細は、[次を参照してください](#)。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- [設置と設定](#)
- [学習と使用](#)
- [問題の解決](#)
- [ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新](#)
- [サポートフォーラムへの参加](#)
- [保証および規制に関する情報の検索](#)

[スキャンして電子メールで送信]のセットアップ

このプリンタは、文書をスキャンして、そのスキャンデータを1つ以上の電子メールアドレスに送信する機能を備えています。

- [はじめに](#)
- [作業を開始する前に](#)
- [手順1: HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) にアクセス](#)
- [手順2: \[ネットワーク ID\] 設定の設定](#)
- [手順3: \[電子メールへの送信\] 機能の設定](#)
- [手順4: クイックセットの設定 \(オプション\)](#)
- [手順5: Office 365 Outlook を使用するための \[電子メールへの送信\] のセットアップ \(オプション\)](#)

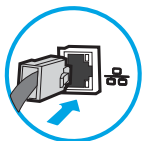
はじめに

このスキャン機能を使用するには、プリンタをネットワークに接続する必要があります。この機能は設定されるまで利用できません。[スキャンして電子メールで送信]を設定するには、基本的な[スキャンして電子メールで送信セットアップウィザード]と高度な[電子メールセットアップ]の2つの方法があります。

以下の情報を使用して、スキャンして電子メールで送信 機能を設定してください。


作業を開始する前に

スキャンして電子メールで送信 機能をセットアップするには、プリンタにアクティブなネットワーク接続が存在している必要があります。




管理者は、設定プロセスを開始する前に以下の情報が必要です。

- プリンタへの管理者アクセス権
- DNS サフィックス (例: companyname.com)
- SMTP サーバ (例: smtp.mycompany.com)



 **注記:** SMTP サーバ名、SMTP ポート番号、または認証情報がわからない場合は、電子メール/インターネット サービス プロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。SMTP サーバ名とポート番号は、通常はインターネットを検索すればわかります。たとえば、「Gmail smtp サーバ名」や「Yahoo smtp サーバ名前」などで検索します。


- 認証に使用されるユーザー名とパスワード (該当する場合) を含む、送信電子メール メッセージの SMTP サーバ認証要件

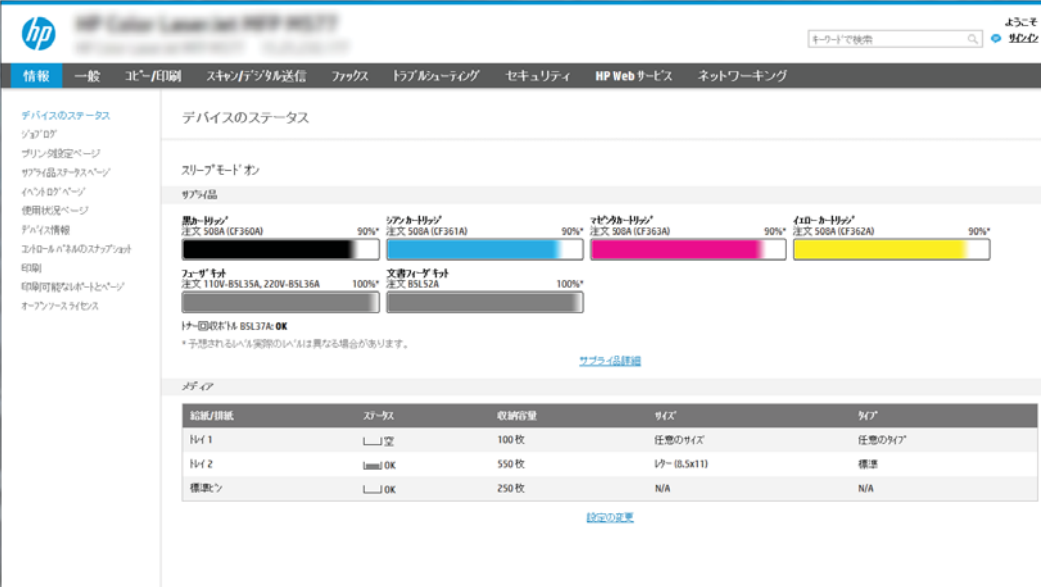
 **注記:** 電子メール アカウントのデジタル送信制限の詳細については、電子メール サービス プロバイダのマニュアルを参照してください。プロバイダによっては送信制限を超えると、一時的にアカウントがロックされる場合があります。

手順1 : HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス

EWS を開き、セットアッププロセスを開始します。

1. プリンタのコントロールパネル上の[ホーム]画面から、[情報]  アイコン、[ネットワーク]  アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 **注記:** Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。




The screenshot shows the HP Embedded Web Server (EWS) interface. The top navigation bar includes tabs for '情報' (Information), '一般' (General), 'コピー/印刷' (Copy/Print), 'スキャン/デジタル送信' (Scan/Digital Send), 'ファックス' (Fax), 'トラブルシューティング' (Troubleshooting), 'セキュリティ' (Security), 'HP Web サービス' (HP Web Services), and 'ネットワーク' (Network). The main content area is titled 'デバイスのステータス' (Device Status) and includes sections for 'スリープモード' (Sleep Mode), 'サブライム' (Sublimation), 'インク' (Ink), and 'メディア' (Media). The 'インク' section shows four ink cartridges with their respective levels: Black (90%), Cyan (90%), Magenta (90%), and Yellow (90%). The 'メディア' section shows a table of paper trays.


給紙/排紙	ステータス	収納容量	サイズ	メモ
トレイ 1	空	100 枚	任意のサイズ	任意のサイズ
トレイ 2	OK	550 枚	4-6.5x11	標準
標準トレイ	OK	250 枚	N/A	N/A

手順2 : [ネットワーク ID] 設定の設定

ネットワーク ID の詳細設定を行います。

 **注記:** [ネットワーク] タブでの電子メールセットアップの設定は、高度なプロセスであり、システム管理者の支援が必要になる可能性があります。


1. EWS の最上部のナビゲーションタブを使用して、[ネットワーク] をクリックします。

 **注記:** Office 365 を使用したネットワーク設定 : [99 ページの手順 5 : Office 365 Outlook を使用するための \[電子メールへの送信\] のセットアップ \(オプション\)](#)

2. 左側のナビゲーションウィンドウで [TCP/IP 設定] をクリックします。EWS の [ネットワーク ID] タブにアクセスするには、ユーザー名/パスワードが必要な場合があります。
3. [TCP/IP 設定] ダイアログで、[ネットワーク ID] タブをクリックします。

4. ネットワークでDNSが必要な場合は、[TCP/IP ドメインサフィックス]領域で、使用する電子メールクライアントのDNS サフィックスが表示されていることを確認します。DNS サフィックスの形式は、*companyname.com*、*gmail.com*などの形式になります。

The screenshot shows the HP ePrint Web interface for an HP Color LaserJet MFP M5277. The 'Networking' menu is active, and the 'TCP/IP Settings' page is displayed. The 'Network Identification' tab is selected, and the 'TCP/IP Domain Suffix' section is highlighted with a blue box. The 'DNS Suffixes' list is empty, and there is an 'Add' button below it. The 'WINS (IPv4 only)' and 'Bonjour' sections are also visible.

 **注記：**ドメイン名サフィックスがセットアップされていない場合は、IPアドレスを使用します。

5. [適用] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。

手順3 : [電子メールへの送信] 機能の設定

[電子メールへの送信]を設定するには、基本的な設定の[電子メールセットアップウィザード]と高度な設定の[電子メールセットアップ]の2つのオプションがあります。[電子メールへの送信]機能を設定するには、次のオプションを使用します。


- [方法1: \[電子メールセットアップウィザード\]を使用した基本的な設定](#)
- [方法2: 電子メールセットアップを使用した高度な設定](#)

方法1: [電子メールセットアップウィザード]を使用した基本的な設定

[電子メールセットアップウィザード]を使用して、基本的な設定を行います。

このオプションにより、基本的な設定のために、HP 内蔵 Web サーバ (EWS) で[電子メールセットアップウィザード]が開きます。

1. EWS 上部のナビゲーションタブを使用して、[スキャン/デジタル送信]をクリックします。
2. 左側のナビゲーションウィンドウで、[ネットワークフォルダへのメール送信とスキャンのクイック設定ウィザード]をクリックします。
3. [ネットワークフォルダへのメール送信とスキャンのクイック設定ウィザード]ダイアログで、[電子メールセットアップ]リンクをクリックします。


 **注記:** [スキャンして電子メールで送信]機能が無効であることを示すメッセージが表示された場合、[続行]をクリックして設定を続け、完了時に[スキャンして電子メールで送信]機能を有効にします。



4. [電子メールサーバ (SMTP) を設定]ダイアログで、次のいずれかのオプションを選択して、手順を実行します。

オプション1: 電子メールで既に使用しているサーバを使用する

- ▲ [電子メールで既に使用しているサーバを使用する]を選択し、[次へ]をクリックします。


 **注記:** このオプションを使用すると、ファイアウォール内の送信 SMTP サーバのみ検出されます。


オプション2: 送信電子メール サーバのネットワークを検索

- a. [送信電子メール サーバのネットワークを検索] を選択し、[次へ] をクリックします。
- b. 適切なサーバを [電子メール サーバ (SMTP) を設定] リストから選択し、[次へ] をクリックします。
- c. サーバの認証要件、
 - [サーバによる認証が不要]: [サーバによる認証が不要] を選択し、[次へ] をクリックします。
-または-
 - [サーバに認証が必要です]: ドロップダウン リストから、認証オプションを選択します。
 - o [コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する]: [コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する] を選択し、[次へ] をクリックします。
-または-
 - o [常にこれらの認証情報を使用する]: [常にこれらの認証情報を使用する] を選択し、[ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[次へ] をクリックします。

オプション3: SMTP サーバの追加

- a. [SMTP サーバの追加] を選択します。
- b. [サーバ名] と [ポート番号] を入力し、[次へ] をクリックします。


 **注記:** ほとんどの場合、デフォルトのポート番号を変更する必要はありません。

 **注記:** Gmail などのホスト SMTP サービスを使用している場合は、サービス プロバイダの Web サイトまたはその他のソースで SMTP アドレス、ポート番号、および SSL 設定を確認します。通常、Gmail の場合、SMTP アドレスは smtp.gmail.com、ポート番号は 465 で、SSL は有効にする必要があります。

オンラインソースを参照してこれらのサーバ設定が最新であり、設定の時点で有効である必要があります。

- c. 適切なサーバ認証オプションを選択します。
 - [サーバによる認証が不要]: [サーバによる認証が不要] を選択し、[次へ] をクリックします。
-または-
 - [サーバに認証が必要です]: [サーバに認証が必要です] ドロップダウン リストからオプションを選択します。
 - o [コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する]: [コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する] を選択し、[次へ] をクリックします。
-または-
 - o [常にこれらの認証情報を使用する]: [常にこれらの認証情報を使用する] を選択し、[ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[次へ] をクリックします。

5. **[電子メールの設定]** ダイアログで、差出人の電子メールアドレスに関して以下の情報を入力し、**[次へ]** をクリックします。

 **注記：** **[差出人]**、**[件名]**、および**[メッセージ]** フィールドを設定するとき、**[ユーザーによる編集が可能]** チェック ボックスをオフにすると、電子メールを送信する際、ユーザーはプリンタ コントロールパネルで該当するフィールドを編集できません。

オプション	説明
[送信元] (必須)	<p>[差出人] ドロップダウン リストから次のいずれかのオプションをタッチします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ユーザーのアドレス(サインインが必要)] • [デフォルトの差出人]： [デフォルトの差出人電子メールアドレス] と [デフォルト表示名] フィールドにデフォルトの電子メールアドレスと表示名を入力します。 <p>注記： プリンタの電子メールアカウントを作成し、このアドレスをデフォルトの電子メールアドレスとして使用します。</p> <p>注記： ユーザーがサインインしなければ電子メール機能を使用できないように設定します。これにより、ユーザーは自分のものでないアドレスから電子メールを送信できなくなります。</p>
[件名] (オプション)	電子メール メッセージのデフォルトの件名を入力します。
[メッセージ] (オプション)	<p>カスタムのメッセージを作成します。</p> <p>プリンタから送信するすべての電子メールにこのメッセージを使用するには、[メッセージ] の [ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオフにします。</p>

6. **[ファイル スキャン設定を設定]** 領域で、デフォルトのスキャン設定を設定し、**[次へ]** をクリックします。

オプション	説明
[ファイルタイプ]	<p>スキャンした文書のデフォルトのファイルタイプを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [PDF] • [JPEG] • [TIFF] • [MTIFF] • [.XPS] • [PDF/A]
[カラー/モノクロ]	<p>スキャンした文書のデフォルトのカラー設定を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [カラー] • [黒] • [黒/グレー] • [自動検出]


オプション	説明
[品質およびファイルサイズ]	<p>スキャンした文書のデフォルトの出力品質を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [低 (ファイルサイズ小)] • [標準] • [高 (ファイルサイズ大)]
[解像度]	<p>スキャンした文書のデフォルトのスキャン解像度を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [75dpi] • [150dpi] • [200dpi] • [300dpi] • [400dpi] • [600dpi]

7. [サマリ] 領域を確認し、[終了] をクリックしてセットアップを完了します。

方法 2: 電子メールセットアップを使用した高度な設定

内蔵 Web サーバ (EWS) を使用して、高度な電子メールセットアップを実行します。

1. EWS 上部のナビゲーションタブを使用して [スキャン/デジタル送信] をクリックし、左側のナビゲーションウィンドウで [電子メールセットアップ] をクリックします。


 **注記:** デフォルトでは、[電子メールセットアップ] ページに [スキャンして電子メールで送信] - セットアップの基本的な設定が表示されます。追加設定にアクセスするには、ページの下部にある [詳細設定] ボタンをクリックします。

2. [電子メールセットアップ] ダイアログで、[電子メールへの送信の有効化] チェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにしないと、プリンタのコントロールパネルでこの機能を使用できません。





3. [送信電子メールサーバ (SMTP)] 領域で、次のいずれかのオプションの手順を実行します。


- 表示されたサーバのいずれかを選択
- [次へ] をクリックして、SMTP ウィザードを開始します。
 1. SMTP ウィザードで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - オプション 1: [SMTP サーバアドレスまたはホスト名 (わかっている場合)]: SMTP サーバのアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。
 - オプション 2: SMTP サーバのアドレスが不明な場合は、[送信電子メールサーバのネットワークを検索] を選択して、[次へ] をクリックします。サーバを選択し、[次へ] をクリックします。

 **注記**：SMTP サーバが別のプリンタ機能向けに既に作成されている場合は、**[別の機能で既に使用しているサーバを使用する]** オプションが表示されます。このオプションを選択して電子メール機能に使用するよう設定します。

2. **[サーバに接続するために必要な基本情報を設定します]** ダイアログで、使用するオプションを設定し、**[次へ]** をクリックします。


 **注記**：一部のサーバでは、5MB より大きい電子メールの送受信で問題が発生します。このような問題は、**[このサイズより大きい場合電子メールを分割 (MB 単位)]** に数字を入力することにより回避できます。

 **注記**：ほとんどの場合、デフォルトのポート番号を変更する必要はありません。ただし、SMTP SSL プロトコルの有効化 オプションを使用する場合は、ポート 587 を使用する必要があります。


 **注記**：電子メールサービスに Google™ Gmail を使用している場合は、**[SMTP SSL プロトコルの有効化]** チェック ボックスをオンにします。通常、Gmail の場合、SMTP アドレスは smtp.gmail.com、ポート番号 465 で SSL は有効にする必要があります。

オンラインソースを参照してこれらのサーバ設定が最新であり、設定の時点で有効である必要があります。

3. **[サーバ認証要件]** ダイアログで、サーバの認証要件、
 - **[サーバによる認証が不要]** を説明するオプションを選択し、**[次へ]** をクリックします。
 - **[サーバによる認証が必要]**
 - ドロップダウン ボックスから、**[コントロールパネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
 - ドロップダウン ボックスから、**[常にこれらの認証情報を使用する]** を選択し、**[ユーザー名]** と **[パスワード]** を入力し、**[次へ]** をクリックします。

 **注記**：サインインしたユーザーの認証情報を使用する場合、プリンタのコントロールパネルで、ユーザーによるサインインが必要になるように電子メールを設定します。**[セキュリティ]** タブの **[アクセス制御]** ダイアログにある **[サイン インおよび権限ポリシー]** 領域の **[デバイスゲスト]** 列で電子メールのチェック ボックスをオフにして、電子メールへのデバイスゲスト アクセスを拒否します。チェック ボックスのアイコンがチェック マークからロックに変更されます。

4. **[サーバ使用状況]** ダイアログで、この SMTP サーバ経由で電子メールを送信するプリンタ機能を選択し、**[次へ]** ボタンをクリックします。

 **注記**：サーバが認証を要求する場合は、プリンタから自動警告とレポートを送信するためのユーザー名とパスワードが必要になります。

5. **[概要およびテスト]** ダイアログで、**[テスト電子メールの宛先]** フィールドに有効な電子メールアドレスを入力し、**[テスト]** をクリックします。
6. すべての設定が正しいことを確認し、**終了** をクリックして、送信電子メールサーバのセットアップを完了します。


4. [アドレス/メッセージフィールド制御] 領域で、[差出人:] 設定およびその他のオプションの設定を入力します。

[アドレス/メッセージフィールド制御] 設定

機能	説明
[アドレスフィールドの制限]	<p>ユーザーがアドレス帳から電子メールアドレスを選択する必要があるか、またはユーザーが手動で電子メールアドレスを入力できるかを指定します。</p> <p>注意: [ユーザーによるアドレス帳からの選択が必要] が選択されていて、アドレスフィールドのいずれかが [ユーザーによる編集が可能] に設定されている場合、編集が可能なフィールドを変更すると、アドレス帳の対応する値も変更されます。</p> <p>ユーザーがプリンタのコントロールパネルでアドレス帳の連絡先を変更できないようにするには、[セキュリティ] タブの [アクセス制御] ページに進み、アドレス帳の変更を目的とした [デバイスゲスト] アクセスを拒否します。</p>
[無効な電子メールアドレス形式を許可]	無効な電子メールアドレス形式を許可する場合に選択します。
[ユーザーによる編集が可能]	<p>(ユーザーがサインインしていない場合) このプリンタから送信するすべての電子メールに [デフォルトの差出人] アドレスと [デフォルト表示名] を使用するには、[ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにしないでください。</p> <p>アドレスフィールドを設定する際、[ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオフにしておくと、電子メールの送信時、ユーザーによるプリンタのコントロールパネルでの該当フィールドの編集はできなくなります。自分あてに送信する機能では、[差出人:] [宛先:] [CC:]、および [BCC:] フィールドを含む、アドレスフィールドのすべての [ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオフにし、そのユーザーの送信メールの [差出人:] (自分の電子メールアドレス) および [宛先:] (自分の電子メールアドレス) を設定します。</p>
[デフォルトの差出人:] と [デフォルトの表示名:]	<p>電子メールメッセージの [差出人:] アドレスに使用する電子メールアドレスと名前を入力します。</p> <p>注記: プリンタの電子メールアカウントを作成し、このアドレスをデフォルトの電子メールアドレスとして使用します。</p> <p>注記: ユーザーがサインインしなければ電子メール機能を使用できないように設定します。これにより、ユーザーは自分のものでないアドレスから電子メールを送信できなくなります。</p>
[宛先:] ¹	電子メールに宛先 (受信者) の電子メールアドレスを入力します。
[CC:] ¹	電子メールに CC する電子メールアドレスを入力します。
[BCC:] ¹	電子メールに BCC する電子メールアドレスを入力します。
[タイトル:]	電子メールメッセージのデフォルトの件名を入力します。
[メッセージ:]	カスタムのメッセージを作成します。プリンタから送信するすべての電子メールにこのメッセージを使用するには、[メッセージ:] の [ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオフにします。

¹ この設定は、[詳細設定] ページでのみ使用可能です。


5. [署名と暗号化] 領域で、署名と暗号化設定を設定します。

 **注記:** これらの設定は、[詳細設定] ページでのみ使用可能です。

[署名と暗号化] 設定:

機能	説明
[署名]	セキュリティ証明書に署名するかどうかを選択します。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、 [ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオンにします。
[ハッシュアルゴリズム]	証明書に署名するために使用するアルゴリズムを選択します。
[暗号化]	電子メールを暗号化するかどうかを選択します。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、 [ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオンにします。
[暗号化アルゴリズム]	電子メールの暗号化に使用するアルゴリズムを選択します。
[受信者公開鍵の属性]	LDAP から受信者の公開鍵証明書を取得するためにどの属性を使用するかを入力します。
[受信者の公開鍵証明書を使用して受信者を確認します]	受信者の公開鍵証明書を使用して受信者を確認するには、この設定を選択します。

- [通知設定] 領域で、送信された電子メールに関する通知をユーザーがいつ受信するかを選択します。デフォルト設定では、サインインしたユーザーの電子メールアドレスが使用されます。受信者の電子メールが空白の場合、通知は送信されません。
- [スキャン設定] 領域で、デフォルトのスキャン設定を設定します。

 **注記：** これらの設定は、[詳細設定] ページでのみ使用可能です。

[スキャン設定] :

機能	説明
[原稿のサイズ]	原稿のサイズを選択します。
[原稿の面数]	原稿が片面か両面かを選択します。
[テキスト/画像の最適化]	特定のコンテンツタイプの出力を最適化するために選択します。
[内容の向き]	原稿の内容をページ上に配置する方向を選択します。 [縦] または [横] 。
[背景のクリーンアップ]	背景からぼやけたイメージを削除したり、薄い背景色を削除したりする値を選択します。
[濃さ]	ファイルの濃さを調整する値を選択します。
[コントラスト]	ファイルのコントラストを調整する値を選択します。
[鮮明度]	ファイルの鮮明度を調整する値を選択します。
[画像プレビュー]	ジョブの表示されたプレビューを必須またはオプションにするかまたはプレビューを無効にする場合に選択します。
[トリミングオプション]	ジョブのトリミングを許可するかどうか、およびトリミングオプションのタイプを選択します。
[エッジの消去]	ジョブの表側および裏側で消去するエッジマージンをインチまたはミリメートル単位で指定するためにこの設定を選択します。

- [ファイル設定] 領域で、デフォルトのファイル設定を設定します。

[ファイル設定] :

機能	説明
[ファイル名プレフィックス] ¹	ネットワークフォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名プレフィックスを設定します。
[ファイル名]	保存するファイルのデフォルトのファイル名です。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、 [ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにします。
[ファイル名サフィックス] ¹	ネットワークフォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名サフィックスを設定します。 ファイル名が重複した場合のデフォルトのサフィックス[ファイル名]_YYYYMMDDT
[ファイル名プレビュー] ¹	ファイル名を入力し、 [プレビューを更新] ボタンをクリックします。
[ファイル番号のフォーマット] ¹	ジョブが複数のファイルに分割されている場合にファイル名形式を選択します。
[ジョブが1つのファイルのみの場合、番号を追加 (例: _1-1)] ¹	複数のファイルではなく1つのファイルのみのジョブの場合、この設定を選択してファイル名に番号を追加します。
[ファイルタイプ]	保存したファイルのファイル形式を選択します。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、 [ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにします。
[高圧縮 (小さいファイル)] ¹	スキャンしたファイルを圧縮してファイルサイズを小さくするには、この設定を選択します。ただし、高圧縮ファイルのスキャンの処理は、通常の圧縮ファイルの処理よりも時間がかかる場合があります。
[PDF 暗号化]	ファイルタイプがPDFの場合、出力PDFファイルを暗号化します。暗号化の一環としてパスワードを指定する必要があります。ファイルを開くには同じパスワードを使用する必要があります。パスワードを設定せずに実行すると、ジョブをスキャンする前にパスワードを入力するよう要求されます。
[解像度]	ファイルの解像度を設定します。解像度が高いほどインチあたりのドット数 (dpi) が多くなり、より詳細に表示されます。解像度が低いほどインチあたりのドット数が少なくなりイメージの詳細度は低下しますが、ファイルサイズが小さくなります。
[品質およびファイルサイズ]	ファイルの品質を選択します。高画質のイメージは低画質のイメージよりも大きなファイルサイズが必要になり、送信時間も長くなります。
[カラー/モノクロ]	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれかでコピーするかを指定します。
[空白ページの省略] ¹	[空白ページの削除] オプションが有効な場合、空白ページは無視されます。
[複数のファイルの作成] ¹	事前に設定した1ファイル当たりの最大ページ数に基づいて、ページを個別のファイルにスキャンするには、この設定を選択します。

¹ この設定は、[詳細設定] ページでのみ使用可能です。

9. 選択したオプションを確認して正確であることを確認し、**[適用]** をクリックしてセットアップを完了します。

手順4 : クイックセットの設定 (オプション)

プリンタのクイックセットを設定します。クイックセットは、メインのホーム画面またはプリンタのクイックセットアプリケーション内でアクセスできるオプションのショートカットジョブです。

1. 左側のナビゲーションウィンドウの**【電子メールセットアップ】**領域で、**【クイックセット】**をクリックします。
2. 以下のオプションから1つ選択してください。
 - 表のクイックセットアプリケーションで既存のクイックセットを選択します。
-または-
 - **【追加】**をクリックし、**【クイックセット】**ウィザードを開始します。
3. **【追加】**を選択すると、**【クイックセット設定】**ページが開きます。次の情報を入力します。
 - **【クイックセット名】**: 新しいクイックセットのタイトルを入力します。
 - **【クイックセットの説明】**: クイックセットの説明を入力します。
 - **【クイックセット開始オプション】**: クイックセットの開始方法を設定するには、**【ユーザーは、アプリケーションに入って【スタート】を押します】**または**【ホーム画面での選択後、直ちに開始します】**のいずれかをクリックします。
4. クイックセットに**【アドレス/メッセージフィールド制御】**、**【署名と暗号化】**、**【通知設定】**、**【スキャン設定】**、**【ファイル設定】**の各設定を定義します。
5. **【終了】**をクリックして、クイックセットを保存します。

手順 5 : Office 365 Outlook を使用するための [電子メールへの送信] のセットアップ (オプション)

Office 365 Outlook アカウントから電子メールを送信するため、[電子メールへの送信] 機能を設定します。

- [はじめに](#)
- [Office 365 Outlook アカウントから電子メールを送信するための送信電子メール サーバ \(SMTP\) の設定](#)

はじめに

Microsoft Office 365 Outlook は、Microsoft が提供するクラウド ベースの電子メール システムで、Microsoft の SMTP (Simple mail transfer protocol) サーバを使用して電子メールの送受信を実行します。プリンタで、コントロールパネルから Office 365 Outlook アカウントを使用して電子メールを送信できるようにするには、次を実行します。

 **注記 :** EWS で設定を構成するには、Office 365 Outlook の電子メール アドレス アカウントを持っている必要があります。


Office 365 Outlook アカウントから電子メールを送信するための送信電子メール サーバ (SMTP) の設定

次の手順に従って、送信電子メール サーバを設定します。

1. EWS の最上部のナビゲーション タブを使用して、[ネットワーク] をクリックします。
2. 左側のナビゲーション ウィンドウで [TCP/IP 設定] をクリックします。
3. [TCP/IP 設定] 領域で、[ネットワーク ID] タブをクリックします。

4. ネットワークで DNS が必要な場合は、[TCP/IP ドメイン サフィックス] 領域で、使用する電子メールクライアントの DNS サフィックスが表示されていることを確認します。DNS サフィックスの形式は、*companyname.com*、*Gmail.com* などの形式になります。

The screenshot shows the HP ePrint Service WebUI interface. The top navigation bar includes 'Information', 'General', 'Copy/Print', 'Scan/Digital Send', 'Fax', 'Troubleshooting', 'Security', 'HP Web Services', and 'Networking'. The left sidebar lists various configuration options under 'Configuration', 'Security', and 'Diagnostics'. The main content area is titled 'TCP/IP Settings' and has several tabs: 'Summary', 'Network Identification', 'TCP/IP(v4)', 'TCP/IP(v6)', 'Config Precedence', and 'Advanced'. The 'Network Identification' tab is active. Under this tab, there is a checkbox for 'Enable DDNS'. Below that is the 'TCP/IP Domain Suffix' section, which contains a 'DNS Suffixes' list and an 'Add' button. The 'WINS (IPv4 only)' section has 'Primary' and 'Secondary' input fields. The 'Bonjour' section has a 'Bonjour Service Name' input field. At the bottom right, there are 'Apply' and 'Cancel' buttons.


 **注記**：ドメイン名サフィックスがセットアップされていない場合は、IP アドレスを使用します。

5. [適用] をクリックします。
6. [スキャン/デジタル送信] タブをクリックします。
7. 左側のナビゲーションウィンドウで、[電子メールセットアップ] をクリックします。

8. [電子メールセットアップ] ページで、[電子メールへの送信の有効化] チェックボックスをオンにします。このチェックボックスが使用できない場合、プリンタのコントロールパネルでこの機能を使用できません。

The screenshot shows the HP printer's web interface for setting up email. The main heading is '電子メールセットアップ デフォルトジョブ オプション'. Below the heading, there is a checkbox labeled '送信して電子メールで送信の有効化' (Enable sending to email via email), which is highlighted with a red box. Below this, there is a section for '送信電子メールサーバ (SMTP)' (SMTP server) with a text input field for the server address and buttons for '追加...' (Add...), '次へ' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). There are also sections for '送信元' (Sender) and '件名' (Subject) with dropdown menus and checkboxes for user selection.

9. [送信電子メールサーバ (SMTP)] 領域で [追加] をクリックして、SMTP ウィザードを起動します。
10. [SMTP サーバアドレスまたはホスト名 (わかっている場合)] フィールドで、「smtp.onoffice.com」と入力し、[次へ] をクリックします。
11. [サーバに接続するために必要な基本情報を設定します] ダイアログの、[ポート番号] フィールドに「587」と入力します。

 **注記：**一部のサーバでは、5MB より大きい電子メールの送受信で問題が発生します。このような問題は、[このサイズより大きい場合電子メールを分割 (MB 単位)] に数字を入力することにより回避できます。

12. [SMTP SSL プロトコルの有効化] チェックボックスをオンにして、[次へ] をクリックします。
13. [サーバ認証要件] ダイアログで、次の情報を入力します。
- [サーバに認証が必要です] を選択します。
 - ドロップダウンリストで、[常に次の資格証明を使用する:] を選択します。
 - [ユーザー名] フィールドに Office 365 Outlook の電子メールアドレスを入力します。
 - [パスワード] フィールドに Office 365 Outlook のアカウントパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。
14. [サーバ使用状況] ダイアログで、この SMTP サーバ経由で電子メールを送信するプリンタ機能を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
15. [概要およびテスト] ダイアログで、[テスト電子メールの宛先] フィールドに有効な電子メールアドレスを入力し、[テスト] をクリックします。
16. すべての設定が正しいことを確認し、[終了] をクリックして、送信電子メールサーバのセットアップを完了します。

[スキャンデータをネットワークフォルダに送信]のセットアップ

[スキャンデータをネットワークフォルダに送信]をセットアップし、文書をスキャンしてネットワークフォルダに直接保存します。


- [はじめに](#)
- [作業を開始する前に](#)
- [手順1：HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) にアクセス](#)
- [手順2：\[スキャンデータをネットワークフォルダに送信\]のセットアップ](#)

はじめに

この文書は、スキャンデータをネットワークフォルダに送信する機能を有効にして設定する方法について説明しています。このプリンタは、文書をスキャンして、そのデータをネットワークフォルダに保存する機能を備えています。このスキャン機能を使用するには、プリンタをネットワークに接続する必要があります。この機能は設定されるまで利用できません。[スキャンデータをネットワークフォルダに送信]を設定するには、基本的なセットアップの[[ネットワークフォルダに保存]セットアップウィザード]と高度なセットアップの[[ネットワークフォルダに保存]のセットアップ]の2つの方法があります。


作業を開始する前に

スキャンデータをネットワークフォルダに送信する機能をセットアップする前に、次の項目が必要です。

 **注記：**スキャンデータをネットワークフォルダに送信する機能をセットアップするには、プリンタにアクティブなネットワーク接続が存在している必要があります。



管理者は、設定プロセスを開始する前に以下の項目が必要です。

- プリンタへの管理者アクセス権
- 宛先フォルダの完全修飾ドメイン名 (FQDN) (例：\\servername.us.companyname.net\scans) またはサーバの IP アドレス (例：\\16.88.20.20\scans)


 **注記：**このコンテキストで使用する「サーバ」という用語は共有フォルダが存在するコンピュータを指します。

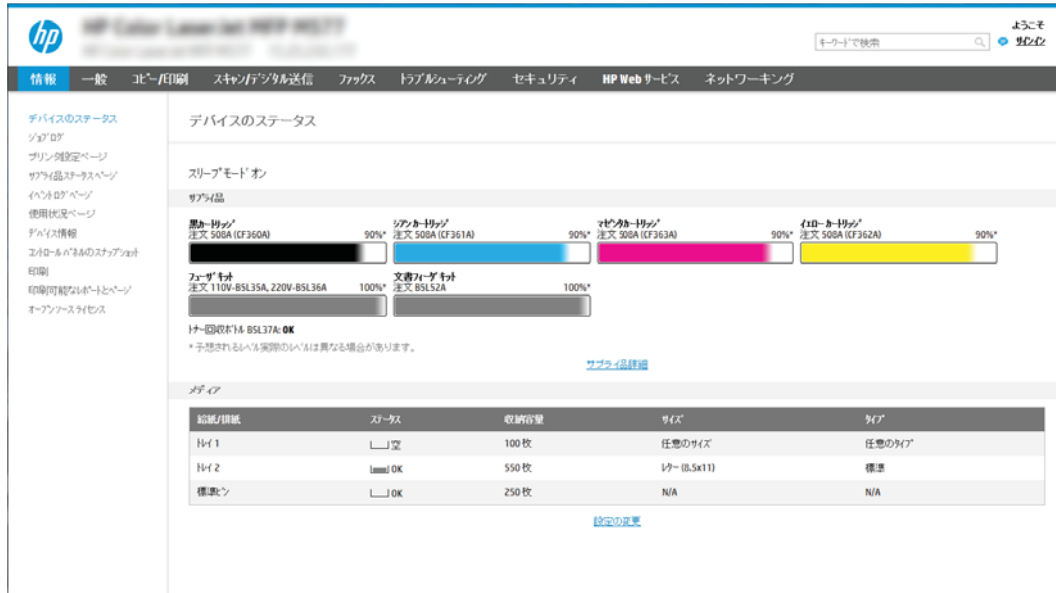
手順1：HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス

EWS を開き、セットアッププロセスを開始します。

1. プリンタのコントロールパネル上の [ホーム] 画面から、[情報]  アイコン、[ネットワーク]  アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。

- Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 **注記:** Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。



The screenshot displays the HP Embedded Web Server (EWS) interface for a printer. The main content area is titled "デバイスのステータス" (Device Status). It shows the printer is in "スリープモード" (Sleep Mode). Below this, there are four consumables levels represented by progress bars: Black Ink (90%), Cyan Ink (90%), Magenta Ink (90%), and Yellow Ink (90%). There are also two paper kit levels shown as 100%. A table at the bottom lists the media tray status, including paper type, status, capacity, size, and tray name.

給紙/排紙	ステータス	収納容量	サイズ	トレイ
トレイ 1	OK	100 枚	任意のサイズ	任意のトレイ
トレイ 2	OK	550 枚	4x6 (8.5x11)	標準
標準トレイ	OK	250 枚	N/A	N/A




手順 2 : [スキャンデータをネットワークフォルダに送信] のセットアップ

次のいずれかの方法を使用して、[スキャンデータをネットワークフォルダに送信] をセットアップします。


- [方法 1:\[スキャンデータをネットワークフォルダに送信ウィザード\] の使用](#)
- [方法 2:\[スキャンデータをネットワークフォルダに送信セットアップ\] の使用](#)


方法 1:[スキャンデータをネットワークフォルダに送信ウィザード] の使用

[スキャンデータをネットワークフォルダに送信ウィザード] を使用して、[ネットワークフォルダに保存] の基本的な設定を行います。

 **注記** : 作業を開始する前に : プリンタの IP アドレスまたはホスト名を表示するには、プリンタのコントロールパネルで [情報]  アイコンをタッチして、[ネットワーク]  アイコンにタッチします。


1. EWS 上部のナビゲーションタブを使用して、[スキャン/デジタル送信] タブをクリックします。
[ネットワークフォルダへのメール送信とスキャンのクイック設定ウィザード] ダイアログが開きます。
2. 左側のナビゲーションウィンドウで、[ネットワークフォルダへのメール送信とスキャンのクイック設定ウィザード] をクリックします。
3. [[ネットワークフォルダに保存] クイックセットウィザード] をクリックします。
4. [[ネットワークフォルダに保存] の追加または削除クイックセット] ダイアログで、[追加] をクリックします。

 **注記** : クイックセットは、プリンタのホーム画面またはクイックセットアプリケーション内でアクセスできるショートカットジョブです。

 **注記** : [ネットワークフォルダに保存] 機能は、クイックセットを作成しなくても、最小限の設定が可能です。ただし、クイックセットを使用しない場合、ユーザーはコントロールパネルで各スキャンジョブの宛先フォルダの情報を入力する必要があります。クイックセットには、[ネットワークフォルダに保存] のメタデータを含める必要があります。

5. [フォルダクイックセットの追加] ダイアログで、次の情報を入力します。

- a. [クイックセットタイトル] フィールドにタイトルを入力します。


 **注記** : クイックセットにユーザーがすぐに理解できるような名前を付けます (例 : 「スキャンしてフォルダに保存」)。

- b. [クイックセットの説明] フィールドに、クイックセットが保存する内容の説明を追加します。
- c. [次へ] をクリックします。

6. [宛先フォルダの設定] ダイアログで、次の情報を入力します。


- a. [UNC フォルダパス] フィールドに、スキャンが移動するフォルダパスを入力します。

フォルダパスは、完全修飾ドメイン名 (FQDN) (例 : \\servername.us.companyname.net\scans) またはサーバの IP アドレス (例 : \\16.88.20.20\scans) のいずれも可能です。FQDN または IP アドレスの後にフォルダパス (例 : \scans) を続けます。


 **注記** : FQDN は IP アドレスより信頼性が高いです。サーバが DHCP を通じて IP アドレスを取得する場合、IP アドレスは変更可能です。ただし、プリンタで宛先サーバを見つけるために DNS を使用する必要がないため、IP アドレスでの接続のほうが高速である可能性があります。

b. **[認証設定]** ドロップダウンから、次のいずれかのオプションを選択します。

- **[コントロールパネルでサインオン後、ユーザー資格証明を使用して接続する]**
- **[常にこれらの認証情報を使用する]**

 **注記** : **[常にこれらの認証情報を使用する]** が選択されている場合、対応するフィールドにユーザー名とパスワードを入力し、**[アクセスの確認]** をクリックして、フォルダへのプリンタのアイコンを確認する必要があります。

c. **[Windows ドメイン]** フィールドに Windows ドメインを入力します。

 **ヒント** : Windows 7 で Windows ドメインを見つけるには、**[スタート]**、**[コントロールパネル]**、**[システム]** の順にクリックします。

Windows 8 で Windows ドメインを見つけるには、**[検索]** をクリックし、検索ボックスに「**システム**」と入力し、**[システム]** をクリックします。

ドメインが**[コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定]**の下に一覧表示されません。

d. **[次へ]** をクリックします。




7. **[ファイル スキャン設定を設定]** ダイアログで、クイックセットのデフォルトのスキャン設定を設定し、**[次へ]** をクリックします。

8. **[サマリ]** ダイアログを確認し、**[終了]** をクリックします。

方法 2:[スキャン データをネットワーク フォルダに送信セットアップ]の使用

このオプションでは、プリンタ用の HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使用することにより、[ネットワーク フォルダに保存] 機能の高度な設定が可能です。

- [手順 1 : 設定の開始](#)
- [手順 2 : スキャン データをネットワーク フォルダに送信する設定の構成](#)
- [手順 3 : 設定の完了](#)

 **注記** : 作業を開始する前に : プリンタの IP アドレスまたはホスト名を表示するには、プリンタのコントロールパネルで [情報]  アイコンをタッチして、[ネットワーク]  アイコンにタッチします。

手順 1 : 設定の開始

[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] のセットアップを開始するには、次の手順を実行します。

1. [スキャン/デジタル送信] タブをクリックします。
2. 左側のナビゲーションメニューで、[スキャン データをネットワーク フォルダに送信セットアップ] リンクをクリックします。

手順 2 : スキャンデータをネットワークフォルダに送信する設定の構成


次の手順に従って、[スキャンデータをネットワークフォルダに送信]の設定を完了します。


- [手順 1 : 設定の開始](#)
- [ダイアログ 1: コントロールパネルでクイックセット名、説明、およびユーザー操作のためのオプションを設定します。](#)
- [ダイアログ 2: フォルダ設定](#)
- [ダイアログ 3: 通知設定](#)
- [ダイアログ 4: Scan Settings \(スキャンの設定\)](#)
- [ダイアログ 5: File Settings \(ファイル設定\)](#)
- [ダイアログ 6: サマリ](#)

手順 1 : 設定の開始

設定を開始するには、次の手順を実行します。

1. [[スキャンデータをネットワークフォルダに送信]のセットアップ] ページで、[スキャンデータをネットワークフォルダに送信を有効化] チェック ボックスを選択します。このボックスがオフになっていると、プリンタのコントロールパネルでこの機能を使用できません。
2. 左側のナビゲーションウィンドウの[スキャンデータをネットワークフォルダに送信] 領域で、[クイックセット] をクリックします。[クイックセット設定] ダイアログを開くには、[追加] をクリックします。

 **注記 :** クイックセットは、プリンタのホーム画面またはクイックセットアプリケーション内でアクセスできるショートカットジョブです。

 **注記 :** [スキャンデータをネットワークフォルダに送信] 機能は、クイックセットを作成しなくても、最小限の設定を行うことができます。ただし、クイックセットを使用しない場合、ユーザーはコントロールパネルで各スキャンジョブの宛先フォルダの情報を入力する必要があります。クイックセットには、[スキャンデータをネットワークフォルダに送信] のメタデータを含める必要があります。


[クイックセット設定] ですべての設定を指定し、[スキャンデータをネットワークフォルダに送信] 機能を完全に設定します。

ダイアログ 1: コントロールパネルでクイックセット名、説明、およびユーザー操作のためのオプションを設定します。

プリンタのコントロールパネルを使用して、ユーザー操作のためのクイックセットの詳細を設定します。

[コントロールパネルでクイックセットとユーザー操作のためのオプションのボタンの場所を設定します] ダイアログを使用して、[クイックセット] ボタンがプリンタのコントロールパネルのどこに表示されるかを設定し、プリンタのコントロールパネルでのユーザー操作のレベルを設定します。

1. [クイックセット名] フィールドにタイトルを入力します。

 **注記 :** クイックセットにユーザーがすぐに理解できるような名前を付けます (例 : 「スキャンしてフォルダに保存」)。


2. [クイックセットの説明] フィールドに、クイックセットが保存する内容の説明を追加します。

3. [クイックセット開始オプション]リストから、次のいずれかのオプションを選択します。

- オプション1 : [アプリケーションに入ってからユーザーが[開始]を押します]
- オプション2 : [選択後、直ちに開始します]

以下のプロンプトから1つ選択してください。

- [原稿側のプロンプト]
- [追加ページのプロンプト]
- プレビューが必要

 **注記** : [選択後、直ちに開始します]が選択されている場合は、次の手順で宛先フォルダを入力する必要があります。

4. [次へ]をクリックします。

ダイアログ 2: フォルダ設定

[ファイル設定] ダイアログを使用して、スキャンした文書を送信するフォルダのタイプを設定します。

- [スキャンした文書の宛先フォルダの設定](#)
- [宛先フォルダのアクセス権の選択](#)

宛先フォルダは次の2つのタイプから選択できます。

- 共有フォルダまたはFTP フォルダ
- 個人用共有フォルダ

フォルダのアクセス権は次の2つのタイプから選択できます。

- 読み取り/書き込みアクセス権
- 書き込みアクセス権のみ

以下の情報では、フォルダ設定を構成する方法について説明します。

The screenshot shows the 'Folder Settings' dialog box in the HP Scan software. The window title is 'クイックセット設定'. The 'フォルダ設定' (Folder Settings) section is active, showing the following options:

- 共有フォルダまたはFTPフォルダに保存 (Save to shared folder or FTP folder)
標準の共有フォルダは、宛先がネットワーク UNC パスです。個人共有フォルダのパスは、ユーザーがサインインした後で取得されます。Microsoft Active Directory で指定されているユーザーのホームフォルダ。
- 個人用共有フォルダに保存 (Save to personal shared folder)
フォルダパスを作成するには、ユーザー名とそのユーザーに固有の情報が必要です。
- 読み取り/書き込みアクセス権を持つフォルダへのみ送信 (Save only read/write access to folder)
このオプションは、フォルダの検証とシリアの通知を有効にしています。
 シリア開始前のフォルダアクセスの確認 (Confirm folder access before starting serial)
ワリにするとシリアをすばやく保存できますが、フォルダが使用できない場合はシリアが失敗する可能性があります。
- 書き込みアクセス権のみを持つフォルダへの送信を許可 (Allow sending to folder with only write access)
このオプションは、フォルダの検証またはシリアの通知を有効にしません。

At the bottom of the dialog, there are buttons for '前へ' (Back), '次へ' (Next), '終了' (Finish), and 'キャンセル' (Cancel).

スキャンした文書の宛先フォルダの設定

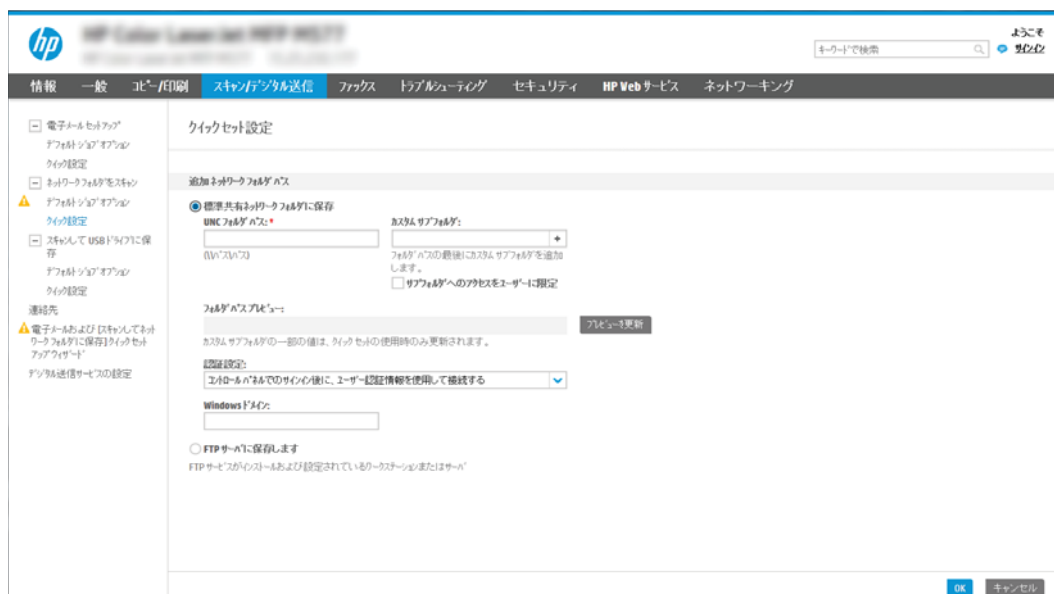
宛先フォルダを設定するには、次のオプションのいずれかを選択します。

- [オプション1: プリンタを設定して共有フォルダまたはFTPフォルダに保存](#)
- [オプション2: プリンタを設定して個人用共有フォルダに保存](#)

オプション1: プリンタを設定して共有フォルダまたはFTPフォルダに保存

スキャンした文書を標準共有フォルダまたはFTPフォルダに保存するには、以下の手順を実行します。

1. まだ選択されていない場合は、**[共有フォルダまたはFTPフォルダに保存]**を選択します。
2. **[追加...]**をクリックします。**[ネットワークフォルダパスの追加]**ダイアログが開きます。
3. **[ネットワークフォルダパスの追加]**ダイアログで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - オプション1: **[標準共有ネットワークフォルダに保存]**



1. まだ選択されていない場合は、**[標準共有ネットワークフォルダに保存]**を選択します。
2. **[UNC フォルダパス]**フィールドにフォルダパスを入力します。


フォルダパスは、完全修飾ドメイン名 (FQDN) (例: \\servername.us.companyname.net \scans) またはサーバの IP アドレス (例: \\16.88.20.20\scans) のいずれも可能です。FQDN または IP アドレスの後にフォルダパス (例: \scans) を続けます。

注記: FQDN は IP アドレスより信頼性が高いです。サーバが DHCP を通じて IP アドレスを取得する場合、IP アドレスは変更可能です。ただし、プリンタで宛先サーバを見つけるために DNS を使用する必要がないため、IP アドレスでの接続のほうが高速である可能性があります。


3. 宛先フォルダにスキャンした文書のサブフォルダを自動的に作成するには、**[カスタムサブフォルダ]** リストからサブフォルダ名の形式を選択します。

サブフォルダへのアクセスをスキャンジョブを作成したユーザーに限定するには、**[サブフォルダへのアクセスをユーザーに限定]**を選択します。

4. スキャンした文書の完全なフォルダパスを表示するには、**[プレビューを更新]**をクリックします。
5. **[認証設定]** リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - **[コントロールパネルでサインオン後、ユーザー資格証明を使用して接続する]**
 - **[常にこれらの認証情報を使用する]**


 **注記:** **[常にこれらの認証情報を使用する]** が選択されている場合、対応するフィールドにユーザー名とパスワードを入力する必要があります。


6. **[Windows ドメイン]** フィールドに Windows ドメインを入力します。

 **注記:** Windows 7 で Windows ドメインを見つけるには、**[スタート]**、**[コントロールパネル]**、**[システム]** の順にクリックします。

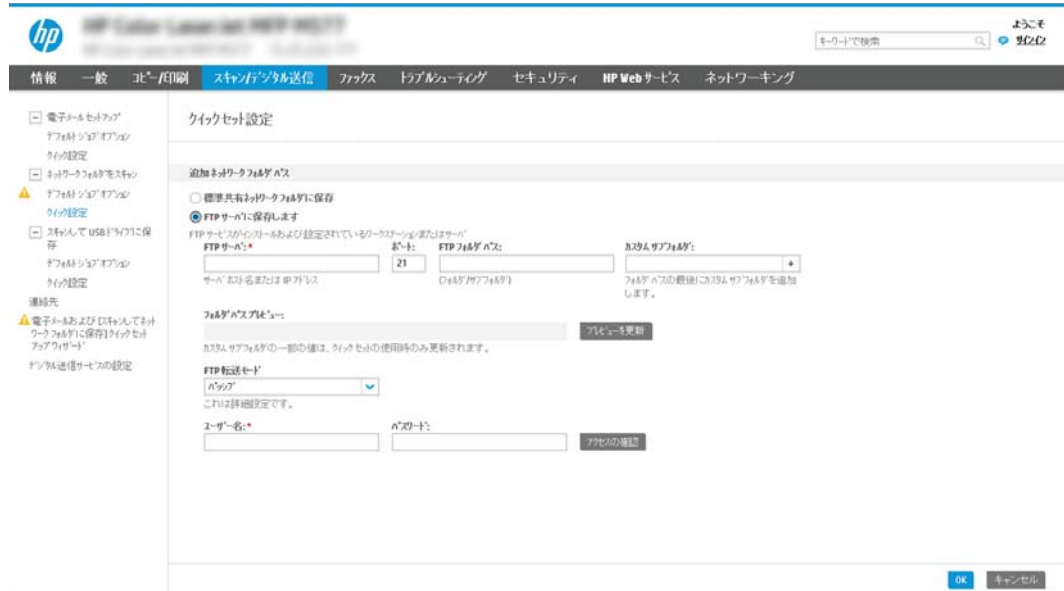
Windows 8 で Windows ドメインを見つけるには、**[検索]** をクリックし、検索ボックスに「**システム**」と入力し、**[システム]** をクリックします。


ドメインが **[コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定]** の下に一覧表示されます。

 **注記:** すべてのユーザーがアクセスできるように共有フォルダが設定されている場合、ワークグループ名 (デフォルトは「Workgroup」です)、ユーザー名、およびパスワードの値を対応するフィールドに入力する必要があります。ただし、フォルダが公開フォルダでなく特定のユーザーのフォルダ内に存在する場合、そのユーザーのユーザー名とパスワードを使用する必要があります。

 **注記:** コンピュータ名の代わりに、IP アドレスが必要になる場合があります。多くのホーム ルーターではコンピュータ名を処理できることが少なく、ドメイン ネーム サーバー (DNS) もありません。この場合、新しい IP アドレスを割り当てる DHCP の問題を軽減するため、共有 PC に静的 IP アドレスを設定することをお勧めします。通常のホーム ルーターでこの設定を行うには、同じサブネット上にあるが DHCP アドレス範囲内でない静的 IP アドレスを設定します。

7. **[OK]** をクリックします。
- オプション 2 : FTP サーバに保存



 **注記:** FTP サイトがファイアウォールの外側にある場合は、ネットワーク設定でプロキシサーバを指定する必要があります。これらの設定は、[EWS ネットワーク] タブの [詳細設定] オプションの下にあります。


1. [FTP サーバに保存] を選択します。
2. [FTP サーバ] フィールドに FTP サーバ名または IP アドレスを入力します。
3. [ポート] フィールドにポート番号を入力します。

 **注記:** ほとんどの場合、デフォルトのポート番号を変更する必要はありません。


4. 宛先フォルダにスキャンした文書のサブフォルダを自動的に作成するには、[カスタムサブフォルダ] リストからサブフォルダ名の形式を選択します。
5. スキャンした文書の完全なフォルダパスを表示するには、[プレビューを更新] をクリックします。
6. [FTP 転送モード] リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [パッシブ]
 - [アクティブ]
7. [ユーザー名] フィールドに、ユーザー名を入力します。
8. [パスワード] フィールドに、パスワードを入力します。
9. [アクセスの確認] をクリックして、宛先にアクセスできることを確認します。
10. [OK] をクリックします。

オプション 2: プリンタを設定して個人用共有フォルダに保存

スキャンした文書を個人用共有フォルダに保存するには、以下の手順を実行します。

 **注記**：このオプションは、管理者が各ユーザーの共有フォルダを設定するドメイン環境で使用します。個人用共有フォルダに保存する機能が設定されている場合、ユーザーは Windows 認証情報または LDAP 認証を使用して、プリンタのコントロールパネルでサインインするように要求されます。

1. [個人用共有フォルダに保存] を選択します。
2. [この属性を使用してデバイスユーザーの名前を取得] フィールドに、Microsoft Active Directory でユーザーのホーム フォルダを入力します。

 **注記**：ユーザーがこのホーム フォルダのネットワーク上の場所を把握していることを確認します。

3. フォルダパスの末尾にユーザー名サブフォルダを追加するには、[ユーザー名に基づいてサブフォルダを作成] を選択します。

サブフォルダへのアクセスをスキャン ジョブを作成したユーザーに限定するには、[サブフォルダへのアクセスをユーザーに限定] を選択します。


宛先フォルダのアクセス権の選択

宛先フォルダのアクセス権を設定するには、次のオプションのいずれかを選択します。


- [オプション1: 読み取り/書き込みアクセス権の設定](#)
- [オプション2: 書き込みアクセス権のみを設定する](#)

オプション1: 読み取り/書き込みアクセス権の設定

スキャンした文書を読み取り/書き込みアクセス権が設定されたフォルダに送信するには、以下の手順を実行します。

 **注記:** [\[読み取り/書き込みアクセス権を持つフォルダにのみ送信\]](#) は、フォルダの検証とジョブ通知をサポートします。


1. まだ選択されていない場合は、[\[読み取り/書き込みアクセス権を持つフォルダにのみ送信\]](#) を選択します。
2. スキャンジョブを開始する前に、プリンタでフォルダアクセスの確認を行う必要がある場合は、[\[ジョブ開始前のフォルダアクセスの確認\]](#) を選択します。


 **注記:** [\[ジョブ開始前のフォルダアクセスの確認\]](#) が選択されていないほうが、スキャンジョブは迅速に完了できます。ただし、フォルダが利用できない場合は、スキャンジョブが失敗します。

3. [\[次へ\]](#) をクリックします。

オプション2: 書き込みアクセス権のみを設定する

スキャンした文書を書き込みのアクセス許可のみがあるフォルダに送信するには、以下の手順を実行します。

 **注記:** [\[書き込みのアクセス許可のみがあるフォルダへの送信を許可する\]](#) は、フォルダの検証とジョブ通知をサポートしません

 **注記:** このオプションがオンになっていると、プリンタでスキャンファイル名のインクリメントは実行されません。すべてのスキャンに同じファイル名を送信します。

スキャンファイル名の時刻関連のファイル名プレフィックスまたはサフィックスを選択し、各スキャンが一意的なファイルとして保存され、前のファイルを上書きしないようにします。このファイル名は、クイックセットウィザードの[\[ファイル設定\]](#) ダイアログの情報によって指定されます。

1. [\[書き込みのアクセス許可のみがあるフォルダへの送信を許可する\]](#) を選択します。
2. [\[次へ\]](#) をクリックします。

ダイアログ3: 通知設定

次の手順に従って、通知設定を完了します。

▲ [\[通知設定\]](#) ダイアログで、次のいずれかのタスクを完了します。

- オプション1: [\[通知しない\]](#)

1. **[通知しない]** を選択します。
 2. ユーザーが通知設定を確認するように求めるには、**[ジョブを開始する前にユーザーに通知]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
- オプション2：**[ジョブの完了時に通知する]**
 1. **[ジョブの完了時に通知する]** を選択します。
 2. **[通知の送信に使用する方法]** リストから通知を送信する方法を選択します。
 選択されている通知方法が**[電子メール]**である場合、**[通知電子メールアドレス]**フィールドに電子メールアドレスを入力します。
 3. 通知に最初にスキャンしたページのサムネイル画像を含めるには、**[サムネイルを含める]**を選択します。
 4. ユーザーが通知設定を確認するように求めるには、**[ジョブを開始する前にユーザーに通知]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
 - オプション3：**[ジョブの失敗時にのみ通知する]**
 1. **[ジョブの失敗時にのみ通知する]** を選択します。
 2. **[通知の送信に使用する方法]** リストから通知を送信する方法を選択します。
 選択されている通知方法が**[電子メール]**である場合、**[通知電子メールアドレス]**フィールドに電子メールアドレスを入力します。
 3. 通知に最初にスキャンしたページのサムネイル画像を含めるには、**[サムネイルを含める]**を選択します。
 4. ユーザーが通知設定を確認するように求めるには、**[ジョブを開始する前にユーザーに通知]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

ダイアログ 4: Scan Settings (スキャンの設定)

次の手順に従って、スキャン設定を完了します。

[スキャン設定] ダイアログで、クイックセットのデフォルトのスキャン設定を設定し、**[次へ]** をクリックします。

[スキャン設定] :

機能	説明
[原稿のサイズ]	原稿のサイズを選択します。
[原稿の面数]	原稿が片面か両面かを選択します。
[テキスト/画像の最適化]	特定のコンテンツタイプの出力を最適化するために選択します。
[内容の向き]	原稿の内容をページ上に配置する方向を選択します。 [縦] または [横] 。
[背景のクリーンアップ]	背景からぼやけたイメージを削除したり、薄い背景色を削除したりする値を選択します。
[濃さ]	ファイルの濃さを調整する値を選択します。
[コントラスト]	ファイルのコントラストを調整する値を選択します。
[鮮明度]	ファイルの鮮明度を調整する値を選択します。

機能	説明
[画像プレビュー]	ジョブの表示されたプレビューを必須またはオプションにするかまたはプレビューを無効にする場合に選択します。
[トリミングオプション]	ジョブのトリミングを許可するかどうか、およびトリミングオプションのタイプを選択します。
[エッジの消去]	ジョブの表側および裏側で消去するエッジマージンをインチまたはミリメートル単位で指定するためにこの設定を選択します。

ダイアログ 5: File Settings (ファイル設定)

次の手順に従って、ファイル設定を完了します。

[ファイル設定] ダイアログで、クイックセットのデフォルトのファイル設定を設定し、[次へ] をクリックします。

[ファイル設定] :

機能	説明
[ファイル名プレフィックス]	ネットワークフォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名プレフィックスを設定します。
[ファイル名]	保存するファイルのデフォルトのファイル名です。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、[ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにします。
[ファイル名サフィックス]	ネットワークフォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名サフィックスを設定します。
[ファイル名プレビュー]	ファイル名を入力し、[プレビューを更新] ボタンをクリックします。
[ファイル番号のフォーマット]	ジョブが複数のファイルに分割されている場合にファイル名形式を選択します。
[ジョブが1つのファイルのみの場合、番号を追加(例: _1-1)]	複数のファイルではなく1つのファイルのみのジョブの場合、この設定を選択してファイル名に番号を追加します。
[ファイルタイプ]	保存したファイルのファイル形式を選択します。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、[ユーザーによる編集が可能] チェックボックスをオンにします。
[高圧縮(小さいファイル)]	スキャンしたファイルを圧縮してファイルサイズを小さくするには、この設定を選択します。ただし、高圧縮ファイルのスキャンの処理は、通常の圧縮ファイルの処理よりも時間がかかる場合があります。
[PDF 暗号化]	ファイルタイプがPDFの場合、出力PDFファイルを暗号化します。暗号化の一環としてパスワードを指定する必要があります。ファイルを開くには同じパスワードを使用する必要があります。パスワードを設定せずに実行すると、ジョブをスキャンする前にパスワードを入力するよう要求されます。
[解像度]	ファイルの解像度を設定します。解像度が高いほどインチあたりのドット数(dpi)が多くなり、より詳細に表示されます。解像度が低いほどインチあたりのドット数が少なくなりイメージの詳細度は低下しますが、ファイルサイズが小さくなります。
[品質およびファイルサイズ]	ファイルの品質を選択します。高画質のイメージは低画質のイメージよりも大きなファイルサイズが必要になり、送信時間も長くなります。

機能	説明
[カラー/モノクロ]	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれかでコピーするかを指定します。
[空白ページの省略]	[空白ページの削除] オプションが有効な場合、空白ページは無視されます。
[メタデータファイル形式]	ドロップダウン リストを使用して、メタデータ情報のファイル形式を選択します。
[複数のファイルの作成]	事前に設定した1ファイル当たりの最大ページ数に基づいて、ページを個別のファイルにスキャンするには、この設定を選択します。

ダイアログ 6: サマリ

次の手順に従って、概要を確認します。

[概要] ダイアログで、[概要] ダイアログを確認し、[終了] をクリックします。

手順 3 : 設定の完了

次の手順に従って、[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] のセットアップを完了します。

1. 左側のナビゲーション ウィンドウで、[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] をクリックします。
2. [スキャン データをネットワーク フォルダに送信] ページで、選択されている設定を確認し、[適用] をクリックしてセットアップを完了します。

[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップ

[スキャンして USB ドライブに保存] 機能を有効にすると、文書をスキャンして直接 USB フラッシュドライブに保存できます。



- [はじめに](#)
- [手順 1 : HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) にアクセス](#)
- [手順 2 : \[スキャンして USB ドライブに保存\] の有効化](#)
- [手順 3 : クイックセットの設定 \(オプション\)](#)
- [\[スキャンして USB ドライブに保存\] のセットアップのデフォルトのスキャン設定](#)
- [\[USB に保存\] のセットアップのデフォルトのファイル設定](#)


はじめに

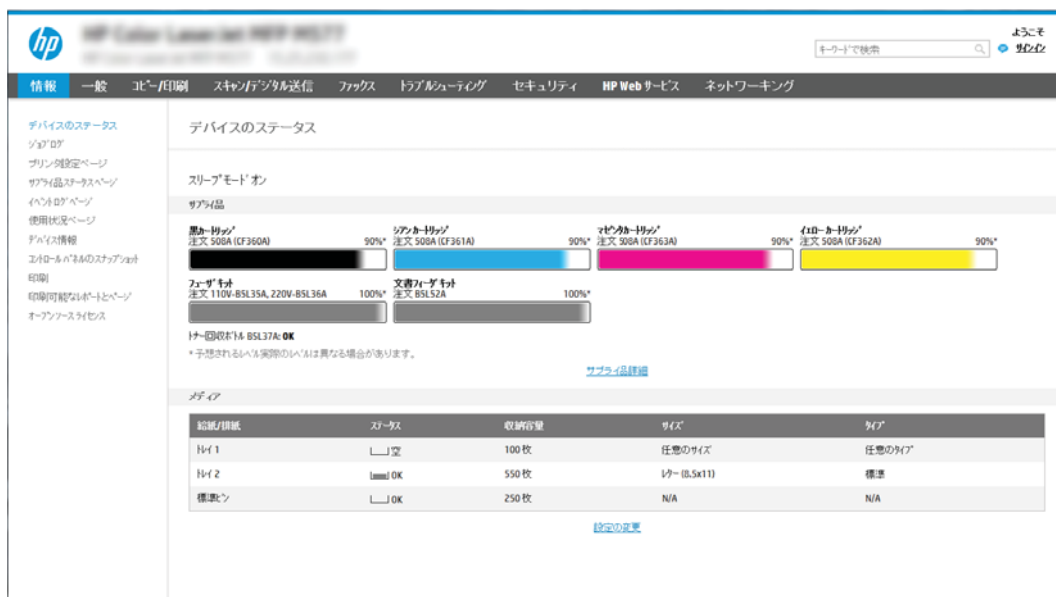
このプリンタは、文書をスキャンして、そのデータを USB フラッシュドライブに保存する機能を備えています。HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を通じて設定するまで、この機能は使用できません。

手順 1 : HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス

EWS を開き、セットアッププロセスを開始します。

1. プリンタのコントロールパネル上の [ホーム] 画面から、[情報]  アイコン、[ネットワーク]  アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 **注記:** Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。



手順 2 : [スキャンして USB ドライブに保存] の有効化

以下の手順に従って、[スキャンして USB ドライブに保存] を有効化します。



1. [セキュリティ] タブを選択します。
2. [ハードウェア ポート] までスクロールして、[ホスト USB プラグアンドプレイを有効にする] が有効になっているかどうかを確認します。
3. MFP モデルの場合は [コピー/印刷] タブ、SFP モデルの場合は [印刷] タブを選択します。
4. [USB への保存の有効化] チェック ボックスを選択します。
5. ページ下端にある [適用] をクリックします。

注記: ほとんどのデバイスはハードディスクドライブ (HDD) がインストールされた状態で出荷されます。場合によっては、USB を介して追加のストレージ デバイスを追加することもできます。[USB に保存] 機能を USB およびハードドライブに展開する必要があるか確認します。

手順 3 : クイックセットの設定 (オプション)

次の手順に従って、[スキャンして USB ドライブに保存] のクイックセットを設定します。クイックセットは、プリンタのホーム画面またはクイックセット アプリケーション内でアクセスできるショートカット ジョブです。

1. 左側のナビゲーション ウィンドウの [スキャンして USB ドライブに保存] 領域で、[クイックセット] をクリックします。
2. 以下のオプションから 1 つ選択してください。
 - 表のクイックセット アプリケーションで既存のクイックセットを選択します。
-または-
 - [追加] をクリックし、[クイックセット] ウィザードを開始します。
3. [追加] を選択すると、[クイックセット設定] ページが開きます。次の情報を入力します。

- [クイックセット名]: 新しいクイックセットのタイトルを入力します。
 - [クイックセットの説明]: クイックセットの説明を入力します。
 - [クイックセット開始オプション]: クイックセットの開始方法を設定するには、[ユーザーは、アプリケーションに入って[スタート]を押します]または[ホーム画面での選択後、直ちに開始します]のいずれかをクリックします。
4. コントロールパネルの USB ポートに挿入されている USB ストレージデバイスにスキャンしたファイルを保存するデフォルトの場所を選択し、[次へ]をクリックします。デフォルトの場所のオプションは次のとおりです。
- [USB ストレージデバイスのルート ディレクトリに保存します]
 - [USB ストレージデバイス上のこのフォルダ内に作成するか、配置します]— このファイルの場所のオプションを使用する場合は、USB ストレージデバイスのフォルダパスを指定する必要があります。パスのフォルダ名\サブフォルダ名を区切るには、バックスラッシュ \ を使用する必要があります。
5. [通知条件:] ドロップダウン リストからオプションを選択し、[次へ]をクリックします。
- [USB に保存]クイックセット ジョブが完了または失敗した場合に、ユーザーに通知されるかどうかやどのように通知されるかは、この設定で決まります。[通知条件:]設定のオプションは、次のとおりです。
- [通知しない]
 - [ジョブの完了時に通知する]
 - [ジョブの失敗時にのみ通知する]
6. クイックセットの[スキャン設定]を選択して、[次へ]をクリックします。
-  **注記:** 使用可能なスキャン設定の詳細については、「[120 ページの\[スキャンして USB ドライブに保存\]のセットアップのデフォルトのスキャン設定](#)」を参照してください。
7. クイックセットの[ファイル設定]を選択して、[次へ]をクリックします。
-  **注記:** 使用可能なファイル設定の詳細については、「[120 ページの\[スキャンして USB ドライブに保存\]のセットアップのデフォルトのスキャン設定](#)」を参照してください。
8. 設定の概要を確認し、[終了]をクリックしてクイックセットを保存するか、[前へ]をクリックして設定を編集します。

[スキャンして USB ドライブに保存]のセットアップのデフォルトのスキャン設定

次の表で、デフォルトの設定を確認します。

表 6-1 [スキャンして USB ドライブに保存]のセットアップのスキャン設定:

機能	説明
[原稿のサイズ]	原稿のサイズを選択します。
[原稿の面数]	原稿が片面か両面かを選択します。
[テキスト/画像の最適化]	特定のコンテンツタイプの出力を最適化するために選択します。

表 6-1 [スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップのスキャン設定：(続き)

機能	説明
[内容の向き]	原稿の内容をページ上に配置する方向を選択します。[縦] または [横]。
[背景のクリーンアップ]	背景からぼやけたイメージを削除したり、薄い背景色を削除したりする値を選択します。
[濃さ]	ファイルの濃さを調整する値を選択します。
[コントラスト]	ファイルのコントラストを調整する値を選択します。
[鮮明度]	ファイルの鮮明度を調整する値を選択します。
[画像プレビュー]	ジョブの表示されたプレビューを必須またはオプションにするかまたはプレビューを無効にする場合に選択します。
[トリミングオプション]	ジョブのトリミングを許可するかどうか、およびトリミングオプションのタイプを選択します。
[エッジの消去]	ジョブの表側および裏側で消去するエッジマージンをインチまたはミリメートル単位で指定するためにこの設定を選択します。

[USB に保存] のセットアップのデフォルトのファイル設定

次の表で、デフォルトの設定を確認します。

表 6-2 [USB に保存] のセットアップのファイル設定：

オプション名	説明
[ファイル名プレフィックス]	ネットワーク フォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名プレフィックスを設定します。
[ファイル名]	保存するファイルのデフォルトのファイル名です。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、[ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオンにします。
[ファイル名サフィックス]	ネットワーク フォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名サフィックスを設定します。 ファイル名が重複した場合のデフォルトのサフィックス [ファイル名]_YYYYMMDDT
[ファイル名プレビュー]	ファイル名を入力し、[プレビューを更新] ボタンをクリックします。
[ファイル番号のフォーマット]	ジョブが複数のファイルに分割されている場合にファイル名形式を選択します。
[ジョブが1つのファイルのみの場合、番号を追加 (例：_1-1)]	複数のファイルではなく1つのファイルのみのジョブの場合、この設定を選択してファイル名に番号を追加します。
[ファイルタイプ]	保存したファイルのファイル形式を選択します。 プリンタのコントロールパネルでこの設定を編集可能にするには、[ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオンにします。
[高圧縮 (小さいファイル)]	スキャンしたファイルを圧縮してファイルサイズを小さくするには、この設定を選択します。ただし、高圧縮ファイルのスキャンの処理は、通常の圧縮ファイルの処理よりも時間がかかる場合があります。


表 6-2 [USB に保存] のセットアップのファイル設定 : (続き)

オプション名	説明
[PDF 暗号化]	ファイルタイプがPDF の場合、出力 PDF ファイルを暗号化します。暗号化の一環としてパスワードを指定する必要があります。ファイルを開くには同じパスワードを使用する必要があります。パスワードを設定せずに実行すると、ジョブをスキャンする前にパスワードを入力するよう要求されます。
[解像度]	ファイルの解像度を設定します。解像度が高いほどインチあたりのドット数 (dpi) が多くなり、より詳細に表示されます。解像度が低いほどインチあたりのドット数が少なくなりイメージの詳細度は低下しますが、ファイルサイズが小さくなります。
[品質およびファイルサイズ]	ファイルの品質を選択します。高画質のイメージは低画質のイメージよりも大きなファイルサイズが必要になり、送信時間も長くなります。
[カラー/モノクロ]	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれでコピーするかを指定します。
[空白ページの省略]	[空白ページの削除] オプションが有効な場合、空白ページは無視されます。
[複数のファイルの作成]	事前に設定した 1 ファイル当たりの最大ページ数に基づいて、ページを個別のファイルにスキャンするには、この設定を選択します。

スキャンしてジョブ保存


文書をスキャンして、プリンタの[ジョブ保存]フォルダに保存します。

- [はじめに](#)
- [スキャンしてプリンタのジョブ保存に送信する](#)
- [プリンタのジョブ保存からの印刷](#)

 **注記** : スキャンしたジョブは、[ジョブ保存]に保存でき、エンジンコントロールボード(ECB)にさらにハードドライブのストレージを追加する必要があります。

はじめに


このプリンタは、文書をスキャンして、そのデータをプリンタのジョブ保存フォルダに保存する機能を備えています。必要に応じて、プリンタから文書を取得して印刷できます。

 **注記** : スキャンしてプリンタの保存フォルダに送信する前に、プリンタ管理者またはIT部門は、HP内蔵Webサーバを使用して機能の有効化と設定を行う必要があります。


スキャンしてプリンタのジョブ保存に送信する




次の手順に従って、文書をスキャンしてプリンタのジョブ保存フォルダに保存します。これにより、いつでもコピー文書を印刷できます。

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[スキャン](#)アプリケーションに移動し、次に[スキャン](#)アイコンを選択し、[スキャンしてジョブ保存](#)を選択します。

 **注記** : ユーザー名とパスワードの確認メッセージが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。

3. [フォルダ](#)に表示されている、デフォルトの保存フォルダ名を選択します。

 **注記** : プリンタの管理者がオプションを設定している場合は、新しいフォルダを作成できます。以下の手順に従って、新しいフォルダを作成します。

- a. [新規フォルダ](#)  アイコンを選択します。
 - b. [新規フォルダ](#) フィールドを選択して、フォルダ名を入力し、[OK](#)を選択します。
4. 適切なフォルダを選択していることを確認します。
 5. [ジョブ名](#) テキストフィールドをタッチしてタッチスクリーンキーボードを開き、ファイルの名前を入力し、Enter  ボタンを選択します。
 6. ジョブをプライベートにするには、PIN  ボタンを選択し、PIN フィールドに4桁のPINを入力してから、タッチスクリーンキーパッドを閉じます。
 7. [面](#) および [内容の向き](#) などの設定を指定するには、左下隅で [オプション](#) を選択し、[オプション](#) メニューから設定を選択します。メッセージが表示されたら、各設定で [実行](#) を選択します。

8. オプションのプレビュー: 文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー ペインの左側にある **展開** および **折り畳み** ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

展開 ボタン



折り畳み ボタン



画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。



2ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。



選択したページをズームインまたはズームアウトします。

注記: これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。



ページを 180° 回転します。

注記: このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



選択したページを削除します。

注記: このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書内でページの順序を変更します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。

注記: これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。





文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。




プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。

9. 文書の準備が整ったら、**保存** を選択してストレージフォルダへファイルを保存します。

プリンタのジョブ保存からの印刷

以下の手順に従って、プリンタのジョブ保存フォルダにあるスキャン済み文書を印刷します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**印刷** アプリケーションに移動し、次に **印刷** アイコンを選択し、**ジョブ保存から印刷** を選択します。
2. **印刷する保存済みジョブ** の下で **選択** を選択し、文書が保存されているフォルダを選択し、文書を選択してから、**選択** を選択します。
3. 文書がプライベートの場合は、**パスワード** フィールドに4桁のPINを入力し、**OK** を選択します。
4. 部数を調整するには、**印刷** ボタンの左側のボックスをタッチし、表示されるキーパッドでコピーの部数を選択します。キーパッドを閉じるには、[閉じる]  ボタンを選択します。
5. **印刷** を選択して、文書を印刷します。

スキャンして USB ドライブに保存

文書のスキャンして USB ドライブに直接保存します。

- [はじめに](#)
- [スキャンして USB ドライブに保存](#)


はじめに

このプリンタでは、ファイルをスキャンして USB フラッシュ ドライブに保存することができます。

スキャンして USB ドライブに保存

文書のスキャンして USB ドライブに直接保存するには、次の手順を実行します。

 **注記**：この機能を使用するには、サインインが必要な場合があります。

1. 文書を下向きにしてスキャナガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. USB ドライブをプリンタのコントロールパネル付近の USB ポートに挿入します。
3. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[スキャン](#) アプリケーションに移動し、次に [スキャン](#) アイコンを選択し、[スキャンして USB ドライブに保存](#) を選択します。
4. [排紙先](#) で USB ドライブを選択し、次に保存場所 (USB ドライブのルートまたは既存のフォルダ) を選択します。
5. [ファイル名](#) テキスト フィールドをタッチしてタッチスクリーン キーボードを開き、ファイルの名前を入力し、Enter  ボタンを選択します。
6. [ファイルのタイプと解像度](#)、[片面原稿/両面原稿](#)、[内容の向き](#) などの設定を指定するには、左下隅で [オプション](#) を選択し、[オプション](#) メニューから設定を選択します。要求された場合は、[完了](#) を選択します。
7. オプションのプレビュー：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー ペインの左側にある [展開](#) および [折り畳み](#) ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

[展開](#) ボタン



[折り畳み](#) ボタン



画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。



2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。



選択したページをズームインまたはズームアウトします。

注記：これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。



ページを 180° 回転します。

注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



選択したページを削除します。

注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書内でページの順序を変更します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。

注記：これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。



プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。

8. 文書の準備が整ったら、**保存** を選択して USB ドライブにファイルを保存します。

HP JetAdvantage ビジネスソリューションの使用

HP JetAdvantage ソリューションは、ネットワークとクラウドの両方を活用して簡単に利用できるワークフロー/印刷ソリューションです。HP JetAdvantage ソリューションは、ヘルスケア、金融サービス、製造、公共機関など、あらゆる業種に対応しており、多くのプリンタとスキャナを管理できます。

HP JetAdvantage ソリューションには、次のような製品があります。

- HP JetAdvantage セキュリティ ソリューション
- HP JetAdvantage Management ソリューション

- HP JetAdvantage ワークフロー ソリューション
- HP JetAdvantage モバイル印刷ソリューション

ビジネス向け HP JetAdvantage ワークフロー/印刷ソリューションについての詳細は、www.hp.com/go/PrintSolutions を参照してください。

補足的なスキャンタスク

一般的なスキャンタスクを実行するための Web 上の情報を確認します。

www.hp.com/support/colorljE77422MFP にアクセスします。

たとえば、次のようなスキャンタスクの実行手順を参照できます。

- 本またはその他の綴じられた文書のページのコピーまたはスキャン
- スキャンした文書をプリンタのメモリ内のフォルダに保存
- ID カードの両面のコピーまたはスキャン
- 文書をブックレット形式でコピーまたはスキャンします。

7 ファックス

ファックス機能を設定して、プリンタを使用してファックスを送受信します。

- [ファックスのセットアップ](#)
- [ファックス設定の変更](#)
- [ファックスの送信](#)
- [補足的なファックスタスク](#)

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/A3 を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljE77422MFP を参照してください。

詳細は、[次を参照してください](#)。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

ファックスのセットアップ

プリンタのファックス機能を設定します。

- [はじめに](#)
- [プリンタのコントロールパネルを使用したファックスのセットアップ](#)


はじめに

この情報は、ファックスおよびFlow モデル、またはオプションのアナログ ファックス アクセサリが取り付けられたその他のプリンタに適用されます。次に進む前に、プリンタを電話回線に接続するか(アナログ ファックスの場合)、インターネットまたはネットワーク ファックス サービスに接続します。

プリンタのコントロールパネルを使用したファックスのセットアップ

コントロールパネルを使用して、ファックス機能を設定します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[設定](#) アプリケーションに移動し、[設定](#) アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [ファックス](#)
 - [内蔵ファックスモデムのセットアップ](#)


 **注記:** [内蔵ファックスモデムのセットアップ](#) メニューがメニュー リストに表示されない場合は、LAN ファックスまたはインターネット ファックスが有効になっている可能性があります。LAN ファックスまたはインターネット ファックスを有効にすると、アナログ ファックス アクセサリが無効になり、[内蔵ファックスモデムのセットアップ](#) メニューは表示されません。LAN ファックス、アナログ ファックス、またはインターネット ファックスのいずれかのファックス機能のみを有効にすることができます。LAN ファックスが有効なときにアナログ ファックスを使用するには、HP 内蔵 Web サーバを使用して LAN ファックスを無効にします。

3. 画面の右側のリストから場所を選択し、[次へ](#) を選択します。
4. [会社名](#) テキストフィールドをタッチし、キーパッドを使用して会社名を入力します。
5. [ファックス番号](#) テキスト フィールドをタッチし、キーパッドを使用して送信側のファックス番号を入力します。[次へ](#) を選択します。
6. データと時間の設定が正しいか確認します。必要に応じて変更し、[次へ](#) を選択します。
7. ファックスの送信にダイヤルプレフィックスが必要な場合は、[ダイヤルプレフィックス](#) テキストフィールドをタッチし、キーパッドを使用して番号を入力します。
8. 左側ペインのすべての情報を確認し、[終了](#) を選択して、ファックスのセットアップを完了します。

ファックス設定の変更

ファックス設定を変更または更新します。

- [ファックスダイヤル設定](#)
- [全般的なファックス送信設定](#)
- [ファックス受信設定](#)

 **注記:** コントロールパネルを使用して指定した設定は、HP 内蔵 Web サーバで行った設定よりも優先されます。

ファックスダイヤル設定

次の手順に従って、ファックスダイヤル設定を変更します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[設定](#) アプリケーションに移動し、[設定](#) アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [ファックス](#)
 - [ファックス送信設定](#)
 - [ファックスダイヤル設定](#)

次の設定のいずれかを設定して、[実行](#) を選択します。

メニュー項目	説明
エラー時のリダイヤル	エラー発生時のリダイヤル 機能では、ファックス送信中にエラーが発生したときの、ファックス番号のリダイヤル回数を設定します。
応答がない場合のリダイヤル	無応答時のリダイヤル回数 設定では、ダイヤルした番号に応答がない場合にファックス アクセサリがリダイヤルを行う回数を選択します。リダイヤルの回数は、場所の設定に応じて 0~1 (米国で使用) または 0~2 のいずれかです。リダイヤルの間隔は [リダイヤルの間隔] 設定で設定します。
通話中の場合のリダイヤル	通話中の場合のリダイヤル 設定では、通話中の場合にファックス アクセサリがリダイヤルを行う回数 (0~9) を選択します。リダイヤルの間隔は [リダイヤルの間隔] 設定で設定します。
リダイヤルの間隔	リダイヤル間隔 設定では、ダイヤルした番号が通話中または応答しない場合、またはエラーが発生した場合のリダイヤル間隔を分単位で選択します。 注記: 通話中の場合のリダイヤル と 無応答時のリダイヤル回数 の両方をオフに設定すると、コントロールパネルにリダイヤルメッセージが表示される場合があります。このエラーは、ファックス アクセサリが番号をダイヤルし、接続を確立した後に、接続が切断されると発生します。このエラー状況の結果として、ファックス アクセサリはリダイヤル設定に関係なくリダイヤルを自動的に 3 回試行します。このリダイヤル操作中に、リダイヤル中であることを示すメッセージがコントロールパネルに表示されます。

メニュー項目	説明
ファックス送信速度	<p>ファックスの送信速度 設定では、ファックス送信時のアナログファックスモデムのモデムビットレート(ビット/秒)を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高速 (v.34 - 33.6k) ● 標準 (v.17 - 14.4k) ● 低速 (v.29 - 9.6k)
回線モニタ音量	<p>ファックスの送信時にプリンタのダイヤル音量レベルを設定するには、回線モニタ音量 設定を使用します。</p>
ダイヤルモード	<p>ダイヤルモード 設定では、使用するダイヤルタイプをトーン(プッシュホン)またはパルス(ダイヤル式電話)のいずれかに設定します。</p>
ダイヤル局番	<p>ダイヤルプレフィックス 設定では、ダイヤル時の局番(外線発信時の「9」など)を入力できます。ダイヤル時には、この局番がすべての電話番号に自動的に追加されます。</p>
ダイヤルトーンを検出	<p>ダイヤルトーンを検出 設定では、ファックスを送信する前にダイヤルトーンを確認するかどうかを決定します。</p>

全般的なファックス送信設定

次の手順に従って、ファックス送信設定を変更します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス
 - ファックス送信設定
 - 全般的なファックス送信設定

次の設定のいずれかを設定して、実行 を選択します。

メニュー項目	説明
ファックス番号の確認	<p>ファックス番号の確認 機能が有効になっている場合、正しく入力されているかどうかを確認するために、ファックス番号を2回入力する必要があります。この機能は、デフォルトで無効です。</p>
PCファックス送信	<p>PCからファックスを送信するには、PCファックス送信 機能を使用します。この機能は、デフォルトで有効になっています。</p>

メニュー項目	説明
エラー修正モード	<p>通常、ファックス アクセサリではファックスの送受信中に電話線の信号が監視されます。エラー修正モード設定がオンになっている場合にファックス アクセサリによって伝送時のエラーが検出されると、ファックスのエラー箇所の再送信が要求されます。</p> <p>デフォルトでは、エラー修正モード機能が有効になっています。ファックスの送受信に問題がある場合と、伝送時のエラーや予想される画質品質の低下を許容する場合にのみオフにします。海外とファックスを送受信する場合や、衛星電話を接続している場合は、この設定をオフにすると便利です。</p> <p>注記：一部のVoIP プロバイダは、エラー修正モード設定を無効に設定するように推奨しています。しかし、通常、この操作は不要です。</p>
ファックスヘッダ	<p>ファックスヘッダ機能を使用して、先頭にヘッダを付加して内容を下に下げるか、前のヘッダにヘッダをオーバーレイするかを設定します。</p>

ファックス受信設定

次の手順に従って、ファックス受信設定を変更します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定**アプリケーションに移動し、**設定**アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **ファックス**
 - **ファックス受信設定**
 - **ファックス受信のセットアップ**



次の設定のいずれかを設定して、**実行**を選択します。


メニュー項目	説明
Receive Mode (受信モード)	<p>予約モード設定は、ファックス アクセサリがファックス ジョブを受信する方法を決定します。以下のオプションから1つ選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自動 ● TAM ● Fax/Tel ● 手動
応答するまでの呼び出し回数	<p>応答するまでの呼び出し回数設定では、ファックス アクセサリが応答するまでに呼び出し音が鳴る回数を決定します。</p> <p>注記：応答するまでの呼び出し回数設定で選択可能なオプションのデフォルト範囲は、場所によって異なります。対応する応答するまでの呼び出し回数オプションの範囲は、場所によって制限されます。</p> <p>ファックス アクセサリが応答せず、応答するまでの呼び出し回数が1に設定されている場合は、2の設定を試してください。</p>
呼び出し音量	<p>呼び出し音量設定を使用すると、呼び出し音量を調整できます。</p>

メニュー項目	説明
ファックス受信速度	<p>ファックスの受信速度 ドロップダウン メニューをタッチして、次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高速 (v.34 - 33.6k) ● 標準 (v.17 - 14.4k) ● 低速 (v.29 - 9.6k)
内線電話	この設定では、ファックス機能と同時に別の電話を使用することができません。
再印刷の許可	この設定では、受信したファックスを再印刷することができます。
PC に受信	この設定では、コンピュータで直接ファックスを受信できます。
ファックスポーリング	この設定では、ファックスのポーリング機能を有効または無効にできません。
Fax/Tel 呼び出し時刻	この設定では、ファックス/電話モードが応答するまでに呼び出し音が鳴る回数を決定します。

ファックスの送信

プリンタからファックスを送信するには、以下の手順を実行します。

1. 文書を下向きにしてスキャナのカラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**ファックス** アプリケーションに移動し、次に **ファックス** アイコンを選択します。ユーザー名とパスワードの入力が要求されることがあります。
3. 次のいずれかの方法で受信者を指定します。
 - ▲ **ファックス宛先** テキスト フィールドをタッチし、キーパッドを使用してファックス番号を入力します。複数のファックス番号に送信する場合は、番号間をセミコロンで区切るか、各番号の入力後にタッチスクリーンキーボードの Enter  ボタンを選択します。
 - a. **ファックス宛先** フィールドの横にある連絡先  ボタンを選択して、**連絡先** 画面を開きます。
 - b. 適切な連絡先リストを選択します。
 - c. 連絡先のリストで名前を選択して、その名前を受信者リストに追加し、**追加** を選択します。
4. クイックセットをロードするには、**ロード**、[クイックセット]の順に選択し、**クイックセット** リストで、**ロード** を選択します。

 **注記** : **クイックセット** は、**テキスト**、**写真**、**高品質** など、さまざまなタイプの出力用にあらかじめ定義された設定です。[クイックセット]を選択すると、説明を表示することができます。
5. **解像度**、**面**、**内容の向き** などの設定を指定するには、左下隅で **オプション** を選択し、**オプション** メニューから設定を選択します。要求された場合は、**完了** を選択します。

6. オプションのプレビュー：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビューペインの左側にある **展開** および **折り畳み** ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

展開 ボタン



折り畳み ボタン



画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。



2 ページ表示とサムネイル表示を切り替えます。サムネイル表示では、2 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。



選択したページをズームインまたはズームアウトします。

注記：これらのボタンを使用するときは、一度に1つのページのみを選択します。



ページを 180° 回転します。

注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



選択したページを削除します。

注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。



文書内でページの順序を変更します。1つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。

注記：これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。





文書にページを追加します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。



プレビューで行った変更をクリアして、やり直します。

7. 文書の準備が整ったら、**送信** を選択してファックスを送信します。

補足的なファックスタスク

一般的なファックスタスクを実行するための Web 上の情報を確認します。

www.hp.com/support/colorljE77422MFP にアクセスします。

たとえば、以下のようなファックスタスクの手順を参照できます。

- ファックス短縮ダイアルの作成と管理
- ファックス請求書コードの設定
- ファックス印刷スケジュールの使用
- 着信ファックスのブロック
- ファックスアーカイブおよび転送

8 プリンタの管理

管理ツールを使用して、セキュリティと省エネ設定を設定し、プリンタのファームウェアの更新を管理します。

- [HP 内蔵 Web サーバ\(EWS\)の高度な設定](#)
- [IP ネットワークの設定](#)
- [プリンタのセキュリティ機能](#)
- [省エネ設定](#)
- [HP Web Jetadmin](#)
- [ソフトウェアおよびファームウェアの更新](#)

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/A3 を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljE77422MFP を参照してください。

詳細は、[次を参照してください。](#)

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

HP 内蔵 Web サーバ (EWS) の高度な設定

HP 内蔵 Web サーバを使用して、高度なプリント機能を管理します。

- [はじめに](#)
- [HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) へのアクセス方法](#)
- [HP 内蔵 Web サーバの機能](#)


はじめに

HP 内蔵 Web サーバを使用して、プリンタのコントロールパネルではなく、コンピュータから印刷機能を管理できます。

- プリンタの状態に関する情報の表示
- すべてのサプライ品の寿命の確認と新しいサプライ品の注文
- トレイの設定の表示および変更
- プリンタの [コントロールパネル] メニューの構成の表示と変更
- 内部ページの表示および印刷
- プリンタとサプライ品に関するイベントの通知の受信
- ネットワークの設定の表示および変更



HP 内蔵 Web サーバは、プリンタが IP ベースのネットワークに接続されている場合に機能します。IPX ベースのプリンタ接続では機能しません。HP 内蔵 Web サーバを起動して使用するために、インターネットに接続する必要はありません。


プリンタをネットワークに接続すると、自動的に HP 内蔵 Web サーバが利用可能になります。

 **注記**：ネットワークファイアウォールを越えて HP 内蔵 Web サーバにアクセスすることはできません。

HP 内蔵 Web サーバ (EWS) へのアクセス方法

EWS を開くには、以下の手順に従います。

1. プリンタのコントロールパネル上のホーム画面から、[情報]  アイコン、[ネットワーク]  アイコンの順に選択して、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 **注記**：Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピューターが損害を受けることはありません。

HP 内蔵 Web サーバを使用するには、ブラウザが次の要件を満たしている必要があります。

Windows® 7

- Internet Explorer (バージョン 8.x 以降)
- Google Chrome (バージョン 34.x 以降)
- Firefox (バージョン 20.x 以降)

Windows® 8 以降

- Internet Explorer (バージョン 9.x 以降)
- Google Chrome (バージョン 34.x 以降)
- Firefox (バージョン 20.x 以降)

macOS

- Safari (バージョン 5.x 以降)
- Google Chrome (バージョン 34.x 以降)

Linux

- Google Chrome (バージョン 34.x 以降)
- Firefox (バージョン 20.x 以降)

HP 内蔵 Web サーバの機能

各タブで利用できる HP 内蔵 Web サーバ (EWS) の機能について説明します。

- [情報タブ](#)
- [一般タブ](#)
- [コピー/印刷タブ](#)
- [スキャン/デジタル送信タブ](#)
- [ファックスタブ](#)
- [サプライ品タブ](#)
- [トラブルシューティングタブ](#)
- [セキュリティタブ](#)
- [HP Web サービスタブ](#)
- [Networking \(ネットワーキング\) タブ](#)
- [その他のリンクのリスト](#)

[情報] タブ

[情報] タブの設定については、表を参照してください。

表 8-1 HP 内蔵 Web サーバの [情報] タブ

メニュー	説明
[デバイスのステータス]	プリンタのステータスと HP サプライ品の推定寿命を表示します。各トレイにセットされている用紙のタイプとサイズも表示されます。デフォルトの設定を変更する場合は、 [設定の変更] リンクをクリックします。
[設定ページ]	設定ページの情報を表示します。
[サプライ品ステータスページ]	プリンタのサプライ品のステータスを表示します。
[イベント ログ ページ]	プリンタのすべてのイベントとエラーの一覧を表示します。[HP Instant Support] リンク (HP 内蔵 Web サーバのすべてのページにある [その他のリンク] 領域) を使用して、問題の解決に役立つ一連の動的 Web ページに接続します。これらのページでも、プリンタで利用できる追加サービスが表示されます。
[使用状況ページ]	用紙のサイズ、タイプ、および用紙印刷経路別に、印刷したページ数を表示します。
[デバイス情報]	プリンタのネットワーク名、アドレス、およびモデル情報を表示します。この情報をカスタマイズする場合は、 [一般] タブの [デバイス情報] をクリックします。
[コントロールパネルのスナップショット]	コントロールパネルディスプレイに現在の画面のイメージを表示します。
[印刷可能なレポートとページ]	プリンタの内部のレポートおよびページを一覧表示します。印刷または表示する項目を1つ以上選択してください。
[オープンソースライセンス]	プリンタで利用できるオープンソースソフトウェアプログラムのライセンスの概要を示します。

[一般] タブ

[一般] タブの設定については、表を参照してください。

表 8-2 HP 内蔵 Web サーバの [一般] タブ

メニュー	説明
[コントロールパネルのカスタマイズ]	コントロールパネルディスプレイで機能の並べ替え、表示、非表示を設定します。 コントロールパネルのデフォルトの表示言語およびキーボードレイアウトを変更します。
[クイックセット]	プリンタのコントロールパネルのホーム画面にある [クイックセット] 領域で印刷可能なジョブを設定します。
[警告]	さまざまなプリンタやサプライ品に関する電子メール警告をセットアップします。
[コントロールパネル設定アプリケーション]	プリンタのコントロールパネルで使用できる設定アプリ オプションを表示します。
[全般的な設定]	プリンタを紙詰まりから復旧する方法およびその他の一般的なプリンタの設定を行います。
[AutoSend]	プリンタの設定とサプライ品に関する自動電子メールを特定の電子メールアドレスに送信するように設定します。
[その他のリンクの編集]	別の Web サイトへのリンクを追加またはカスタマイズできます。このリンクは、HP 内蔵 Web サーバのすべてのページのフッター領域に表示されます。
[アクセサリおよびサプライ品の購入について]	交換用プリントカートリッジの注文に関する情報を入力します。この情報はサプライ品ステータスページに表示されます。
[デバイス情報]	プリンタに名前を付け、アセット番号を割り当てます。プリンタに関する情報を受信するユーザーの名前を入力します。
[言語]	HP 内蔵 Web サーバの情報を表示する言語を設定します。
[ファームウェアのアップグレード]	プリンタのファームウェアアップグレードファイルをダウンロードしてインストールします。
[日付/時刻の設定]	日時を設定したり、ネットワークタイムサーバと同期したりします。
[電力設定]	プリンタの復帰時刻、スリープ時刻、およびスリープ遅延を設定または編集します。各曜日および休日に異なるスケジュールを設定します。 プリンタをスリープモードから復帰させる操作を設定します。
[バックアップと復元]	プリンタデータとユーザーデータを格納するバックアップファイルを作成します。必要に応じて、このファイルを使用してプリンタにデータを復元します。
[出荷時の設定に戻す]	プリンタの設定を出荷時のデフォルトに戻します。
[ソリューション インストーラ]	プリンタの機能を拡張または変更するためのサードパーティ製のソフトウェアをインストールします。
[ジョブ統計設定]	サードパーティのジョブ統計サービスについての接続情報を示します。
[クォータ設定]	サードパーティのジョブクォータサービスについての接続情報を示します。

[コピー/印刷] タブ

[コピー/印刷] タブの設定については、表を参照してください。

表 8-3 HP 内蔵 Web サーバの [コピー/印刷] タブ

メニュー	説明
[USB ドライブからの印刷設定]	コントロールパネルの USB ドライブから印刷 メニューを有効または無効にします。
[保存ジョブの管理]	プリンタのメモリにジョブを保存する機能を有効または無効にします。 ジョブ保存オプションを設定します。
[デフォルト印刷オプション]	印刷ジョブのデフォルト オプションを設定します。
[カラー印刷の制限] (カラー プリンタのみ)	カラー印刷およびカラー コピーを許可または制限します。 個々のユーザーまたは特定のソフトウェア プログラムから送信されたジョブの権限を指定します。
[PCL および PostScript の設定]	コピー ジョブとファックス受信を含む、すべての印刷ジョブの PCL および PostScript の設定を調整します。
[印刷品質]	カラー調整、画像登録、および許容される用紙タイプを含む、印刷品質の設定を行います。
[コピー設定]	コピー ジョブのデフォルト オプションとクイック セットを設定します。 注記： ジョブ開始時にコントロールパネルでジョブ固有のコピー設定オプションが設定されていない場合、そのジョブにはデフォルトの設定が使用されます。
[トレイの管理]	用紙トレイの設定を指定します。

[スキャン/デジタル送信] タブ

表 8-4 HP 内蔵 Web サーバの [スキャン/デジタル送信] タブ

メニュー	説明
[[スキャンして電子メールで送信] 設定]	以下をはじめとする、デジタル送信用の電子メールのデフォルト設定を指定します。 <ul style="list-style-type: none">送信メール (SMTP) サーバの設定電子メールクイック セット ジョブのデフォルトの設定デフォルトのメッセージ設定 (「送信元」 アドレス、件名など)デジタル署名と暗号化の設定電子メール通知の設定電子メール ジョブのデフォルトのスキャン設定電子メール ジョブのデフォルトのファイル設定

表 8-4 HP 内蔵 Web サーバの [スキャン/デジタル送信] タブ (続き)

メニュー	説明
[[スキャン データをネットワークフォルダに送信] 設定]	<p>以下をはじめとする、デジタル送信用のネットワーク フォルダを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク フォルダに保存されているクイックセット ジョブの設定 通知の設定 ネットワーク フォルダに保存されているジョブのデフォルトのスキャン設定 ネットワーク フォルダに保存されているジョブのデフォルトのファイル設定
[[スキャンして SharePoint® に保存] 設定] (Flow モデルのみ)	<p>デジタル送信用の Microsoft SharePoint® 設定を設定します。以下の機能が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> SharePoint® サイトのドキュメント ライブラリに保存されているクイックセット ジョブの設定 SharePoint® サイト上の文書ライブラリに保存されているジョブのデフォルト設定
[スキャンして USB ドライブに保存 設定]	<p>以下をはじめとする、デジタル送信用の USB を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> USB フラッシュ ドライブに保存されているクイックセット ジョブの設定 通知の設定 USB フラッシュ ドライブに保存されているジョブのデフォルトのスキャン設定 USB フラッシュ ドライブに保存されているジョブのデフォルトのファイル設定
[連絡先]	<p>連絡先管理を行います。以下の機能が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一度に1つずつ電子メールアドレスを追加します。 頻繁に使用する電子メールアドレスの大きなリストを、1つずつではなく、一括でプリンタにロードします。 プリンタからコンピュータ上の .CSV ファイルにデータバックアップとして連絡先をエクスポートしたり、別の HP プリンタにレコードをインポートします。 プリンタに保存されている電子メールアドレスを編集します。
[電子メールセットアップウィザードおよび[スキャン データをネットワークフォルダに送信]クイックセットアップウィザード]	<p>スキャンしたイメージを電子メール添付ファイルとして送信するよう設定します。</p> <p>スキャンしたイメージがネットワーク フォルダクイックセットに保存されるよう設定します。クイックセットでは、ネットワーク上に保存されているファイルに簡単にアクセスできます。</p>
[デジタル送信ソフトウェア セットアップ]	<p>オプションのデジタル送信ソフトウェアの使用に関連する項目を設定します。</p>

[ファックス]タブ

[ファックス]タブの設定については、表を参照してください。

表 8-5 HP 内蔵 Web サーバの [ファックス] タブ

メニュー	説明
[ファックス送信設定]	以下をはじめとする、ファックス送信を設定します。 <ul style="list-style-type: none">送信ファックスのデフォルトの設定クイックセットジョブのファックス設定通知の設定内蔵ファックスモデムによるファックス送信のデフォルトの設定LAN ファックスサービスの使用の設定インターネットファックスサービスの使用の設定
[ファックス短縮ダイヤル]	次を含め、短縮ダイヤルを管理します。 <ul style="list-style-type: none">電子メールアドレス、ファックス番号、ユーザーレコードなどを含む .CSV ファイルをインポートして、プリンタからアクセスできるようにします。プリンタからコンピュータ上のファイルにデータバックアップとして電子メール、ファックス、またはユーザーレコードをエクスポートしたり、別の HP プリンタにレコードをインポートします。
[ファックス受信のセットアップ]	受信ファックスに関するデフォルトの印刷オプション、および、ファックス印刷スケジュールを設定します。
[ファックスのアーカイブと転送]	ファックスアーカイブおよびファックス転送を有効または無効にし、それぞれの基本項目を設定します。 <ul style="list-style-type: none">ファックスアーカイブとは、すべての送受信ファックスのコピーを電子メールアドレス、ネットワークフォルダ、または FTP サーバに送信する方法です。ファックス転送とは、受信ファックスを別のファックスデバイスに転送する方法です。
[ファックス使用状況ログ]	このプリンタで送受信されたファックスが一覧表示されます。

[サプライ品]タブ

[サプライ品]タブの設定については、表を参照してください。

表 8-6 HP 内蔵 Web サーバの [サプライ品] タブ

メニュー	説明
[サプライ品の管理]	サプライ品の状態が「非常にわずか」になったときのプリンタの動作方法を設定します。

[トラブルシューティング]タブ

[トラブルシューティング]タブの設定については、表を参照してください。

表 8-7 HP 内蔵 Web サーバの [トラブルシューティング] タブ

メニュー	説明
[一般的なトラブルシューティング]	プリンタに関する問題の解決に役立つ、さまざまなレポートとテストから選択します。
[Online Help]	印刷の問題をトラブルシューティングできるクラウドベースの HP オンラインヘルプへのリンク。
[診断データ]	プリンタの情報をファイルにエクスポートして、詳細な問題分析に利用することができます。
注記: この項目は、管理者パスワードを [セキュリティ] タブで設定した場合だけ選択できます。	
[校正/クリーニング] (カラー プリンタのみ)	自動クリーニング機能の有効化、クリーニング ページを作成して印刷、プリンタを迅速に校正するオプションの選択を行うことができます。
[出荷時の設定を復元]	プリンタの設定を出荷時のデフォルトに戻します。
[ファームウェアのアップグレード]	プリンタのファームウェア アップグレード ファイルをダウンロードしてインストールします。

[セキュリティ] タブ

[セキュリティ] タブの設定については、表を参照してください。

表 8-8 HP 内蔵 Web サーバの [セキュリティ] タブ

メニュー	説明
[一般セキュリティ]	次を含む、一般セキュリティの設定です。 <ul style="list-style-type: none"> プリンタの特定の機能へのアクセスを制限するため、管理者パスワードを設定します。 PJL コマンドを処理するための PJL パスワードを設定します。 ファイル システム アクセスとファームウェア アップグレードのセキュリティを設定します。 コンピュータから直接印刷するための、コントロールパネルのホスト USB ポートまたはフォーマッタの USB 接続ポートを有効または無効にします。 すべてのセキュリティ設定のステータスを表示します。
[アカウント ポリシー]	管理者アカウントの設定を有効にします。
[アクセス制御]	特定の個人やグループに対するプリンタ機能へのアクセスの設定、個人がプリンタへのサインインに使用する方法の選択を行います。
[保存データの保護]	プリンタの内蔵ハード ドライブを設定および管理します。 プリンタのハード ドライブに格納されているジョブを設定します。
[リモート接続の管理]	デバイスで本製品を使用できるようにする証明書をインポートまたは削除することで、リモート アプリケーションを管理するかまたはホワイト リストに追加します。
[証明書の管理]	プリンタおよびネットワークにアクセスするためのセキュリティ証明書をインストールおよび管理します。

表 8-8 HP 内蔵 Web サーバの [セキュリティ] タブ (続き)

メニュー	説明
[Web サービスセキュリティ]	別のドメインからの Web ページによる本プリンタのリソースへのアクセスを許可します。リストに追加されたサイトがない場合、すべてのサイトが信頼されたサイトとなります。
[セルフテスト]	セキュリティ機能が、目的のシステムパラメータに応じて実行されていることを確認します。

[HP Web サービス] タブ

[HP Web サービス] タブでは、このプリンタ用に HP Web サービスを設定して有効にします。HP ePrint 機能を使用するには、HP Web サービスを有効にする必要があります。

表 8-9 HP 内蔵 Web サーバの [HP Web サービス] タブ

メニュー	説明
[Web サービスの設定]	HP Web サービスを有効にして、このプリンタを Web 上の HP Connected に接続します。
[Web プロキシ]	HP Web サービスの有効化やプリンタとインターネットの接続に問題がある場合は、プロキシサーバを設定します。
[HP JetAdvantage]	プリンタの機能を拡張するソリューションにアクセスします。
[Smart Cloud Print]	Smart Cloud Print を有効にし、プリンタの機能を拡張する Web ベースのアプリケーションにアクセスできるようにします。

[Networking] (ネットワーキング) タブ

[ネットワーク] タブでは、プリンタが IP ベースのネットワークに接続されている場合に、プリンタのネットワーク設定を設定して保護します。このタブは、プリンタが別のタイプのネットワークに接続されている場合は表示されません。

表 8-10 HP 内蔵 Web サーバの [ネットワーキング] タブ

メニュー	説明
構成	
[ワイヤレスステーション]	初期ワイヤレス設定を構成する
[Wi-Fi Direct]	内蔵の Wi-Fi Direct 印刷および NFC 印刷を搭載したプリンタ、またはワイヤレスアクセサリが取り付けられているプリンタで、Wi-Fi Direct 設定を設定します。 注記: 使用可能な設定オプションは、お使いのプリントサーバモデルによって異なります。
[TCP/IP 設定]	IPv4 および IPv6 ネットワークの TCP/IP 設定を設定します。 注記: 使用可能な設定オプションは、お使いのプリントサーバモデルによって異なります。
[ネットワーク設定]	プリントサーバモデルに応じて、IPX/SPX、AppleTalk、DLC/LLC、SNMP 設定を設定します。

表 8-10 HP 内蔵 Web サーバの [ネットワークング] タブ (続き)

メニュー	説明
[その他の設定]	プリントサーバでサポートされる全般的な印刷プロトコルとサービスを設定します。使用可能なオプションはプリントサーバのモデルによって異なりますが、ファームウェア更新、LPD キュー、USB 設定、サポート情報、リフレッシュ速度が含まれることがあります。
[AirPrint]	Apple 対応プリンタからのネットワーク印刷を有効化、セットアップ、または無効化します。
[言語の選択]	HP 内蔵 Web サーバにより表示される言語を変更します。このページは、Web ページで複数の言語がサポートされている場合に使用可能です。または、ブラウザの言語の優先順位設定を使用して、サポートする言語を選択します。
[場所の選択]	プリンタを使用する国/地域を選択します。
Google クラウド プリント	
[セットアップ]	Google クラウド プリントのオプションを設定します。
[Web プロキシ]	プロキシ設定を構成します。
セキュリティ	
[設定]	現在のセキュリティ設定を表示し、出荷時の設定に戻します。 セキュリティ設定ウィザードを使用してセキュリティ設定を行います。 注記： HP Web Jetadmin などのネットワーク管理アプリケーションを使用してセキュリティを設定している場合は、セキュリティ設定ウィザードを使用しないでください。
[許可]	本プリンタの設定管理および使用を制御します。以下の機能が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 管理者パスワードを設定または変更して、設定パラメータへのアクセスを制御します。 ● HP Jetdirect プリントサーバでのデジタル証明書の要求、インストール、および管理を行います。 ● アクセス制御リスト (ACL) を通して本プリンタへのホストアクセスを制限します (IPv4 ネットワーク上の選択したプリントサーバのみ)。
[安全な通信]	セキュリティ設定を構成します。
[管理プロトコル]	本プリンタのセキュリティ プロトコルを設定管理します。以下の機能が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> ● HP 内蔵 Web サーバのセキュリティ管理レベルを設定し、HTTP および HTTPS 上のトラフィックを制御します。 ● SNMP (Simple Network Management Protocol) の動作を設定します。プリントサーバで SNMP v1/v2c エージェントや SNMP v3 エージェントを有効または無効にします。 ● 印刷プロトコル、印刷サービス、検出プロトコル、名前の解決サービス、設定管理プロトコルなど、安全性が確約されていないプロトコルを通じたアクセスを制御します。

表 8-10 HP 内蔵 Web サーバの [ネットワーク] タブ (続き)

メニュー	説明
[802.1X Authentication]	ネットワーク上のクライアント認証に必要な Jetdirect プリント サーバの 802.1X 認証設定を設定したり、802.1X 認証設定を出荷時の設定に戻したりします。 注意： 802.1X 認証設定を変更すると、プリンタの接続が失われることがあります。再接続するには、プリントサーバを出荷時の状態に戻し、プリンタを取り付け直す必要がある場合があります。
[IPsec/ファイアウォール]	ファイアウォール ポリシーまたは IPsec/ファイアウォール ポリシーを表示または設定します。
[通知エージェント]	HP デバイス通知エージェントを有効または無効にします。証明書による相互認証を設定します。
診断	
[ネットワーク統計]	HP Jetdirect プリント サーバに収集して保存されているネットワーク統計を表示します。
[プロトコル情報]	プロトコル別に HP Jetdirect プリント サーバのネットワーク設定のリストを表示します。
[設定ページ]	ステータスおよび設定情報が記載された HP Jetdirect 設定ページを表示します。

[その他のリンク] のリスト

[一般] タブの [その他のリンクの編集] メニューを使用して、HP 内蔵 Web サーバのフッターにどのリンクを表示するかを設定します。

 **注記：**以下の項目は、デフォルトのリンクです。

表 8-11 HP 内蔵 Web サーバ [その他のリンク] のリスト

メニュー	説明
[HP Instant Support]	HP の Web サイトに接続して、プリンタの問題の解決方法を検索します。
[サプライ品の購入]	HP SureSupply Web サイトに接続し、HP 純正サプライ品 (例：カートリッジ、用紙) の購入情報を取得します。
[製品のサポート]	プリンタのサポート サイトに接続し、さまざまなトピックのヘルプを検索します。

IP ネットワークの設定

EWS を使用して、プリンタのネットワーク設定を行います。

- [プリンタ共有の免責条項](#)
- [ネットワーク設定の表示または変更](#)
- [ネットワーク上でのプリンタ名の変更](#)
- [コントロールパネルから IPv4 TCP/IP パラメータを手動で設定](#)
- [コントロールパネルから IPv6 TCP/IP パラメータを手動で設定](#)
- [リンク速度と二重通信設定](#)

プリンタ共有の免責条項


次の免責条項を確認します。

HP はピアツーピア ネットワークをサポートしていません。これは、Microsoft オペレーティング システムの機能であり、HP プリンタ ドライバの機能ではありません。Microsoft の Web サイト www.microsoft.com にアクセスしてください。

ネットワーク設定の表示または変更

HP 内蔵 Web サーバを使用して、IP 設定を表示または変更します。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
 - a. プリンタのコントロールパネル上の [ホーム] 画面から、[情報] ⓘ アイコン、[ネットワーク] 🖨️ アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
 - b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 **注記** : Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピューターが損害を受けることはありません。


2. **[ネットワーク]** タブをクリックし、ネットワーク情報を取得します。必要に応じて設定を変更します。

ネットワーク上でのプリンタ名の変更


プリンタを一意に識別できるようにネットワーク上でプリンタ名を変更する場合は、HP 内蔵 Web サーバを使用します。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
 - a. プリンタのコントロールパネル上の [ホーム] 画面から、[情報] ⓘ アイコン、[ネットワーク] 🖨️ アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。

- b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 **注記** : Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピューターが損害を受けることはありません。

2. **[一般]** タブを開きます。
3. **[デバイス情報]** ページの **[デバイス名]** フィールドにデフォルトのプリンタ名が表示されています。プリンタを一意に識別するために、この名前を変更できます。

 **注記** : このページの他のフィールドへの入力省略可能です。

4. 変更を保存するには、**[適用]** ボタンをクリックします。

コントロールパネルから IPv4 TCP/IP パラメータを手動で設定

コントロールパネルの **設定** メニューを使用して IPv4 アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で設定します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **ネットワーキング**
 - **イーサネット**
 - **TCP/IP**
 - **IPV 4 設定**
 - **設定方法**
3. **手動** オプションを選択し、**保存** ボタンをタッチします。
4. **手動設定** メニューを開きます。
5. **IP アドレス**、**サブネットマスク** または **デフォルトゲートウェイ** オプションをタッチします。
6. 最初のフィールドをタッチしてキーパッドを開きます。フィールドに正しい数字を入力して、**OK** ボタンをタッチします。

このプロセスをフィールドごとに繰り返した後、**保存** ボタンをタッチします。


コントロールパネルから IPv6 TCP/IP パラメータを手動で設定

コントロールパネルの **設定** メニューを使用して、IPv6 アドレスを手動で設定します。


1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 手動設定を有効にするため、次の各メニューを開きます。
 - ネットワーキング
 - イーサネット
 - TCP/IP
 - IPV6 設定
3. **有効化** を選択し、次に **オン** を選択します。
4. **手動設定の有効化** オプションを選択し、**完了** ボタンをタッチします。
5. アドレスを設定するには、**アドレス** メニューを開いてから、フィールドをタッチしてキーパッドを開きます。
6. キーパッドを使用してアドレスを入力し、**OK** ボタンをタッチします。
7. **[保存]** をタッチします。


リンク速度と二重通信設定

リンク速度と二重通信設定を変更するには、次の手順を実行します。

 **注記** : この情報は、Ethernet ネットワークのみに適用されます。ワイヤレス ネットワークには適用されません。

プリント サーバのリンク速度と通信モードはネットワーク ハブと一致する必要があります。特別な場合を除き、自動モードから変更しないでください。リンク速度と二重通信設定を誤って変更すると、プリンタと他のネットワーク デバイス間の通信ができなくなります。変更する必要がある場合は、プリンタのコントロールパネルを使用します。

 **注記** : プリンタの設定は、ネットワークデバイス(ネットワークハブ、スイッチ、ゲートウェイ、ルーター、またはコンピュータ)の設定と一致している必要があります。

 **注記** : 設定を変更すると、プリンタがいったんオフになってから再びオンになります。変更を加える場合は、プリンタがアイドル状態のときに操作してください。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ネットワーキング
 - イーサネット
 - リンク速度
3. 以下のオプションから 1 つ選択してください。

- **自動**: 使用しているネットワークで可能な最高のリンク速度と通信モードに自動的に設定されます。
 - **10T Half**: 10Mbps、ハーフ二重
 - **10T Full**: 10Mbps、フル二重
 - **10T Auto**: 10Mbps、自動二重
 - **100TX Half**: 100Mbps、ハーフ二重
 - **100TX Full**: 100Mbps、フル二重
 - **100TX Auto**: 100Mbps、自動二重
 - **1000T Full**: 1000Mbps、フル二重
4. **保存** ボタンをタッチします。プリンタの電源を入れ直します。

プリンタのセキュリティ機能

セキュリティ機能により、構成設定やセキュアデータにアクセス権を持つユーザーを制限したり、重要なハードウェアコンポーネントへのアクセスを防ぐことができます。

- [はじめに](#)
- [セキュリティステートメント](#)
- [管理者パスワードの割り当て](#)
- [IPセキュリティ](#)
- [暗号化サポート：HPハイパフォーマンスセキュアハードディスク](#)
- [フォーマットのロック](#)

はじめに

プリンタには、構成設定やセキュアデータにアクセス権を持つユーザーを制限したり、重要なハードウェアコンポーネントへのアクセスを防ぐセキュリティ機能が複数搭載されています。

セキュリティステートメント

この重要なセキュリティステートメントを確認してください。

このプリンタでは、プリンタの安全な状態の維持、ネットワーク上の重要な情報の保護、プリンタの監視および管理方法の効率化に役立つセキュリティ規格および推奨プロトコルをサポートしています。

管理者パスワードの割り当て


プリンタおよびHP 内蔵 Web サーバにアクセスするための管理者パスワードを割り当てて、権限のないユーザーがプリンタの設定を変更できないようにします。

- [HP 内蔵 Web サーバ \(EWS\) を使用してパスワードを設定する](#)
- [プリンタのコントロールパネルでユーザーのアクセス認証情報を入力する](#)


HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使用してパスワードを設定する

次の手順に従って、プリンタのパスワードを設定します。


1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
 - a. プリンタのコントロールパネル上の [ホーム] 画面から、[情報] ⓘ アイコン、[ネットワーク] 📶 アイコンの順にタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
 - b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 **注記** : Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピューターが損害を受けることはありません。

2. [セキュリティ] タブをクリックします。
3. [一般セキュリティ] メニューを開きます。
4. [ローカル管理者パスワードを設定] 領域で、[ユーザー名] フィールドのパスワードに対応する名前を入力します。
5. [新しいパスワード] フィールドにパスワードを入力し、[パスワードの確認] フィールドにパスワードを再度入力します。

 **注記** : 現在のパスワードを変更する際は、最初に [古いパスワード] フィールドに現在のパスワードを入力します。

6. [適用] をクリックします。

 **注記** : パスワードをメモして、安全な場所に保管してください。管理者パスワードは復元できません。管理者パスワードを紛失するか忘れた場合、完全にプリンタをリセットする方法については、support.hp.com にお問い合わせください。


プリンタのコントロールパネルでユーザーのアクセス認証情報を入力する

コントロールパネルにサインインするには、次の手順を実行します。

コントロールパネルの一部の機能は、権限のないユーザーが利用できないよう、保護できます。保護されている機能を利用しようとする、サインインを要求されます。プリンタのコントロールパネルで **サインイン** を選択すると、サインインを求めるプロンプトが表示される前にサインインすることもできます。

通常、プリンタへのサインインの認証情報は、ネットワークにサインインするときのものと同じです。使用する資格情報について不明な点がある場合は、このプリンタを管理しているネットワーク管理者に問い合わせてください。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**サインイン** を選択します。
2. プロンプトに従って認証情報を入力します。

 **注記** : プリンタのセキュリティを維持するため、プリンタ使用後に **サインアウト** を選択します。

IP セキュリティ

IP セキュリティ (IPsec) は、IP ベースのネットワーク上でプリンタの送受信トラフィックを制御するプロトコルセットです。ネットワーク通信において、ホスト間の認証、データの整合性チェック、および暗号化を行います。

ネットワーク接続されており、かつ HP Jetdirect プリント サーバを備えているプリンタの場合については、HP 内蔵 Web サーバで **[ネットワーク]** タブを使用して、IPsec を設定できます。

暗号化サポート : HP ハイパフォーマンスセキュアハードディスク

このハードディスクではハードウェアベースの暗号化が利用できるため、プリンタの性能に影響を与えることなく、機密性のあるデータを安全に保存できます。このハードディスクは、最新の AES (Advanced Encryption Standard) を使用し、汎用性のある時間節約機能と堅牢な機能を備えています。

HP 内蔵 Web サーバの **[セキュリティ]** メニューを使用して、このディスクを設定します。

フォーマッタのロック

フォーマッタには、セキュリティケーブルを取り付けるのに使用できるスロットが付いています。

フォーマッタをロックすることで、重要なコンポーネントがフォーマッタから外れるのを防ぐことができます。

省エネ設定

プリンタで使用できる省エネ設定について説明します。


- [スリープタイマをセットし、1W以下の電力を使用するようプリンタを設定します。](#)
- [スリープスケジュールの設定](#)

スリープタイマをセットし、1W以下の電力を使用するようプリンタを設定します。

スリープ設定は、プリンタの消費電力、スリープ/スリープ復帰時刻、プリンタがスリープモードに入る速度、およびスリープモードから復帰する速度に影響します。

プリンタのスリープモード時の消費電力を1ワット以下に設定するには、[アイドル状態後スリープ](#)と[スリープ後自動オフ](#)設定の両方に時間を入力します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[設定](#)アプリケーションに移動し、[設定](#)アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [全般](#)
 - [電力設定](#)
 - [スリープ設定](#)
3. 製品がスリープモードに入る前にどのくらいの時間(分)アイドル状態にいるかを指定するには、[アイドル状態後スリープ](#)を選択します。適切な時間を入力します。
4. 一定時間のスリープ後にさらに深い省電力モードに入るには、[スリープ後自動オフ](#)を選択します。適切な時間を入力します。

 **注記** : デフォルトでは、プリンタはUSBやWi-Fi以外の操作に応答して自動オフから復帰します。電力をさらに節約する設定をするには、[シャットダウン\(電源ボタンのみで復帰\)](#)を選択して、電源ボタンを押した場合のみスリープから復帰するよう設定できます。

5. [完了](#)を選択して設定を保存します。

スリープスケジュールの設定

[スリープスケジュール](#)機能は、プリンタが自動的にスリープから復帰したり、特定の曜日の特定の時間にスリープモードになるように設定する場合に使用します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[設定](#)アプリケーションに移動し、[設定](#)アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [全般](#)
 - [電力設定](#)
 - [スリープスケジュール](#)

3. 新しいイベント ボタンを選択し、スケジュール設定するイベントの種類(復帰イベント または スリープイベント)を選択します。
4. 復帰またはスリープ イベントについては、イベントの時間と曜日を設定します。設定を保存するには、保存 をクリックします。

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin は高い評価を得ている業界最高水準のツールで、ネットワーク接続されたさまざまな HP 製品 (例 : プリンタ、多機能プリンタ、デジタル送信装置) を効率的に管理できます。このソフトウェア1つで、印刷/画像処理環境におけるリモート インストール、監視、保守、トラブルシューティング、セキュリティ確保の各作業を行うことができます。これにより、時間の節約、コストの抑制、および既存資産の有効利用が可能になるので、業務の生産性が向上します。

特定のプリンタ機能をサポートする HP Web Jetadmin の更新プログラムは定期的に提供されています。詳細については、www.hp.com/go/webjetadmin をご覧ください。

ソフトウェアおよびファームウェアの更新

HP では、プリンタ ファームウェアの機能を定期的に更新しています。プリンタ ファームウェアをアップデートすると、最新機能を利用できます。

最新のファームウェア更新ファイルを Web からダウンロードしてください。

www.hp.com/support/colorljE77422MFP にアクセスします。次に【ドライバ&ソフトウェア】をクリックします。

9 問題の解決

プリンタの問題をトラブルシューティングします。ヘルプおよびテクニカルサポートの追加リソースを確認します。

- [カスタマーサポート](#)
- [コントロールパネルのヘルプシステム](#)
- [出荷時の設定に戻す](#)
- [「カートリッジ残量わずか」または「カートリッジ残量非常にわずか」のメッセージがプリンタのコントロールパネルに表示される](#)
- [給紙されない、または給紙ミスが発生する](#)
- [紙詰まりの解消](#)
- [印刷品質の問題の解決](#)
- [コピーのイメージ品質を向上させる](#)
- [スキャンのイメージ品質を向上させる](#)
- [ファックスの画像品質の向上](#)
- [ファックスに関する問題の解決](#)
- [USB フラッシュドライブからの応答がない](#)

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/A3 を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/colorljE77422MFP を参照してください。

詳細は、次を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新

- サポートフォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

カスタマーサポート

お使いの HP プリンタのサポート連絡先オプションを確認します。

国/地域の電話サポートを受ける プリンタ名、シリアル番号、購入日、および問題の説明をご用意ください。	国/地域の電話番号については、プリンタに同梱のパンフレットまたは support.hp.com をご覧ください。
24 時間インターネットサポートの利用と、ソフトウェアユーティリティおよびドライバのダウンロード	www.hp.com/support/colorljE77422MFP
その他の HP サービスまたは保守契約の注文	www.hp.com/go/carepack
プリンタの登録	www.register.hp.com

コントロールパネルのヘルプシステム

このプリンタには、各画面の使い方を説明するヘルプシステムが組み込まれています。ヘルプシステムを開くには、画面の右上隅にある [ヘルプ] ? ボタンにタッチします。



一部の画面では、[ヘルプ] にタッチすると、特定のトピックを検索できるグローバルメニューが表示されることがあります。メニューのボタンにタッチして、メニュー構造を参照できます。

一部の [ヘルプ] 画面には、紙詰まりの解消などの具体的な手順を示すアニメーションが含まれています。

プリンタでエラーや警告が表示される場合は、[ヘルプ] ? ボタンをタッチして、問題を説明するメッセージを表示します。このメッセージには、問題解決に役立つ手順も記載されています。

出荷時の設定に戻す

プリンタ設定を出荷時のデフォルト設定に戻すと、問題の解決に役立つことがあります。

- [はじめに](#)
- [方法 1: プリンタのコントロールパネルで出荷時の設定に戻す](#)
- [方法 2: HP 内蔵 Web サーバから出荷時の設定に戻す \(ネットワーク接続されているプリンタのみ\)](#)

はじめに


プリンタを出荷時の設定に戻すには、次の方法のいずれかを実行します。

方法 1: プリンタのコントロールパネルで出荷時の設定に戻す

設定を元の値に戻すには、プリンタのコントロールパネルを使用します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **全般**
 - **出荷時の設定に戻す**
3. **リセット** を選択します。

リセット機能を実行するとデータの損失が起こる可能性があることを知らせる確認メッセージが表示されます。
4. **リセット** を選択して、処理を完了します。

 **注記** : リセット操作が完了すると、プリンタが自動的に再起動します。

方法 2: HP 内蔵 Web サーバから出荷時の設定に戻す (ネットワーク接続されているプリンタのみ)

プリンタ設定を元の設定にリセットするには、HP EWS を使用します。

1. プリンタのコントロールパネルで、[情報] ⓘ ボタンを選択し、[ネットワーク]-品 アイコンを選択して、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. [一般] タブを開きます。
3. 画面左側で、[出荷時の設定に戻す] をクリックします。
4. [リセット] ボタンをクリックします。

 **注記** : リセット操作が完了すると、プリンタが自動的に再起動します。

「カートリッジ残量わずか」または「カートリッジ残量非常にわずか」のメッセージがプリンタのコントロールパネルに表示される

この問題に対する有効な解決策を確認します。

カートリッジ残量わずか：トナーカートリッジの残量が少なくなると、プリンタに表示されます。実際のトナーカートリッジの寿命は異なる場合があります。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。今すぐトナーカートリッジを交換する必要はありません。

カートリッジ残量が非常にわずか：トナーカートリッジの残量が非常に少なくなると、プリンタに表示されます。実際のトナーカートリッジの寿命は異なる場合があります。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。適切な印刷品質が得られている場合、すぐにトナーカートリッジを交換する必要はありません。

使用可能なカートリッジの寿命が終了に近づいており、HP のプレミアム プロテクション保証が終了します。サプライ品ステータス ページまたは、HP 内蔵 Web サーバ (EWS) のステータスを確認してください。

給紙されない、または給紙ミスが発生する

プリンタのトレイから用紙が給紙されない場合、または同時に複数の用紙が給紙される場合は、次の情報を利用して問題を解決します。

- [はじめに](#)
- [用紙がピックアップされない](#)
- [複数枚の用紙がピックアップされる](#)
- [文書フィーダで紙詰まり、スキューが起こったり、複数枚の用紙がピックアップされる](#)

はじめに


プリンタのトレイから用紙が給紙されない場合、または同時に複数の用紙が給紙される場合は、次のソリューションが問題解決に役立ちます。次のいずれかの状況は、紙詰まりが原因となっている可能性があります。

用紙がピックアップされない

トレイから用紙がピックアップされない場合、次の解決策を試してください。

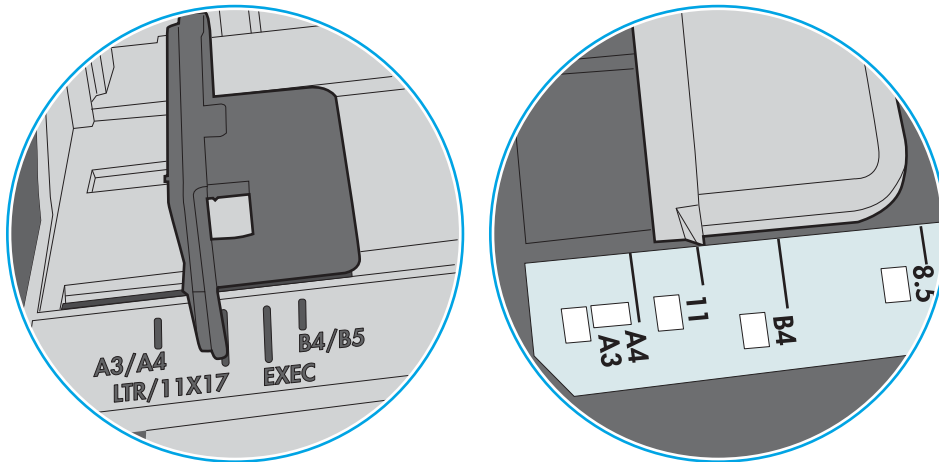
1. プリンタのカバーを開け、詰まっている用紙を取り除きます。プリンタ内部に紙の切れ端が残っていないことを確認します。
2. ジョブに適したサイズの用紙をトレイにセットします。
3. プリンタのコントロールパネルで用紙サイズと用紙タイプが正しく設定されていることを確認します。


4. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。トレイの適切な目印に合わせてガイドを調整します。トレイのガイドにある矢印とトレイのマークの位置を正確に揃える必要があります。

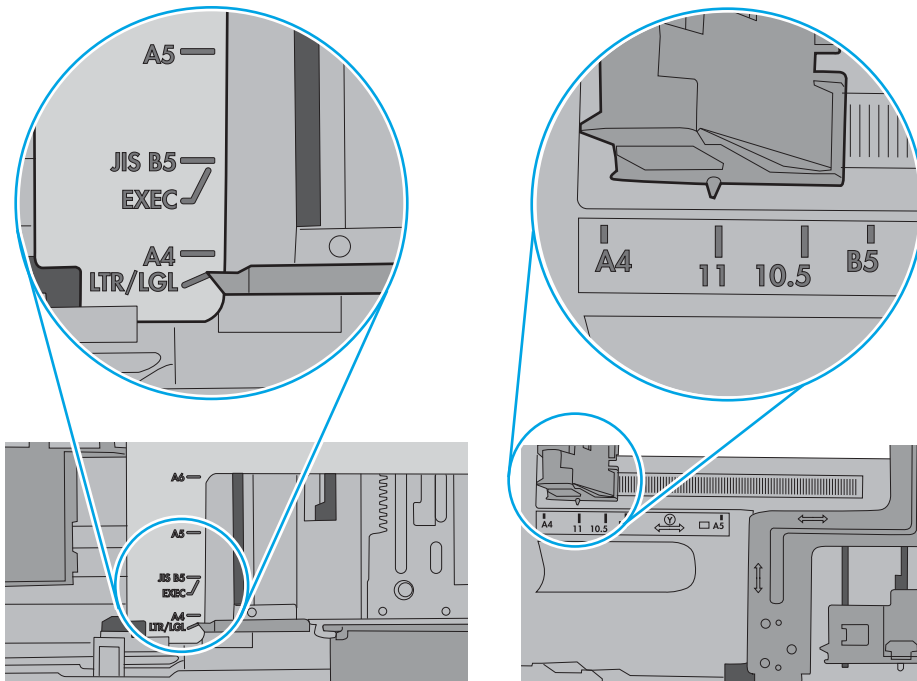
 **注記**：用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。

下の図は、さまざまなプリンタのトレイにある用紙サイズを示すマークの例です。ほとんどのHPプリンタには、ここに挙げたものと同様のマークが付いています。

 **9-1** トレイ1または汎用トレイのサイズマーク



 **9-2** カセットトレイのサイズマーク

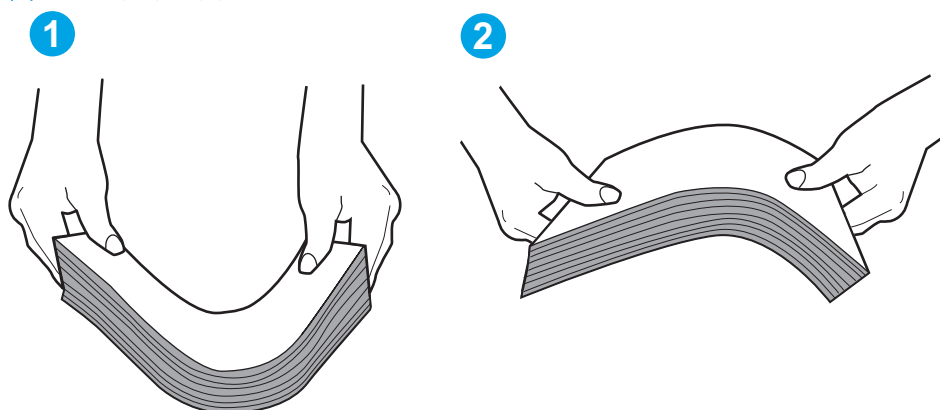


5. 室内の湿気がこのプリンタの仕様の範囲内であることと、用紙が未開封のパッケージに保存されていることを確認します。ほとんどの用紙は、乾燥状態を保つために、防湿性のある包装紙に梱包されて販売されています。

高湿度の環境では、トレイ内の用紙束の上部にある用紙が湿気を吸収する可能性があり、波打ちやむらが生じることがあります。この場合は、用紙束の上から5～10枚の用紙を取り除きます。

低湿度の環境では、過剰な静電気によって用紙がくっつき合うおそれがあります。この場合は、トレイから用紙を取り除き、用紙の両端を持ってU字状になるように上側で両端を合わせ、用紙束を曲げます。その後、両端を反転させて下向きのU字状にします。次に、用紙束の両側面を持って、この手順を繰り返します。この処理により、静電気を生じさせることなく用紙をばらすことができます。用紙束をトレイに戻す前に、テーブル上で用紙を揃えます。

図 9-3 用紙束の曲げ方

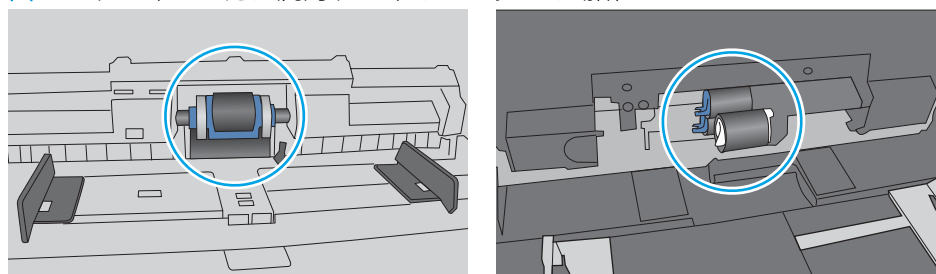


6. 手差しでの給紙が表示されているかどうかを、プリンタのコントロールパネルで確認します。用紙をセットして続行します。
7. トレイの上にあるローラーが汚れている可能性があります。水で湿らせた糸くずの出ない布でローラーを拭きます。使用できる場合は蒸留水を使用します。

△注意：プリンタに直接水を吹き付けしないでください。布に水を吹き付けるか布を水に軽く浸して絞ってから、ローラーをクリーニングしてください。

下の図は、各種プリンタのローラーの場所の例です。

図 9-4 トレイ 1 または 汎用トレイのローラーの場所



複数枚の用紙がピックアップされる

トレイから複数枚の用紙がピックアップされる場合、次の解決策を試してください。

1. トレイから用紙の束を取り出してさばき、左右を入れ替え、裏返します。用紙の束を振らないでください。用紙の束をトレイに戻します。


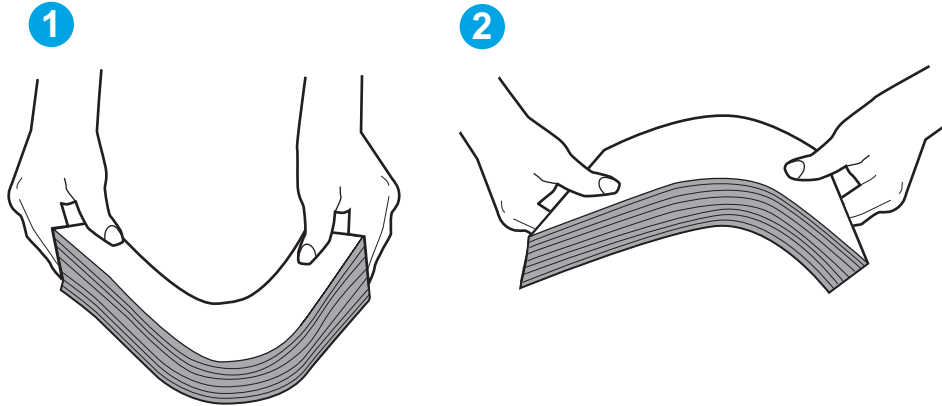
 **注記**：用紙をあおると、静電気が発生します。用紙をあおるのではなく、用紙束の両端を持ってU字状になるように上側で両端を合わせ、用紙束を曲げます。その後、両端を反転させて下向きのU字状にします。次に、用紙束の両側面を持って、この手順を繰り返します。この処理により、静電気を生じさせることなく用紙をばらすことができます。用紙束をトレイに戻す前に、テーブル上で用紙を揃えます。

図 9-5 用紙束の曲げ方



2. このプリンタに対応する HP の仕様を満たす用紙だけを使用します。
3. 室内の湿気がこのプリンタの仕様の範囲内であることと、用紙は未開封のパッケージに保存されていることを確認します。ほとんどの用紙は、乾燥状態を保つために、防湿性のある包装紙に梱包されて販売されています。

高湿度の環境では、トレイ内の用紙束の上部にある用紙が湿気を吸収する可能性があり、波打ちやむらが生じることがあります。この場合は、用紙束の上から 5 ~ 10 枚の用紙を取り除きます。

低湿度の環境では、過剰な静電気によって用紙がくっつき合うおそれがあります。この場合は、トレイから用紙を取り除き、前述の方法で用紙束を曲げます。

4. しわ、折り目、損傷などがない用紙を使用します。必要があれば、別のパッケージの用紙を使用する。

5. トレイ内部の積載制限マークを確認して、トレイがあふれていないことを確認します。あふれている場合は、用紙束全体をトレイから取り出してまっすぐ揃え、その一部をトレイに戻します。

下の図は、各種プリンタのトレイに付いている積載制限マークの例です。ほとんどのHPプリンタには、ここに挙げたものと同様のマークが付いています。さらに、すべての用紙が積載制限マークの近くにあるつまみよりも下にあることを確認します。これらのつまみは、プリンタに送られる用紙を正しい位置に保持するためのものです。

図 9-6 積載制限マーク

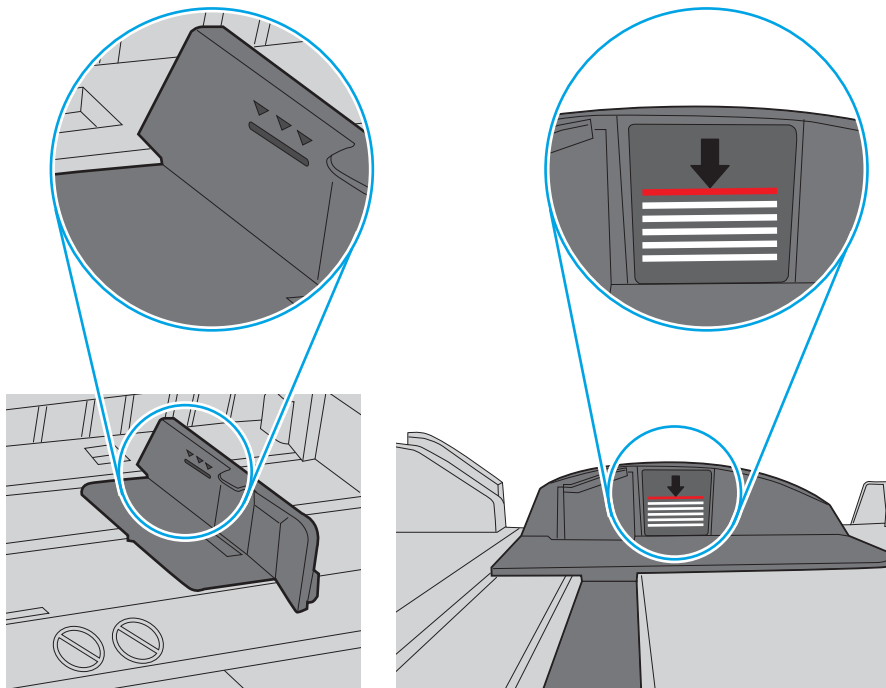
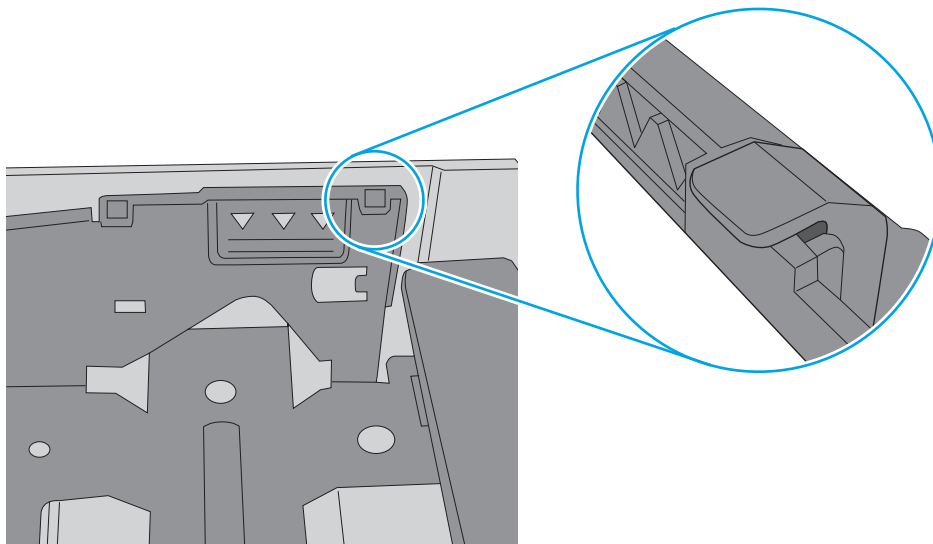



図 9-7 用紙束用のつまみ

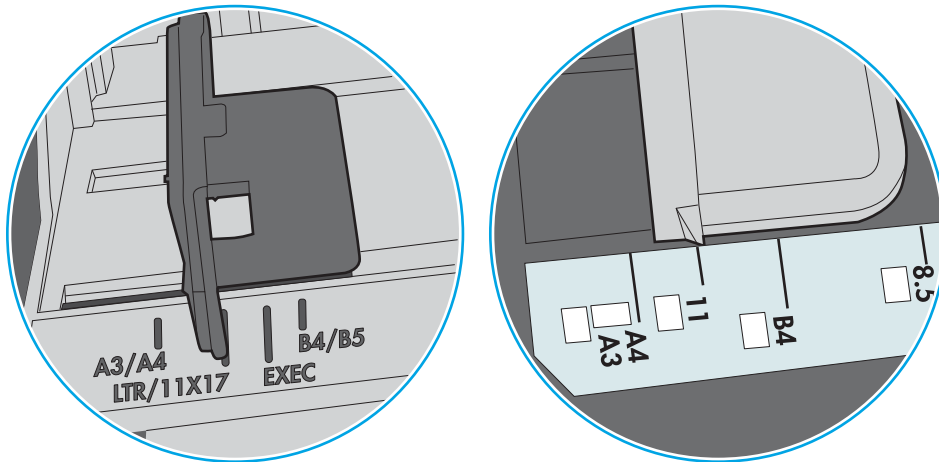



6. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。トレイの適切な目印に合わせてガイドを調整します。トレイのガイドにある矢印とトレイのマークの位置を正確に揃える必要があります。

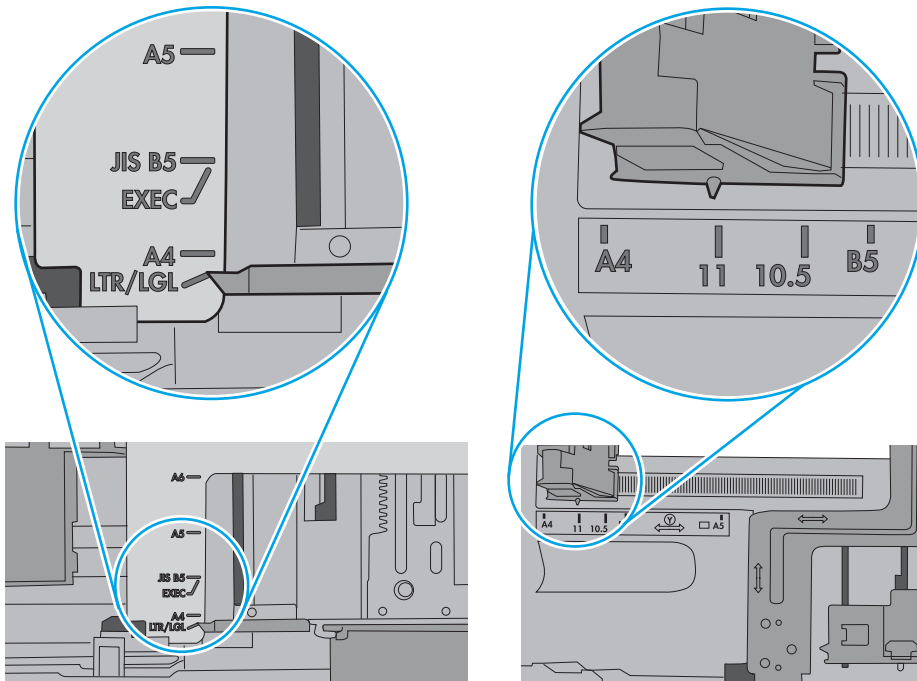
 **注記**：用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。

下の図は、さまざまなプリンタのトレイにある用紙サイズを示すマークの例です。ほとんどのHPプリンタには、ここに挙げたものと同様のマークが付いています。

 **9-8** トレイ1または汎用トレイのサイズマーク




 **9-9** カセットトレイのサイズマーク



7. 印刷環境が推奨される仕様の範囲内であることを確認します。

文書フィーダで紙詰まり、スキューが起こったり、複数枚の用紙がピックアップされる

 **注記**：この情報は、MFP プリンタのみに適用されます。

- 原稿にステイプルまたはシールなどが付着している可能性があります。これらは取り外す必要があります。
- すべてのローラーが正しい場所にあり、文書フィーダ内のローラー アクセスカバーが閉じていることを確認します。
- 文書フィーダの上部カバーが閉じていることを確認します。
- ページが正しくセットされていない可能性があります。ページをまっすぐにそろえて、スタックが中央になるように用紙ガイドを調整します。
- 用紙ガイドを適切に機能させるには、用紙ガイドが用紙スタックの両側に接触している必要があります。用紙スタックをまっすぐにそろえて、用紙ガイドを用紙スタックに合わせます。
- 文書フィーダの給紙トレイまたは排紙ビンに最大枚数を超えるページが置かれている可能性があります。用紙スタックが給紙トレイのガイドの下に収まっていることを確認し、排紙ビンからページを取り除きます。
- 紙の断片、ステイプル、クリップ、またはその他のごみが用紙経路にないことを確認します。
- 文書フィーダ ローラーと仕分けパッドをクリーニングします。エアスプレー、またはぬるま湯で湿らせた繊維の残らない布を使用します。それでも給紙ミスが解決しない場合は、ローラーを交換します。
- プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[\[サプライ品\]](#) ボタンまでスクロールしてタッチします。文書フィーダキットのステータスを確認して、必要な場合には交換します。

紙詰まりの解消

プリンタの用紙経路から紙詰まりを解消するには、このセクションの手順を実行します。

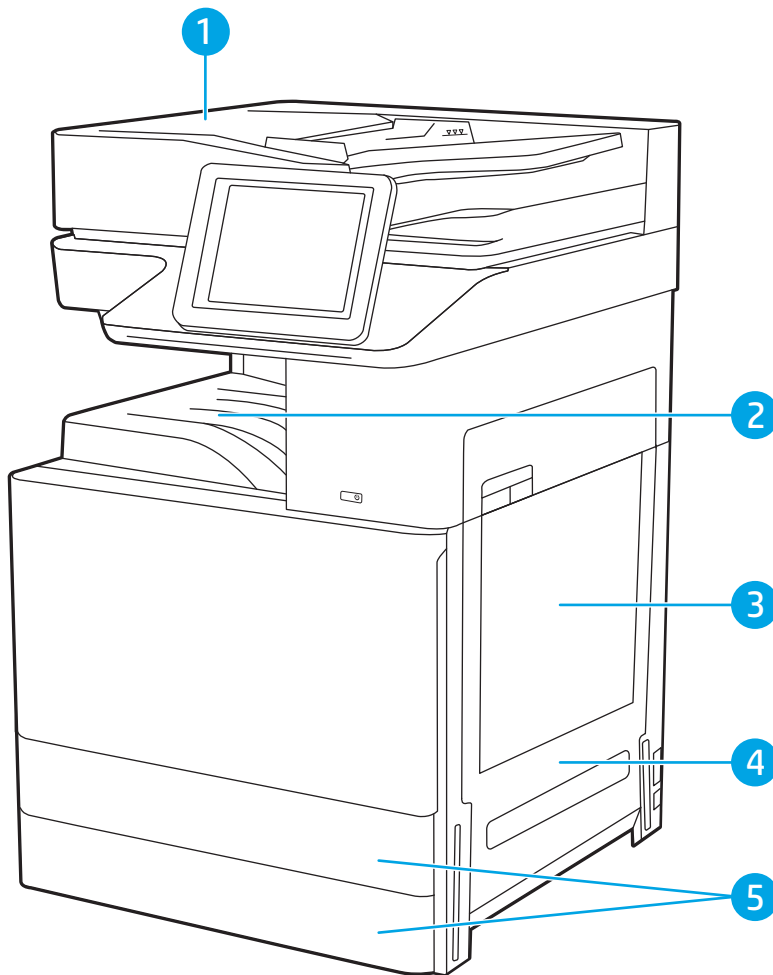
- [はじめに](#)
- [紙詰まりの発生場所](#)
- [自動ナビゲーションによる紙詰まり解消](#)
- [紙詰まりが頻繁に、または繰り返し発生する](#)
- [文書フィーダにおける紙詰まりの解消 - 31.13.vz](#)
- [トレイ 1 \(汎用トレイ\) の紙詰まりを取り除く - 13.A1](#)
- [トレイ 2、トレイ 3 の紙詰まりの解消 - 13.A2、13.A3](#)
- [排紙ビンの紙詰まりの解消 - 13.E1](#)
- [右のドアおよびフューザエリアの紙詰まりの解消 - 13.B9、13.B2、13.FF](#)

はじめに

次の情報には、プリンタの紙詰まりを解消する手順が含まれています。

紙詰まりの発生場所

紙詰まりは、次の場所で発生する可能性があります。



項目	説明
1	文書フィーダ
2	排紙ビン
3	トレイ1 (汎用トレイ)
4	右のドアおよびフューザエリア
5	トレイ2およびトレイ3

自動ナビゲーションによる紙詰まり解消


コントロールパネルに表示される操作手順によって、紙詰まり解消をサポートする機能です。

手順にある操作手順を完了するまで、1つの手順を完了すると、次の手順に関する指示が表示されません。

紙詰まりが頻繁に、または繰り返し発生する

この問題に対する有効な解決策を確認します。

紙詰まりを減らすには、次の解決策を試してください。

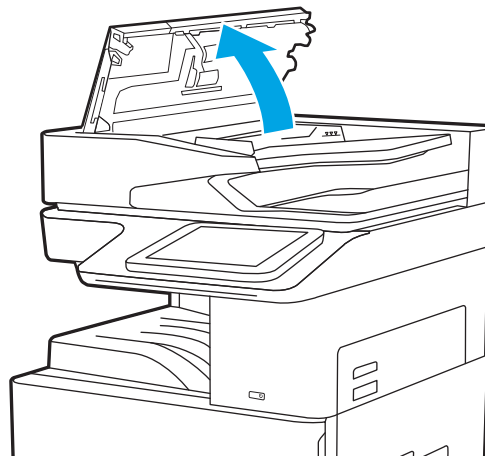
 **注記**：紙詰まりの発生回数を減らすようにする用紙のセット方法を説明するビデオを再生するには、[ここをクリック](#)してください。

1. このプリンタに対応する HP の仕様を満たす用紙だけを使用します。
2. しわ、折り目、損傷などがない用紙を使用します。必要があれば、別のパッケージの用紙を使用する。
3. 印刷またはコピーされた用紙でない、新品の用紙を使用します。
4. トレイから用紙があふれていないかどうかを確認します。あふれている場合は、用紙の束全体をトレイから取り出し、束をまっすぐ揃え、その一部をトレイに戻します。
5. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。用紙ガイドは、用紙の束にちょうど触れる位置に動かします。用紙がたわまないようにします。
6. トレイがプリンタにしっかり挿入されているかどうかを確認します。
7. 厚紙、エンボス加工された用紙、またはミシン目が入っている用紙に印刷する場合、手動用紙送り機能を利用し、一度に1枚ずつ用紙を送ります。
8. プリンタのコントロールパネルで **トレイ** メニューを開きます。トレイが用紙のタイプとサイズに合わせて適切に設定されていることを確認します。
9. 印刷環境が推奨される仕様の範囲内であることを確認します。

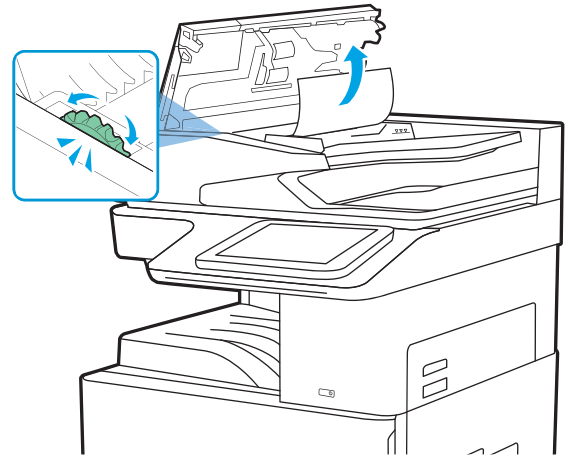
文書フィーダにおける紙詰まりの解消 - 31.13.yz

以下の情報は、文書フィーダの紙詰まりを解消する方法について説明するものです。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

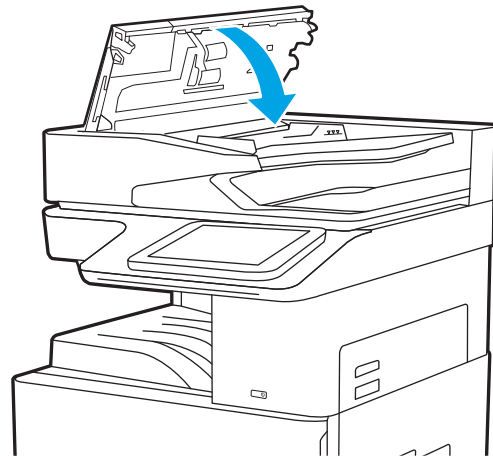
1. 文書フィーダのカバーを開けます。





2. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。詰まっている用紙を簡単に取り除くには、緑色のホイールを回します。



3. 文書フィーダのカバーを閉じます。



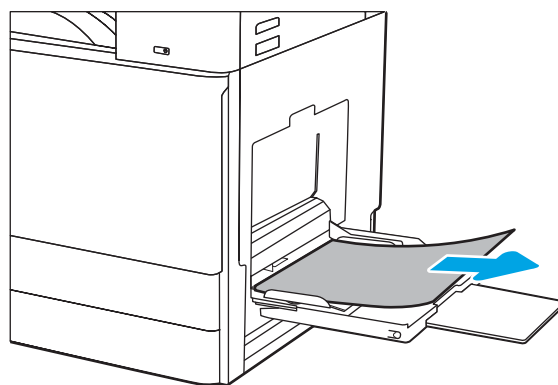
 **注記**：紙詰まりを防ぐため、文書フィーダ給紙トレイのガイドが文書に合わせて調整されており、文書が曲がっていないことを確認します。幅の狭い文書をコピーする場合は、フラットベッドスキャナを使用します。ステイプルや用紙クリップはすべて原稿から取り外してください。

 **注記**：原稿を厚手光沢紙に印刷する場合は、普通紙に印刷するよりも紙詰まりが発生しやすくなります。

トレイ 1 (汎用トレイ) の紙詰まりを取り除く - 13.A1

以下の手順を使用して、トレイ 1 (汎用トレイ) の紙詰まりを解消します。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

1. 詰まっている用紙を丁寧に取り除きます。



2. フロントドアを開けて閉め直すと、印刷が再開されます。

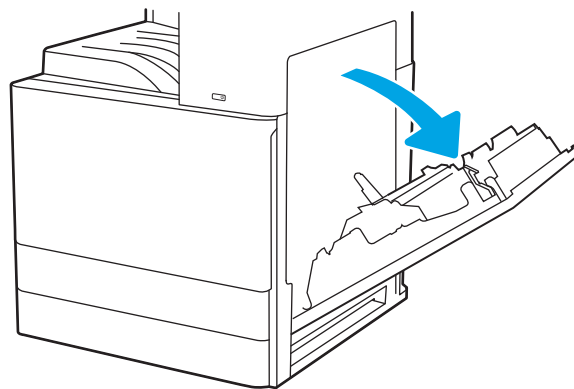
トレイ 2、トレイ 3 の紙詰まりの解消 - 13.A2、13.A3

以下の手順を使用して、トレイ 2 またはトレイ 3 に関連した紙詰まりの可能性のあるすべての場所で用紙を確認してください。紙詰まりが発生すると、コントロールパネルに、紙詰まりの解消に役立つメッセージとアニメーションが表示されることがあります。

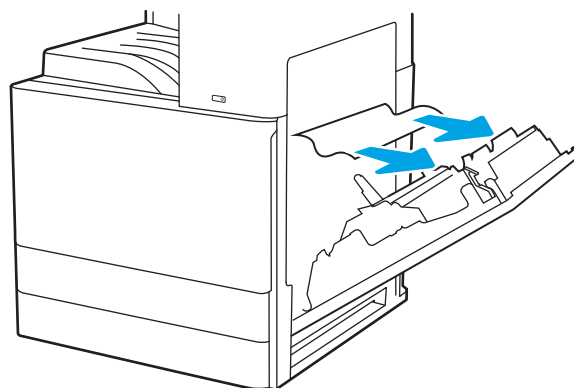
⚠ 注意： フューザは、プリンタの使用中高温になっている可能性があります。フューザが冷めるまで待ってから作業を行ってください。

📖 注記： トレイ 3 での紙詰まり解消方法はトレイ 2 と同じです。ここではトレイ 2 の図で説明します。

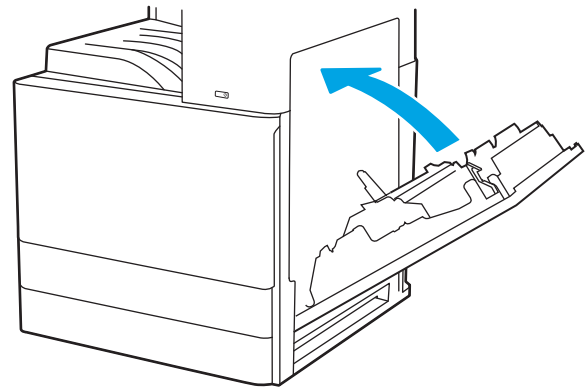
1. 右のドアを開きます。



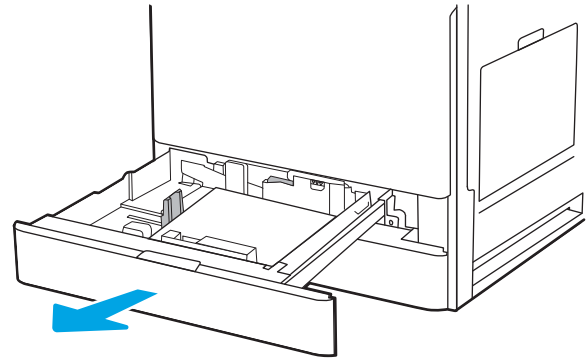
2. 詰まっているすべての用紙をゆっくり取り除きます。



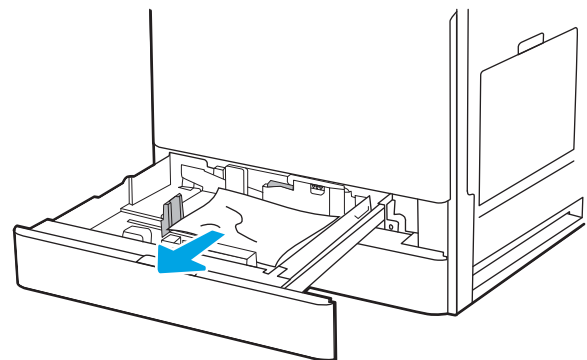
3. 右側のドアを閉じます。



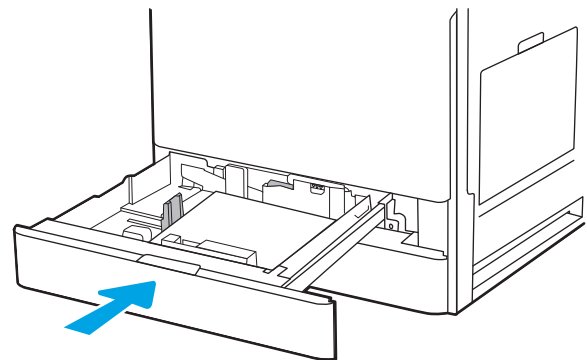
4. トレイを開きます。



5. 詰まっているすべての用紙をゆっくり取り除きます。



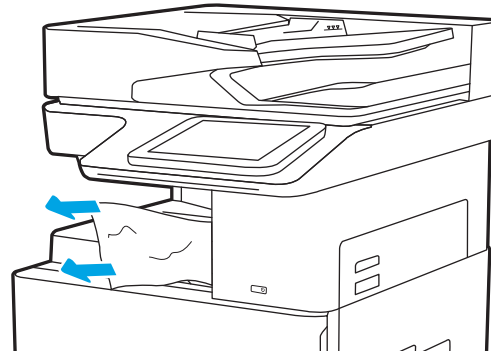
6. トレイを閉じます。印刷が自動的に再開されます。



排紙ビンの紙詰まりの解消 - 13.E1


以下の手順を使用して、排紙ビン内の紙詰まりが発生している可能性があるすべての場所で用紙の有無を確認してください。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

1. 排紙ビン内の用紙が見える場合は、上端をつかんで取り除きます。

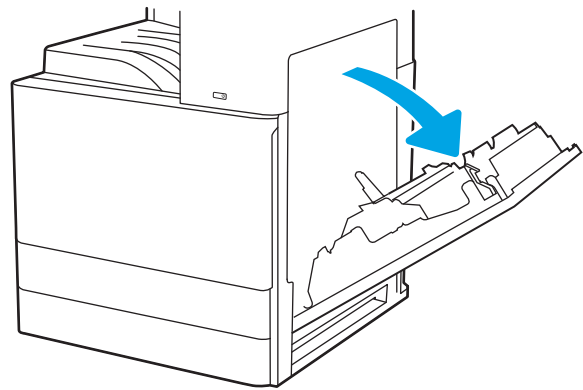


右のドアおよびフューザエリアの紙詰まりの解消 - 13.B9、13.B2、13.FF

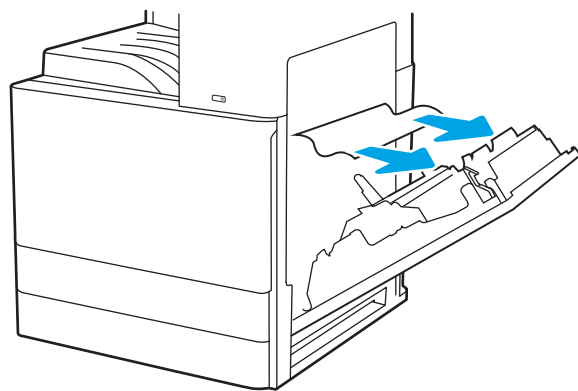
次の手順に従って、右扉およびフューザ部分での紙詰まりを解消します。詰まりが発生すると、コントロールパネルに詰まりを取り除くときに役立つ手順が表示されます。

 **注記：** プリンタの使用中はフューザが高温になります。フューザが冷めるまで待ってから詰まった紙を取り除いてください。

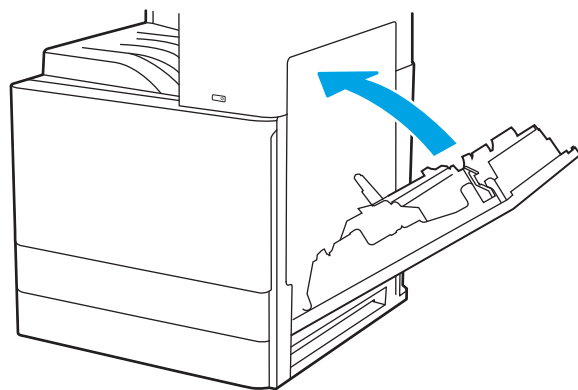
1. 右のドアを開きます。



- 詰まっているすべての用紙をゆっくり取り除きます。



- 右側のドアを閉じます。



印刷品質の問題の解決

画像品質およびカラー品質の問題を含め、印刷品質の問題を解決するには、次の情報を使用します。

- [はじめに](#)
- [印刷品質のトラブルシューティング](#)

はじめに

画像品質およびカラー品質の問題を含め、印刷品質の問題を解決するには、次の情報を使用します。

トラブルシューティングの手順は、次の問題の解決に役立ちます。

- 空白ページ
- 黒いページ
- カラーの位置が合わない
- 丸まった用紙
- 濃いまたは薄い縞
- 濃いまたは薄い縦線
- 不鮮明な印刷
- 灰色の背景または印刷が濃い
- 薄い印刷
- トナーが落ちやすい
- トナーがない
- トナーの汚れが点在している
- ゆがんだイメージ
- 汚れ
- 縞模様

印刷品質のトラブルシューティング

印刷品質の問題を解決するには、指示された順に以下の手順を試してください。

- [プリンターのファームウェアをアップデートする](#)
- [別のソフトウェア プログラムからの印刷](#)
- [印刷ジョブで使用する用紙タイプ設定の確認](#)
- [トナーカートリッジ ステータスの確認](#)
- [クリーニング ページの印刷](#)
- [トナーカートリッジを目視で検査します。](#)
- [用紙および印刷環境の確認](#)
- [別のプリントドライバで試行](#)
- [プリンタを校正してカラーを調整](#)
- [画像の不具合のトラブルシューティング](#)

特定の画像の不具合に関するトラブルシューティングを行うには、「画像の不具合のトラブルシューティング」を参照してください。

プリンターのファームウェアをアップデートする

プリンタ ファームウェアのアップグレードを試行します。

詳細については、www.hp.com/support を参照してください。

別のソフトウェア プログラムからの印刷

別のソフトウェア プログラムを使って印刷してみます。

ページが正しく印刷された場合は、印刷したソフトウェア プログラムに問題があります。

印刷ジョブで使用する用紙タイプ設定の確認

ソフトウェア プログラムから印刷しているときに、印刷されたページに汚れがある、印刷が薄いまたは濃い、用紙がカールする、トナーが点状に散らばる、トナーが固まらない、トナーが白抜けしているなどの問題が発生する場合は、用紙タイプ設定を確認します。

- [プリンタ用紙タイプ設定の確認](#)
- [用紙タイプ設定の変更 \(Windows\)](#)
- [用紙タイプ設定の確認 \(macOS\)](#)

プリンタ用紙タイプ設定の確認

プリンタのコントロールパネルで用紙タイプの設定を確認し、必要に応じて設定を変更します。

1. トレイを開きます。
2. 正しい種類の用紙がトレイにセットされていることを確認します。
3. トレイを閉じます。
4. トレイの用紙タイプ設定を確認または変更するには、コントロールパネルの手順に従います。

用紙タイプ設定の変更 (Windows)

Windows の場合の用紙タイプの設定を確認し、必要に応じて設定を変更します。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックします。
3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
4. **[用紙タイプ]** ドロップダウン リストから、用紙のタイプを選択します。
5. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで、**[OK]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

用紙タイプ設定の確認 (macOS)

macOS の場合の用紙タイプの設定を確認し、必要に応じて設定を変更します。

1. **[ファイル]** メニューをクリックし、**[印刷]** オプションをクリックします。
2. **[プリンタ]** メニューで、このプリンタを選択します。
3. **[詳細情報]** または **[部数とページ数]** をクリックします。
4. メニューのドロップダウン リストを開いて、**[用紙/品質]** メニューをクリックします。
5. **[用紙の種類]** ドロップダウン リストからタイプを選択します。
6. **[印刷]** ボタンをクリックします。

トナーカートリッジステータスの確認

次の手順に従って、トナーカートリッジの推定残量を確認し、該当する場合は、他の交換可能なメンテナンス部品の状態も確認します。

- [手順1：サプライ品ステータスページの印刷](#)
- [手順2：サプライ品ステータスのチェック](#)

手順1：サプライ品ステータスページの印刷

サプライ品ステータスページには、カートリッジのステータスが表示されます。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[レポート](#)アプリケーションに移動し、次に[レポート](#)アイコンを選択します。
2. [設定/ステータスページ](#)メニューを選択します。
3. [サプライ品ステータスページ](#)を選択し、[印刷](#)ページを選択してページを印刷します。

手順2：サプライ品ステータスのチェック

次の手順に従って、サプライ品ステータスのレポートを確認します。

1. サプライ品ステータスのレポートを確認して、トナーカートリッジの残量の割合をチェックし、該当する場合は、他の交換可能なメンテナンス部品の状態も確認します。

推定寿命に達したトナーカートリッジを使用すると、印刷品質の問題が発生する場合があります。サプライ品の残量が非常に少なくなると、サプライ品ステータスページに表示されます。HPのサプライ品の残量が下限値に達したとき、このサプライ品に対するHPのプレミアムプロテクション保証は終了します。

適切な印刷品質が得られている場合、すぐにトナーカートリッジを交換する必要はありません。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。

トナーカートリッジまたは他の交換可能なメンテナンス部品を交換する必要があると考えられる場合、サプライ品ステータスページには、HP純正品の部品番号が一覧表示されます。

2. HP純正のカートリッジを使用しているかどうかを確認します。

HP純正のトナーカートリッジには、カートリッジ上に「HP」という文字、またはHPのロゴが表示されています。HP製カートリッジの確認の詳細については、www.hp.com/go/learnaboutsuppliesを参照してください。

クリーニングページの印刷

印刷処理中に紙くず、トナー、埃がプリンタ内部にたまり、これが原因でトナーの染みやはね、汚れ、かすれ、筋、同じ汚れの繰り返しなどの印刷品質の問題が発生することがあります。

次の手順に従って、プリンタの用紙経路をクリーニングします。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[サポートツール](#)アプリケーションに移動し、次に[サポートツール](#)アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを選択します。

- [メンテナンス](#)
- [校正/クリーニング](#)
- [クリーニングページ](#)

3. [\[印刷\]](#) を選択して、ページを印刷します。

プリンタのコントロールパネルに **クリーニング中...** のメッセージが表示されます。クリーニングプロセスは数分で完了します。クリーニングプロセスが終了するまで、プリンタの電源を切らないでください。クリーニングが完了したら、印刷されたページは破棄してください。

トナーカートリッジを目視で検査します。

次の手順に従って、各トナーカートリッジを確認します。

1. トナーカートリッジをプリンタから取り外します。
2. メモリチップに損傷がないか確認します。
3. 緑色のイメージングドラムの表面を確認します。

⚠ 注意： イメージングドラムには触れないでください。イメージングドラムに指紋が付着すると印刷品質に問題が生じることがあります。

4. イメージングドラムに傷、指紋、またはその他の損傷が見られる場合は、トナーカートリッジを交換します。
5. トナーカートリッジを再度取り付け、試しに印刷を行い、問題が解決されているかどうか確認します。

用紙および印刷環境の確認

次の情報を使用して、用紙の選択および印刷環境を確認します。

- [手順1：HP仕様を満たす用紙を使用](#)
- [手順2：環境の確認](#)
- [手順3：各トレイ位置を設定](#)

手順1：HP仕様を満たす用紙を使用

HPの仕様を満たしていない用紙を使用すると、次のような印刷品質の問題が発生する場合があります。

- タイプと重量がこのプリンタでサポートされている用紙タイプを必ず使用してください。
- 傷、裂け目、しみ、ほぐれ、ほこり、しわなどがなく、端がめくれていたり折れたりしていない良質の用紙を使用します。
- 未印刷の用紙を使用します。
- ラメなどの金属を含まない用紙を使用します。
- レーザープリンタ用の用紙を使用します。インクジェット式プリンタ専用の用紙は使用しないでください。
- あまりしわのない用紙を使用します。一般に、用紙にしわが少ないほど、印刷品質が良好になります。

手順2：環境の確認

環境が印刷品質に直接影響することがあります。一般的には、これが印刷品質や給紙の問題の原因になります。次のソリューションを実行してみてください。

- 開け放した窓やドア、空調システムの排気口などの空気の流れが生じる場所から離れたところにプリンタを設置し直します。
- 温度または湿度がプリンタの仕様を超える環境にプリンタが設置されていないことを確認します。
- プリンタをキャビネットなどの密閉された場所に設置しないようにします。
- プリンタを平らで安定した面に設置します。
- プリンタの通気孔をふさがないようにします。上部も含めて、プリンタのすべての面の周囲に十分な空気が流れている必要があります。
- 空気中のごみ、ほこり、蒸気、油脂、またはその他の物質がプリンタ内部に蓄積しないようプリンタを保護します。

手順3：各トレイ位置を設定

特定のトレイから印刷したときに、印刷されたページでテキストやイメージが用紙の中心にない場合や適切な位置に調整されていない場合は、次の手順に従います。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを選択します。
 - **コピー/印刷** または **印刷**
 - **印刷品質**
 - **イメージレジストレーション**
3. **トレイ** ボタンを選択し、調整するトレイを選択します。
4. **テストページの印刷** に選択してから、印刷したページに表示されている指示に従います。
5. **テストページの印刷** を再度選択して結果を確認し、必要に応じて、さらに調整します。
6. **完了** を選択して新しい設定を保存します。

別のプリントドライバで試行

ソフトウェア プログラムから印刷しているときに、印刷ページのグラフィックスに予期しない線が印刷されている、テキストやグラフィックスが印刷されない、誤った形式または代替フォントが使用されている場合には、別のプリントドライバを試してください。

次のいずれかのドライバを HP プリンタの Web サイトからダウンロードします www.hp.com/support/colorIjE77422MFP。

ドライバ	説明
HP PCL 6 V3 ドライバ	このプリンタ固有のプリントドライバは、Windows 7 およびバージョン 3 のドライバをサポートする新しいオペレーティングシステムをサポートしています。対応オペレーティングシステムの一覧は、 www.hp.com/go/support を参照してください。
HP PCL-6 V4 ドライバ	このプリンタ固有のプリントドライバは、Windows 8.1 およびバージョン 4 のドライバをサポートする新しいオペレーティングシステムをサポートしています。対応オペレーティングシステムの一覧は、 www.hp.com/go/support を参照してください。
HP UPD PS ドライバ	<ul style="list-style-type: none"> ● Adobe® ソフトウェア プログラム、または他の高グラフィックス集約型ソフトウェアプログラムを使用して印刷する場合に推奨 ● PostScript エミュレーションからの印刷、または PostScript フラッシュフォントをサポート
HP UPD PCL 6	<ul style="list-style-type: none"> ● すべての Windows 環境での印刷に推奨 ● ほとんどのユーザーにとって、速度、印刷品質、および利用可能なプリンタ機能の面で最高レベルです。 ● Windows Graphic Device Interface (GDI) を使用して作成されているので、Windows 環境での動作が高速です。 ● PCL 5 ベースのサードパーティまたはカスタムソフトウェアプログラムと完全な互換性がない場合がある

プリンタを校正してカラーを調整

校正は、印刷品質を最適化するプリンタ機能です。

カラーの位置不良、カラーのシャドウ、ぼやけたグラフィックスなどの印刷品質の問題を解決するには、次の手順に従います。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**サポート ツール** メニューを選択します。
2. 以下のメニューを選択します：
 - **メンテナンス**
 - **校正/クリーニング**
 - **完全校正**
3. **スタート** ボタンを選択して、校正処理を開始します。

校正中 のメッセージがプリンタのコントロールパネルに表示されます。校正プロセスは2～3分で完了します。校正プロセスが終了するまで、プリンタの電源を切らないでください。

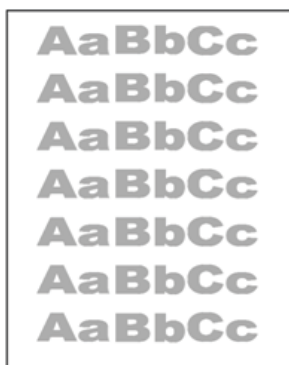
4. 校正処理が終了するまで待ちます。終了したら再度印刷してみます。

画像の不具合のトラブルシューティング

画像の不具合と、これらの不具合を解決する手順の例を確認します。

表 9-1 画像の不具合一覧のクイック リファレンス

[192 ページの表 9-9 「薄い印刷」](#)



[191 ページの表 9-7 「灰色の背景または印刷が濃い」](#)

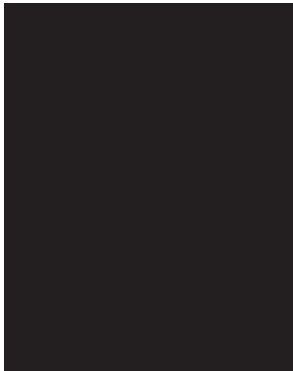


[188 ページの表 9-4 「空白ページ印刷されない」](#)



表 9-1 画像の不具合一覧のクイックリファレンス(続き)

188 ページの表 9-3 「黒いページ」



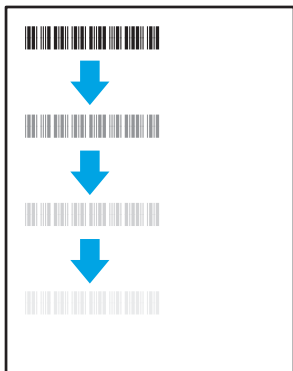
187 ページの表 9-2 「バンディングの発生」



194 ページの表 9-11 「縦線の不具合」



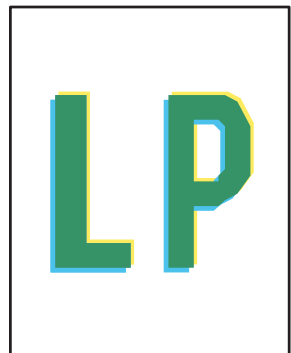
190 ページの表 9-6 「定着/フューザの不具合」



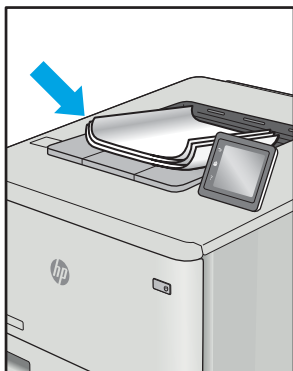
191 ページの表 9-8 「画像位置の不具合」



189 ページの表 9-5 「カラープレーンの見当不良(カラーモデルのみ)」




193 ページの表 9-10 「排紙の不具合」



画像の不具合は、どのような原因であれ、多くの場合同じ手順により解決できます。画像の不具合の問題を解決する最初の段階として、次の手順を実行します。

1. 文書を印刷します。印刷品質の不具合は、断続的に発生するものか、印刷を続けることで解決するものがあります。
2. カートリッジの状態を確認します。カートリッジが**非常にわずか**になっている場合(製品寿命期を経過した場合)、カートリッジを交換します。
3. ドライバとトレイの印刷モード設定がトレイにセットされているメディアと一致していることを確認します。異なるメディアや別のトレイを使用してみます。別の印刷モードを使用してみます。
4. プリンタがサポートされている動作温度/湿度の範囲内であることを確認してください。
5. 用紙のタイプ、サイズ、および重量がプリンタでサポートされていることを確認します。プリンタでサポートされる用紙のサイズやタイプの一覧については、プリンタのサポートページ (support.hp.com) を参照してください。

 **注記** : 「溶解」とは、トナーを用紙に定着させる印刷処理のことを意味しています。

以下の例は、短辺が最初にプリンタを通過するレターサイズの内紙について説明しています。

表 9-2 バンディングの発生

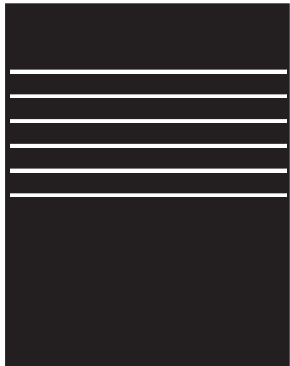
サンプル	説明	実行できる処置
	<p>ページの長さ方向に向かって繰り返して現れる暗色または明色の線で、幅は広かったり、非常に細かったりします。これらの線は、くっきりしていたり、曖昧だったりします。この不具合は、塗りつぶされた部分のみに現れます。テキストまたは印刷内容がないページでは発生しません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. 別のトレイから印刷してみます。 3. カートリッジを交換します。 4. 異なるタイプの用紙を使用します。 5. エンタープライズモデルのみ: プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、用紙タイプの調整 メニューに移動し、使用しているメディアよりも少し厚手のメディアに対応する印刷モードを選択します。これにより、印刷速度が低下して印刷品質が向上する可能性があります。 6. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-3 黒いページ


サンプル	説明	実行できる処置
	<p>印刷されたページ全体が黒くなります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. カートリッジが損傷していないか目視で確認します。 2. カートリッジが正しく装着されていることを確認します。 3. カートリッジを交換します。 4. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-4 空白ページ印刷されない


サンプル	説明	実行できる処置
	<p>ページが完全に空白で、何も印刷されていません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. カートリッジがHP純正カートリッジであることを確認します。 2. カートリッジが正しく装着されていることを確認します。 3. 別のカートリッジで印刷します。 4. 用紙トレイの用紙タイプの確認し、プリンタの設定と一致するよう調整します。必要に応じて、薄い用紙の種類を選択します。 5. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-5 カラー プレーン の見当不良 (カラー モデルのみ)


サンプル	説明	実行できる処置
	<p>1つまたは複数のカラー プレーンと、他のカラー プレーンとの位置調整が不良です。この見当エラーは通常、イエローで発生します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. プリンタのコントロールパネルで、プリンタを校正します。 3. カートリッジが、非常にわずかになっている、または印刷物が激しく色あせている場合、カートリッジを交換してください。 4. プリンタのコントロールパネルから、校正の復元機能を使用して、プリンタの校正設定を出荷時のデフォルトにリセットします。 5. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-6 定着/フューザの不具合

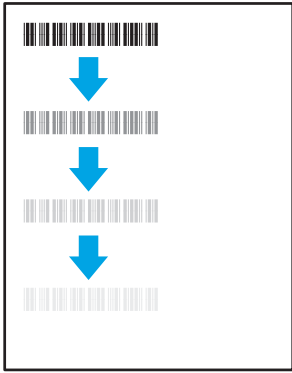
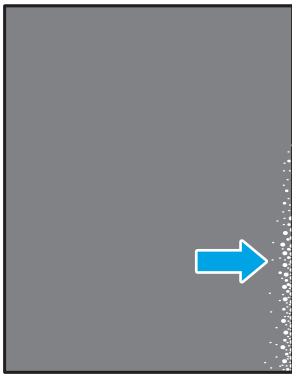
サンプル	説明	実行できる処置
	<p>わずかなシャドウ(オフセット)のある画像が用紙に沿って繰り返し現れます。この画像は、繰り返すごとに徐々に消えていきます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. 用紙トレイの用紙タイプの確認し、プリンタの設定と一致するよう調整します。必要に応じて、薄い用紙の種類を選択します。 3. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。
	<p>トナーがページの端に沿って付着します。この問題は多くの場合、印刷量の多いジョブのフチの部分に、薄いメディアを使用する場合に発生しますが、ページのどの部分でも発生します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. 用紙トレイの用紙タイプの確認し、プリンタの設定と一致するよう調整します。必要に応じて、厚手の用紙に変えてみてください。 3. エンタープライズモデルのみ: プリンタのコントロールパネルから、最小マージン メニューに移動し、標準 を選択します。文書を印刷します。 4. エンタープライズモデルのみ: プリンタのコントロールパネルで、自動的にマージンを含む を選択し、文書を再印刷します。 5. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-7 灰色の背景または印刷が濃い


サンプル	説明	実行できる処置
	<p>画像やテキストが期待より暗かったり、背景がグレーになったりします。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. トレイの用紙がプリンタで使用済みでないことを確認します。 2. 異なるタイプの用紙を使用します。 3. 文書を印刷します。 4. モノクロモデルのみ: プリンタのコントロールパネルのホーム画面から、トナー濃度の調整メニューに移動し、トナー濃度のレベルを下げます。 5. プリンタがサポートされている動作温度/湿度の範囲内であることを確認してください。 6. カートリッジを交換します。 7. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-8 画像位置の不具合


サンプル	説明	実行できる処置
	<p>画像が中心に位置していない、またはページ上で傾いています。この不具合は、用紙がトレイから引き出された用紙が用紙経路を通るように適切に配置されていない場合に発生します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. 用紙を取り出し、トレイをセットし直します。すべての用紙の端がすべての辺で平らになっていることを確認します。 3. 用紙束の高さがトレイの上限線を超えないようにしてください。トレイに用紙を入れすぎないでください。 4. トレイの用紙ガイドの位置を用紙に適したサイズに合わせて調整します。用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。 5. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-9 薄い印刷


サンプル	説明	実行できる処置
	<p>ページ全体の印刷内容が薄く、色あせています。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. カートリッジを取り外して振って、トナーを拡散させます。 3. モノクロモデルのみ:コントロールパネルおよびプリンタドライバの両方で EconoMode の設定が無効になっていることを確認します。 4. カートリッジが正しく装着されていることを確認します。 5. サプライ品ステータスページを印刷し、カートリッジの寿命と使用状況を確認します。 6. カートリッジを交換します。 7. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-10 排紙の不具合

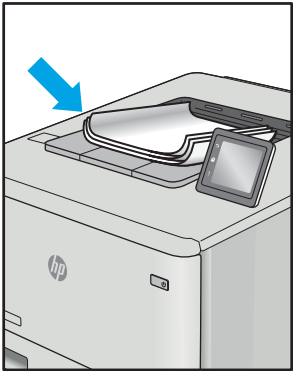
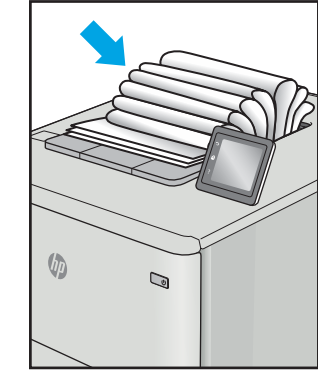
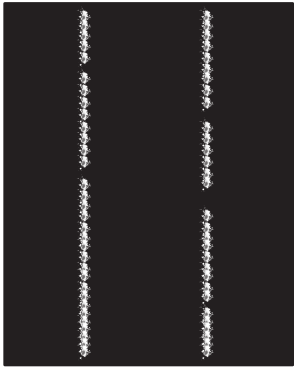
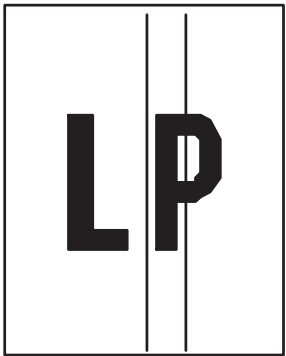
サンプル	説明	実行できる処置
	<p>印刷された用紙の端が反り返っています。反り返りは、用紙の短辺または長辺に沿って発生します。反り返りには2つのタイプがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 正の反り返り：用紙が印刷面に向かって反り返ります。この不具合は、乾燥した環境で、または印刷量の多いページを印刷すると発生します。 ● 負の反り返り：用紙が印刷面とは反対方向に反り返ります。この不具合は、湿度の高い環境で、または印刷量の少ないページを印刷すると発生します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. 正の反り返り：プリンタのコントロールパネルで、厚手の用紙タイプを選択します。厚手の用紙タイプでは、印刷時に温度が上がります。 負の反り返り：プリンタのコントロールパネルで、薄い用紙タイプを選択します。薄い用紙タイプでは、印刷時に温度が下がります。事前に用紙を乾燥した環境で保管するか、新たに開封した用紙を使用します。 3. 両面モードで印刷します。 4. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。
	<p>用紙が排紙トレイにきちんと積まれません。紙積みが平らにならずに傾むく、またはページがトレイから押し出されて床に落ちる場合があります。この不具合は、次のいずれかの条件が原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 極端に反り返った用紙 ● トレイの用紙のしわや変形 ● 標準ではない用紙タイプ(封筒など) ● 排紙トレイがいっぱいになっている 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. 排紙ビンの延長トレイを伸ばします。 3. 極端に反り返った用紙が原因の場合、用紙の反り返りのトラブルシューティング手順を参照します。 4. 異なるタイプの用紙を使用します。 5. 新たに開封した用紙を使用してください。 6. トレイがいっぱいになる前に、排紙トレイから用紙を取り出します。 7. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-11 縦線の不具合

サンプル	説明	実行できる処置
	<p>明るい縦方向の線が、通常はページの長さ全体にわたって現れます。この不具合は、塗りつぶされた部分のみに現れます。テキストまたは印刷内容がないページでは発生しません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. カートリッジを取り外して振って、トナーを拡散させます。 3. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。 <p>注記: 印刷環境が仕様の温度または湿度の範囲外の場合、薄い縦線または濃い縦線の両方が現れます。許容される温度や湿度レベルについては、プリンタの環境仕様を参照してください。</p>
	<p>用紙の長さに沿って発生する濃い垂直の線。この不具合は、どのようなページでも (塗りつぶしや印刷内容のないページ) 発生する可能性があります。カラー モデルでは、これらの線または縞模様は中間転写ベルトのクリーニング ページにも現れます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書を印刷します。 2. カートリッジを取り外して振って、トナーを拡散させます。 3. クリーニングページを印刷します。 4. カートリッジのトナー残量を確認します。 5. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

コピーのイメージ品質を向上させる

プリンタのコピー品質に問題がある場合、以下に示すソリューションを順番に実行して問題を解決してください。

- [スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する](#)
- [スキャナの校正](#)
- [用紙設定を確認する](#)
- [イメージ調整設定を確認する](#)
- [テキストまたは画像に合わせてコピー品質を最適化する](#)
- [最小マージンコピー](#)

まず、次のシンプルな手順を試してください。

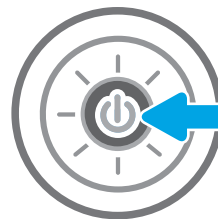
- 文書フィーダではなく、フラットベッド スキャナを使用します。
- 高い品質の原稿を使用します。
- 文書フィーダを使用する場合は、画像が不鮮明になったり歪んだりしないように、用紙ガイドを使用して、原稿をフィーダに正しく設定します。

依然として問題が残る場合は、次のソリューションも試してください。これらのソリューションを実行しても問題が解決されない場合は、「印刷品質の改善」でその他のソリューションを参照してください。

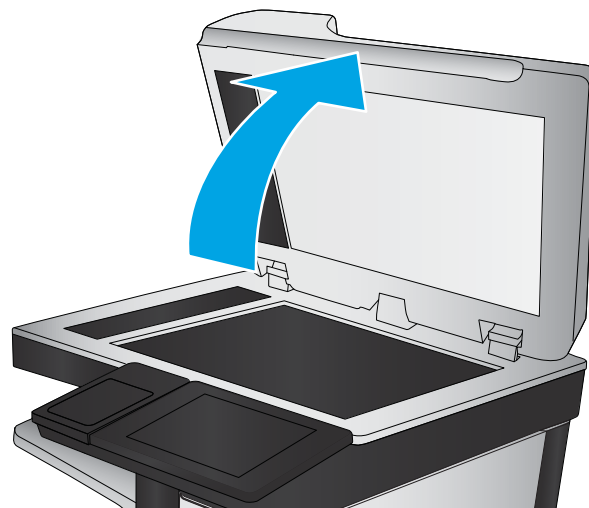
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する

時間が経つにつれ、スキャナのガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。印刷したページに筋状の汚れ、不適切な線、トナーの黒い汚れ、印刷品質の低下、不鮮明なテキストなどの問題がある場合は、次の手順を使用してスキャナをクリーニングします。

1. プリンタの電源ボタンをオフにして、コンセントから電源ケーブルを外します。



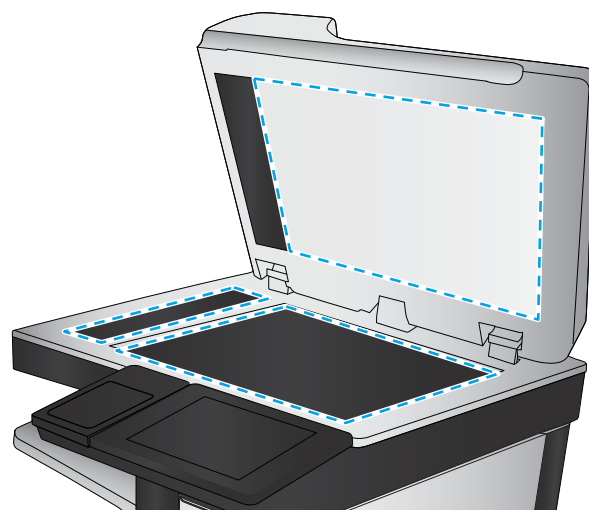
2. スキャナカバーを開きます。



3. 非研磨性ガラスクリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板と文書フィーダ部分をクリーニングします。

注意：プリンタのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。

注記：文書フィーダを使用すると、読み取った文書が筋状に汚れる問題が発生している場合は、スキャナの左側にある小さいガラスストリップをクリーニングしてください。



4. しみが残らないように、乾いたセーム革またはセルローズ スポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。

スキャナの校正

イメージがページの正しい位置にコピーされない場合は、次の手順に従ってスキャナを校正します。

 **注記：**文書フィーダを使用する場合には、給紙トレイのガイドを原稿に合わせて調整します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、サポートツールアプリケーションに移動し、次にサポートツールアイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。

- [メンテナンス](#)
 - [校正/クリーニング](#)
 - [スキャナの校正](#)
3. [スタート](#) ボタンをタッチして、校正処理を開始します。画面の指示に従います。
 4. 校正処理が終了するまで待ちます。終了したら再度コピーを試します。

用紙設定を確認する

コピーしたページに汚れがある、印刷が不鮮明または濃い、用紙が丸まる、または顔料が印刷されない個所がある場合には、次の手順に従います。

- [用紙選択オプションを確認します。](#)

用紙選択オプションを確認します。

次の手順に従って、用紙選択オプションを確認します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[コピー](#) アプリケーションに移動し、次に [コピー](#) アイコンを選択します。
2. [オプション](#) を選択し、[用紙の選択](#) までスクロールして選択します。
3. [用紙サイズ](#) を選択して、事前定義オプションのいずれかを選択します。
4. [用紙タイプ](#) を選択して、事前定義オプションのいずれかを選択します。
5. [用紙トレイ](#) を選択して、事前定義オプションのいずれかを選択します。
6. [完了](#) を選択し、用紙選択オプションを保存します。

イメージ調整設定を確認する

以下の追加の設定を調整して、コピー品質を改善します。

- [\[シャープネス\]](#): イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。
 - [\[濃さ\]](#): スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。
 - [\[コントラスト\]](#): ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。
 - [背景の除去](#): スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。
 - [自動トーン](#): Flow プリンタのみ。[濃さ](#)、[コントラスト](#)、および [背景の除去](#) の設定がスキャンしたドキュメントに最も適した値となるように自動的に調整されます。
1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、[コピー](#) アプリケーションに移動し、次に [コピー](#) アイコンを選択します。
 2. [オプション](#) を選択し、[イメージ調整](#) までスクロールして選択します。
 3. スライダを調節してレベルを設定し、[完了](#) を選択します。
 4. [コピー](#) を選択してコピー ジョブを開始します。

 **注記**: これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

テキストまたは画像に合わせてコピー品質を最適化する

テキスト、グラフィックス、または写真など、コピー中の画像タイプに合わせてコピー ジョブを最適化します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** アプリケーションに移動し、次に **コピー** アイコンを選択します。
2. **オプション** を選択し、**テキスト/画像の最適化** を選択します。
3. 次のいずれかの事前定義オプションを選択します。
4. **コピー** を選択してコピー ジョブを開始します。

 **注記** : これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

最小マージンコピー

原稿が用紙の端近くに印刷される場合は、この機能を使用して、コピーの端にシャドウが印刷されるのを防ぎます。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**コピー** アプリケーションに移動し、次に **コピー** アイコンを選択します。
2. **オプション** を選択し、**Edge-To-Edge** を選択します。
3. 原稿が用紙の端近くに印刷される場合は、**最小マージン出力** を選択します。
4. **コピー** を選択してコピー ジョブを開始します。

スキャンのイメージ品質を向上させる

スキャンした画像の品質を向上させるため、次の基本的なソリューションを試してください。

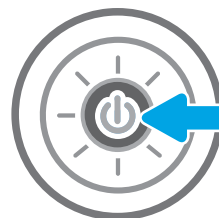
- [スキャナガラスにごみや汚れがないか検査する](#)
- [解像度設定を確認する](#)
- [カラー設定を確認する](#)
- [イメージ調整設定を確認する](#)
- [テキストまたは画像のスキャン品質を最適化する](#)
- [出力品質設定を確認する](#)
- 文書フィーダではなく、フラットベッド スキャナを使用します。
- 高い品質の原稿を使用します。
- 文書フィーダを使用する場合は、画像が不鮮明になったり歪んだりしないように、用紙ガイドを使用して、原稿をフィーダに正しく設定します。

依然として問題が残る場合は、次のソリューションも試してください。これらのソリューションを実行しても問題が解決されない場合は、「印刷品質の改善」でその他のソリューションを参照してください。

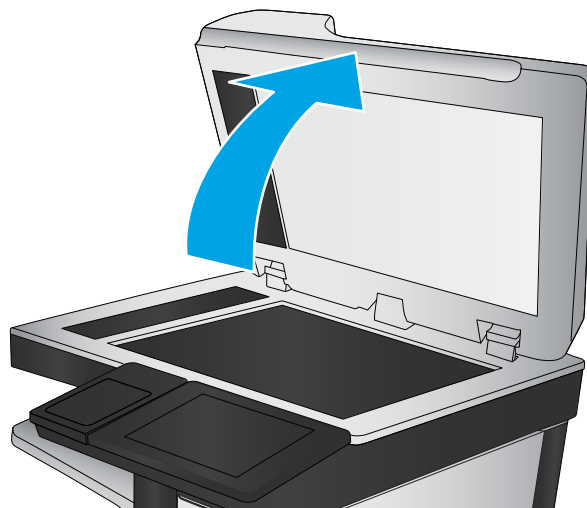
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する

時間が経つにつれ、スキャナのガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。印刷したページに筋状の汚れ、不適切な線、トナーの黒い汚れ、印刷品質の低下、不鮮明なテキストなどの問題がある場合は、次の手順を使用してスキャナをクリーニングします。

1. プリンタの電源ボタンをオフにして、コンセントから電源ケーブルを外します。



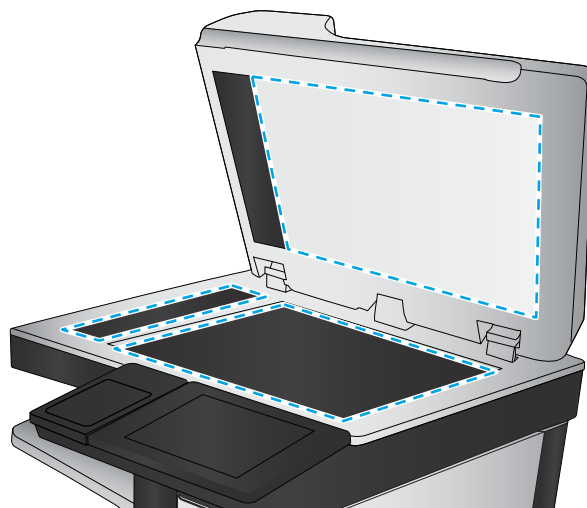
2. スキャナ カバーを開きます。



3. 非研磨性ガラスクリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板と文書フィーダ部分をクリーニングします。

注意：プリンタのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。

注記：文書フィーダを使用すると、読み取った文書が筋状に汚れる問題が発生している場合は、スキャナの左側にある小さいガラスストリップをクリーニングしてください。



4. しみが残らないように、乾いたセーム革またはセルロース スポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。

解像度設定を確認する

次の手順に従って、解像度設定を調整します。解像度を高い値に設定すると、ファイルサイズが大きくなり、スキャン時間が長くなります。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**スキャン** アプリケーションに移動し、次に **スキャン** アイコンを選択します。
2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。
 - **電子メールにスキャン**
 - **スキャンデータをネットワークフォルダに送信**

- スキャンしてUSBドライブに保存
 - SharePoint® にスキャン
3. オプションを選択し、ファイルのタイプと解像度を選択します。
 4. 事前定義済みの解像度オプションのいずれかを選択し、完了を選択します。
 5. 送信または保存を選択してスキャンを開始します。

カラー設定を確認する

次の手順に従って、カラー設定を調整します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、スキャンアプリケーションに移動し、次にスキャンアイコンを選択します。
2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。
 - デバイスメモリに保存
 - スキャンして電子メールで送信
 - スキャンデータをネットワークフォルダに送信
 - スキャンしてUSBデバイスに保存する
 - SharePoint® にスキャン
3. オプション ボタンをタッチします。
4. [オプション] ペインで、カラー/モノクロまでスクロールして選択します。
5. 次のいずれかの事前定義オプションを選択します。
6. 送信 ボタンをタッチします。

イメージ調整設定を確認する

以下の追加の設定を調整して、スキャン品質を改善します。

- [シャープネス]: イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。
 - [濃さ]: スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。
 - [コントラスト]: ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。
 - 背景の除去: スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。
 - 自動トーン: Flow プリンタのみ。濃さ、コントラスト、および背景の除去の設定がスキャンしたドキュメントに最も適した値となるように自動的に調整されます。
1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、スキャンアプリケーションに移動し、次にスキャンアイコンを選択します。
 2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。

- スキャンして電子メールで送信
 - スキャンデータをネットワークフォルダに送信
 - スキャンしてUSBドライブに保存
 - スキャンしてジョブ保存
 - SharePoint® にスキャン
3. オプションを選択し、イメージ調整を選択します。
 4. スライダを調節してレベルを設定し、完了を選択します。
 5. 送信または保存を選択してスキャンを開始します。

 **注記**：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

テキストまたは画像のスキャン品質を最適化する

テキスト、グラフィックス、または写真など、スキャン中の画像タイプに合わせてスキャンジョブを最適化します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、スキャンアプリケーションに移動し、次にスキャンアイコンを選択します。
2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。
 - スキャンして電子メールで送信
 - スキャンデータをネットワークフォルダに送信
 - スキャンしてUSBドライブに保存
 - スキャンしてジョブ保存
 - SharePoint® にスキャン
3. オプションを選択し、テキスト/画像の最適化を選択します。
4. 次のいずれかの事前定義オプションを選択します。
5. 送信または保存を選択してスキャンを開始します。

 **注記**：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

出力品質設定を確認する

この設定では、ファイル保存時の圧縮レベルを調整します。最高の品質を確保するには、最高値の設定を選択します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、スキャンアプリケーションに移動し、次にスキャンアイコンを選択します。
2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。

- 電子メールにスキャン
 - スキャンデータをネットワークフォルダに送信
 - スキャンしてUSBドライブに保存
 - SharePoint® にスキャン
3. オプションを選択し、ファイルのタイプと解像度を選択します。
 4. 事前定義済みの品質およびファイルサイズオプションのいずれかを選択し、完了を選択します。
 5. 送信または保存を選択してスキャンを開始します。

ファックスの画像品質の向上

プリンタのファックス品質に問題がある場合は、次のソリューションを記載されている順に実行して問題を解決してください。

- [スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する](#)
- [送信ファックスの解像度設定を確認する](#)
- [イメージ調整設定を確認する](#)
- [テキストまたは画像のファックス品質を最適化する](#)
- [エラー修正設定を確認する](#)
- [用紙の大きさに合わせる設定を確認する](#)
- [異なるファックス機に送信する](#)
- [送信側のファックス機を確認する](#)

まず、次のシンプルな手順を試してください。

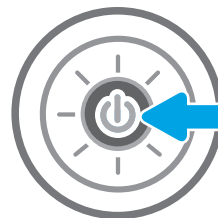
- 文書フィーダではなく、フラットベッド スキャナを使用します。
- 高い品質の原稿を使用します。
- 文書フィーダを使用する場合は、画像が不鮮明になったり歪んだりしないように、用紙ガイドを使用して、原稿をフィーダに正しく設定します。

依然として問題が残る場合は、次のソリューションも試してください。これらのソリューションを実行しても問題が解決されない場合は、「印刷品質の改善」でその他のソリューションを参照してください。

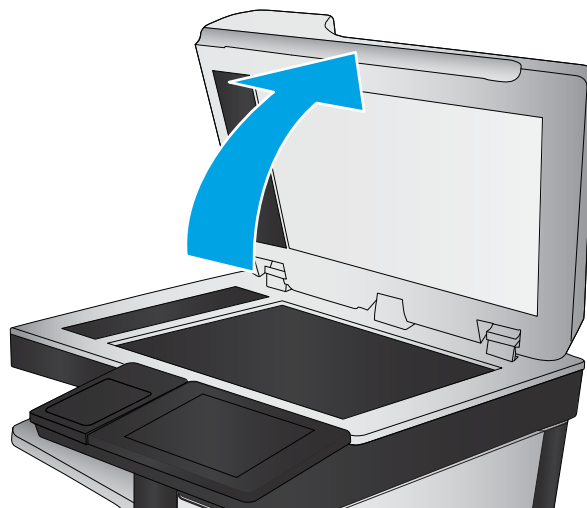
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する

時間が経つにつれ、スキャナのガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。印刷したページに筋状の汚れ、不適切な線、トナーの黒い汚れ、印刷品質の低下、不鮮明なテキストなどの問題がある場合は、次の手順を使用してスキャナをクリーニングします。

1. プリンタの電源ボタンをオフにして、コンセントから電源ケーブルを外します。



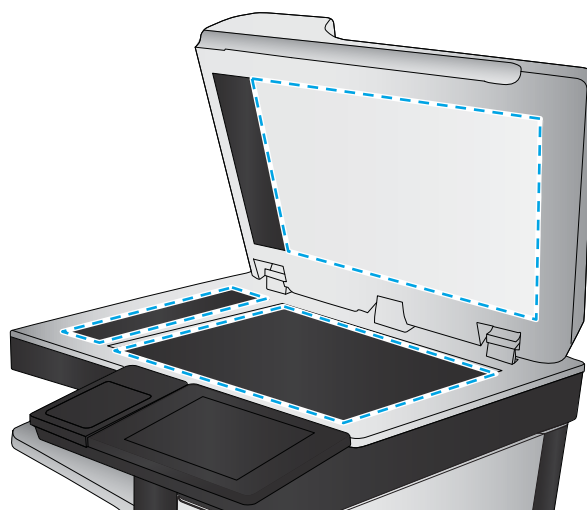
2. スキャナカバーを開きます。



3. 非研磨性ガラスクリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板と文書フィーダ部分をクリーニングします。

注意：プリンタのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。


注記：文書フィーダを使用すると、読み取った文書が筋状に汚れる問題が発生している場合は、スキャナの左側にある小さいガラスストリップをクリーニングしてください。



4. しみが残らないように、乾いたセーム革またはセルローズ スポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。

送信ファックスの解像度設定を確認する

次の手順に従って送信ファックスの解像度を調整します。

 **注記：** 解像度を上げると、ファックスのサイズが大きくなり、送信時間が長くなります。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**ファックス** アプリケーションに移動し、次に**ファックス** アイコンを選択します。
2. **オプション** を選択します。
3. [オプション] ペインで、**解像度** までスクロールして選択します。
4. 事前定義オプションの1つを選択してから、**送信** を選択してファックスを送信します。

イメージ調整設定を確認する

以下の追加の設定を調整して、送信ファックスの品質を改善します。

- **[シャープネス]**: イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。
 - **[濃さ]**: スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。
 - **[コントラスト]**: ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。
 - **背景の除去**: スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。
 - **自動トーン**: Flow プリンタのみ。**濃さ**、**コントラスト**、および**背景の除去**の設定がスキャンしたドキュメントに最も適した値となるように自動的に調整されます。
1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**ファックス**アプリケーションに移動し、次に**ファックス**アイコンを選択します。
 2. **オプション**を選択します。
 3. [オプション]ペインで、**イメージ調整**までスクロールして選択します。
 4. スライダを調節してレベルを設定し、**完了**を選択します。
 5. **送信**を選択するとファックスが送信されます。

 **注記**: これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

テキストまたは画像のファックス品質を最適化する

テキスト、グラフィックス、または写真など、スキャン中の画像タイプに合わせてファックスジョブを最適化します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**ファックス**アプリケーションに移動し、次に**ファックス**アイコンを選択します。
2. **オプション**を選択します。
3. [オプション]ペインで、**テキスト/画像の最適化**までスクロールして選択します。
4. 次のいずれかの事前定義オプションを選択します。
5. **送信**を選択するとファックスが送信されます。

 **注記**: これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

エラー修正設定を確認する

[エラー修正モード]設定が無効になっている可能性があり、それが原因で印刷品質が低下している可能性があります。この設定を再度有効にするには、次の手順に従います。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定**アプリケーションに移動し、**設定**アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。

- ファックス
- ファックス送信設定
- 一般的なファックス送信設定

3. エラー修正モード オプションを選択します。完了 ボタンをタッチします。

用紙の大きさに合わせる設定を確認する

用紙の大きさに合わせる設定が有効になっており、受信したファックスがデフォルト ページサイズよりも大きい場合は、イメージがページに収まるように縮小されます。この設定が無効になっていると、サイズの大きいイメージが複数のページに分割されます。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス
 - ファックス受信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 用紙の大きさに合わせる
3. 設定を有効にするには、オン オプションを選択し、無効にするには、オフ オプションを選択します。

異なるファックス機に送信する

この問題は、ファックス機の設定またはサプライ品のステータスが原因である可能性があります。

異なるファックス機にファックス送信を試行します。ファックス品質が良好な場合、問題は最初の受信者のファックス機の設定またはサプライ品の状態に関係しています。

送信側のファックス機を確認する

送信側のファックス機を確認するには、以下を試してください。

送信側に別のファックス機から送信するように依頼します。ファックス品質が向上する場合は、送信側のファックス機に問題があります。別のファックス機を使用できない場合は、送信側に次の変更を検討するよう依頼します。

- 原稿を白地 (色付きでなく) にする。
- ファックスの解像度、品質レベル、またはコントラストの設定を高くする。
- 可能な場合には、コンピュータのソフトウェア プログラムからファックスを送信する。


ファックスに関する問題の解決

プリンタのファックス機能に関連する問題を解決するには、次のセクションを使用します。

- [ファックスの問題を解決するためのチェックリスト](#)
- [一般的なファックスの問題](#)


ファックスの問題を解決するためのチェックリスト

次のチェックリストを使用して、ファックスに関する問題の発生原因を突き止めてください。

- [どのような種類の電話回線を使用していますか？](#)
 - [サージ保護装置を使用していますか？](#)
 - [電話会社が提供する音声メッセージサービスまたは留守番電話を使用していますか？](#)
 - [電話回線に割り込み通話機能はありますか？](#)
 - [ファクスアクセサリのステータスの確認](#)
 - **ファクスアクセサリに付属のファクスケーブルを使用していますか？**このファクスアクセサリは、付属のファクスケーブルを使用して RJ11 仕様および機能仕様への準拠がテストされています。その他のファクスケーブルは使用しないでください。アナログファクスアクセサリにはアナログのファクスケーブルが必要です。また、アナログの電話接続も必要です。
 - **ファクス/電話線コネクタがファクスアクセサリの差し込み口に接続されていますか？**電話ジャックが差し込み口にしっかりと接続されていることを確認してください。コネクタをカチッと音がするまで差し込み口に挿入します。
-
-  **注記：**フォンジャックがネットワークポートではなくファクスポートに接続されていることを確認してください。これらのポートは類似しています。
-
- **壁の電話ジャックは正常に機能していますか？**壁のジャックに電話を接続して、ダイアルトーンが聞こえることを確認してください。ダイアルトーンが聞こえて、電話をかけたり受けたりできますか？

どのような種類の電話回線を使用していますか？

使用する電話回線のタイプを確認し、その回線タイプの推奨事項を確認します。

- **専用回線：**ファクスの送受信に標準的なファクス/電話回線が割り当てられています。
-
-  **注記：**電話回線はプリンタファクス専用とし、他の種類の電話装置と共有しないでください。たとえば、警備会社への通知に電話回線を使う警報システムなどとの回線の共有は避けます。
-
- **PBX システム：**ビジネス環境の電話システム。標準的な家庭用電話とファクスアクセサリではアナログ電話信号を使用します。一部の PBX システムはデジタルであるため、ファクスアクセサリと互換性がない場合があります。ファクス機をデジタル PBX システムに接続するには、インタフェースのアナログ電話アダプタ (ATA) が必要になる場合があります。
 - **ロールオーバー回線：**最初に着信する回線が通話中の場合に、新たにかかってきた電話を次の使用可能な回線に「ロールオーバー」する電話システム機能。最初に着信する電話回線にプリンタを接続してください。ファクスアクセサリは、応答するまでの呼び出し回数設定で設定されている回数だけ呼び出し音が鳴った後に電話に応答します。

サージ保護装置を使用していますか？

壁のジャックとファクスアクセサリ間でサージ保護装置を使用すると、電話線を流れる電流からファクスアクセサリを保護できます。このような装置が原因となって電話信号の品質が低下し、ファクス通信に問題が発生する場合があります。

ファクスの送受信に問題があり、このような装置を使用している場合は、壁の電話ジャックにプリンタを直接接続して、問題の原因がサージ保護装置であるかどうかを確認してください。

電話会社が提供する音声メッセージサービスまたは留守番電話を使用していますか？

メッセージサービスの呼び出し回数設定がファックスアクセサリの呼び出し回数設定よりも少ない場合は、メッセージサービスが呼び出しに回答するため、ファックスアクセサリでファックスを受信できません。

ファックスアクセサリの呼び出し回数設定がメッセージサービスの呼び出し回数設定よりも少ない場合は、ファックスアクセサリですべての呼び出しに回答します。

電話回線に割り込み通話機能はありますか？

ファックス電話回線で割り込み通話機能がアクティブになっていると、割り込み通知によって進行中のファックスコールが中断され、通信エラーが発生する場合があります。

ファックス電話回線の割り込み通話機能がアクティブではないことを確認してください。


ファックスアクセサリのステータスの確認

アナログファックスアクセサリが機能していないと思われる場合は、[設定ページ](#) レポートを印刷してステータスを確認します。

1. ホーム画面で、[レポート](#) までスクロールして選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [設定/ステータスページ](#)
 - [設定ページ](#)
3. [印刷](#) ボタンをタッチしてレポートを印刷するか、[表示](#) ボタンをタッチしてレポートを画面に表示します。レポートは、数ページで構成されています。

 **注記：** プリンタの IP アドレスまたはホスト名は、[Jetdirect](#) ページに記載されています。

設定ページのファックスアクセサリ ページで、[ハードウェア情報] という見出しの下にある [モデムステータス] を確認します。次の表は、そのステータスと考えられる解決策を示しています。

 **注記：** ファックスアクセサリ ページが印刷されない場合は、アナログファックスアクセサリに問題がある可能性があります。LAN ファックスまたはインターネット ファックスを使用している場合には、それらの設定によって機能が無効になっている可能性があります。

動作中/使用可能 ¹	アナログファックスアクセサリが取り付けられており、使用可能な状態になっています。
動作中/使用不可 ¹	<p>ファックスアクセサリは取り付けられていますが、必要なファックス設定がまだ指定されていません。</p> <p>ファックスアクセサリが取り付けられており、動作していますが、HP Digital Sending ユーティリティによってプリンタのファックス機能が無効になっているか、LAN ファックスが有効になっています。LAN ファックスを有効にすると、アナログファックス機能は無効になります。LAN ファックスとアナログファックスのどちらかのファックス機能のみを有効にすることができます。</p> <p>注記： LAN ファックスが有効になっていると、プリンタのコントロールパネルの ファックスをスキャン 機能を利用できません。</p>

停止中/使用可能/使用不可 ¹	ファームウェアの障害が検出されました。ファームウェアをアップグレードします。
破損/使用可能/使用不可 ¹	ファックスアクセサリでエラーが発生しました。ファックスアクセサリカードを再度取り付けて、ピンが曲がっていないか確認します。ステータスが「破損」のままである場合は、アナログファックスアクセサリカードを交換してください。

¹ 「使用可能」は、アナログファックスアクセサリが使用可能でオンの状態であることを示します。「使用不可」は、LANファックスが使用可能であることを示します(アナログファックスはオフ)。

一般的なファックスの問題

ファックスに関する一般的な問題の一部を以下に示します。

- [ファックスを送信できない](#)
- [ファックスアドレス帳ボタンが表示されない](#)
- [HP Web Jetadmin のファックス設定が見つからない](#)
- [オーバーレイを有効にしても、ヘッダがページ上部に付加される](#)
- [受信者ボックスに名前と番号が混在している](#)
- [1ページのファックスが2ページにわたって印刷される](#)
- [ファックスの途中で文書フィードにある文書が止まる](#)
- [ファックスアクセサリの音量が大きすぎるか小さすぎる](#)

ファックスを送信できない

ファックスの問題を確認し、推奨されるソリューションを試してください。
JBIG が有効になっていますが、受信ファックス機に JBIG 機能がありません。
[JBIG] 設定をオフにします。

ファックスアドレス帳ボタンが表示されない

ファックスの問題を確認し、推奨されるソリューションを試してください。
選択した連絡先リスト内のどの連絡先にも、ファックス情報が関連付けられていません。必要なファックス情報を追加します。

HP Web Jetadmin のファックス設定が見つからない

ファックスの問題を確認し、推奨されるソリューションを試してください。
HP Web Jetadmin のファックス設定はデバイスのステータス ページのドロップダウン メニューにあります。
ドロップダウン メニューから **[デジタル送信とファックス]** を選択します。

オーバーレイを有効にしても、ヘッダがページ上部に付加される

このファックスの問題は、正常な動作の一部です。
すべての転送されるファックスのページ上部にオーバーレイヘッダが付加されます。
これは正常な動作です。

受信者ボックスに名前と番号が混在している

このファックスの問題は、正常な動作の一部です。
ソース データに応じて、名前と数字の両方が表示される場合があります。ファックスアドレス帳は名前を示し、他のすべてのデータベースは数字を示します。

これは正常な動作です。

1 ページのファックスが2 ページにわたって印刷される

ファックスの問題を確認し、推奨されるソリューションを試してください。

ファックスヘッダーがファックスの上部に付加されると、テキストが2 ページ目に押し出されます。

1 ページのファックスを1 ページに印刷するには、オーバーレイヘッダーをオーバーレイモードに設定するか、用紙の大きさに合わせる設定を調整します。

ファックスの途中で文書フィーダにある文書が止まる

ファックスの問題を確認し、推奨されるソリューションを試してください。

文書フィーダで紙詰まりしています。

詰まった紙を取り除いてから、もう一度ファックスします。

ファックスアクセサリの音量が大きすぎるか小さすぎる

ファックスの問題を確認し、推奨されるソリューションを試してください。

音量設定を調整する必要があります。

[ファックスの送信設定](#) メニューおよび [ファックスの受信設定](#) メニューで音量を調整します。

USB フラッシュ ドライブからの応答がない

USB ポートは、デフォルトで無効になっています。この機能を使用する際は、USB ポートを有効にしてください。

- [方法 1: プリンタのコントロールパネルから USB ポートを有効化](#)
- [方法 2: HP 内蔵 Web サーバから USB ポートを有効化 \(ネットワークに接続しているプリンタのみ\)](#)

ポートを有効にするには、次のいずれかの方法を実行します。



方法 1: プリンタのコントロールパネルから USB ポートを有効化


プリンタのコントロールパネルを使用して、印刷用 USB ポートを有効にします。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、**設定** アプリケーションに移動し、**設定** アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **コピー/印刷** または **印刷**
 - **デバイス USB の有効化**
3. **USB ドライブからの印刷を有効化** を選択します。

方法 2: HP 内蔵 Web サーバから USB ポートを有効化 (ネットワークに接続しているプリンタのみ)

HP 内蔵 Web サーバを使用して、印刷用 USB ポートを有効にします。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面から、**[情報]**  アイコン、**[ネットワーク]**  アイコンの順に選択して、IP アドレスまたはホスト名を表示します。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されている IP アドレスをアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの **Enter** キーを押します。EWS が開きます。

 **注記:** EWS を開こうとしたときに Web ブラウザに **[この Web サイトのセキュリティ証明書に問題があります]** というメッセージが表示された場合、**[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)]** をクリックします。

[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] を選択しても、HP プリンタの EWS 内を参照している限り、コンピュータを損傷することはありません。

3. MFP モデルの場合は **[コピー/印刷]** タブ、SFP モデルの場合は **[印刷]** タブを選択します。
4. 左側のメニューで、**[USB ドライブからの印刷の設定]** を選択します。
5. **[USB ドライブからの印刷を有効化]** を選択します。
6. **[適用]** をクリックします。

索引

記号/数字

- 1 枚の用紙に印刷する複数ページ
 - 印刷 (Mac) 66
 - 印刷 (Windows) 62
- 520 枚給紙トレイ
 - 紙詰まり 174

B

- Bonjour
 - 識別する 138

E

- Explorer、サポートされているバージョン
 - HP 内蔵 Web サーバ 138

H

- HP JetAdvantage ビジネスソリューション 127
- HP Web Jetadmin 157
- HP Web Services
 - 有効化 138, 140, 146
- HP カスタマ・ケア 160
- HP 内蔵 Web サーバ (EWS)
 - 機能 138
- HP 内蔵 Web サーバ
 - HP Web Services 138, 140, 146
 - コピー設定 138, 140, 142
 - サプライ品 144
 - スキャン設定 138, 140, 142
 - セキュリティ設定 138, 140, 145
 - その他のリンクのリスト 138, 140, 148
 - デジタル送信設定 138, 140, 142
 - トラブルシューティング用ツール 138, 140, 144

- ネットワーク設定 138, 140, 146
 - ネットワーク設定の変更 149
 - ファックス設定 138, 140, 144
 - プリンタ名の変更 149
 - 印刷設定 138, 140, 142
 - 開く 149
 - 情報ページ 138, 140
 - 一般的な設定 138, 140, 141
- HP 内蔵 Web サーバ (EWS)
 - ネットワーク接続 138
 - 機能 138

I

- Internet Explorer、サポートされているバージョン
 - HP 内蔵 Web サーバ 138
- Internet Explorer、サポートされているバージョン
 - HP 内蔵 Web サーバ 138
- IPsec 153, 155
- IPv4 アドレス 149
- IPv6 アドレス 149
- IP セキュリティ 153, 155

J

- Jetadmin、HP Web 157
- JetAdvantage 127

L

- LAN ポート
 - 位置 14, 18

M

- Mac のドライバ設定
 - ジョブ保存 69

N

- Netscape Navigator、サポートされているバージョン
 - HP 内蔵 Web サーバ 138
- Netscape Navigator、サポートされているバージョン
 - HP 内蔵 Web サーバ 138

O

- OHP フィルム
 - 印刷 (Windows) 62

R

- RJ-45 ポート
 - 位置 14, 18

T

- TCP/IP
 - IPv4 パラメータの手動設定 149
 - IPv6 パラメータの手動設定 149

U

- USB
 - 保存先 126
- USB ストレージアクセサリ
 - 印刷元 73
- USB ポート
 - 有効化 73, 74, 76, 77, 215
- USB ポート
 - 位置 14, 18

W

- Web サイト
 - HP Web Jetadmin、ダウンロード 157
 - カスタマ サポート 160

Web ブラウザ要件
HP 内蔵 Web サーバー 138
Web ブラウザ要件
HP 内蔵 Web サーバ 138

あ

アクセサリ
概要 49
注文 50

い

イージー アクセス USB 印刷 73
印刷ジョブの保存 69
印刷メディア
トレイ 1 にセット 32
印刷
概要 61
保存ジョブ 69
インターフェースポート
位置 14, 17, 18
イーサネット (RJ-45)
位置 14, 18
イージー アクセス USB ポート
位置 14

え

エクスペローラ、サポートされているバージョン
HP 内蔵 Web サーバー 138
エネルギー使用、最適化 156

お

オペレーティングシステム、サポート対象 25
オン/オフ ボタン
位置 14
音響仕様 28
オンラインサポート 160
オンラインヘルプ、コントロールパネル 160

か

画質
トナーカートリッジステータスの確認 179
別のプリントドライバで試行 184
カスタマサポート
オンライン 160
紙詰まり
520 枚給紙トレイ 174

トレイ 1 173
トレイ 2 174
トレイ 3 174
排紙ビン 175
場所 170
フューザ 176
文書フィーダ 172
右のドア 176
カラー
校正 178
カラー オプション
変更、Windows 178
カラー テーマ
変更、Windows 178
ガラス面、クリーニング 195, 200, 205
カートリッジ
交換 51
く
クリーニング
ガラス面 195, 200, 205
用紙経路 178
クリーニング
用紙経路 179

け

ゲートウェイ、デフォルトの設定 149

こ

交換
ステイプル 57
トナー回収ユニット 54
トナーカートリッジ 51
高速 USB 2.0 印刷ポート
位置 14, 18
コピー
最適化、テキストまたは画像 195
コピー設定
HP 内蔵 Web サーバ 138, 140, 142
[コピー開始] ボタン
位置 14
コピー
概要 79
コントロールパネル
ヘルプ 160

コントロールパネル
位置 14
機能の位置を確認 14, 19

さ

[サインアウト] ボタン
位置 14, 19
[サインイン] ボタン
位置 14, 19
削除
保存ジョブ 69
サブネットマスク 149
サプライ品
概要 49
ステイプルの交換 57
注文 50
トナー回収ユニットの交換 54
トナーカートリッジの交換 51
サプライ品
HP 内蔵 Web サーバ 144
低いときに使用する 162
低い閾値の設定 162
サポート
オンライン 160
サポートされているオペレーティングシステム 25

し

システム要件
HP 内蔵 Web サーバー 138
システム要件
HP 内蔵 Web サーバ 138
重量、プリンタ 27
正面ドア
位置 14
仕様
電気および音響 28
プリンタの寸法 27
ジョブの保存
Windows での 69
ジョブ、保存済み
Mac の設定 69
印刷 69
削除 69
作成 (Windows) 69
ジョブ、保存
削除 72
シリアル番号
位置 14, 17

す

- スキャナ
 - ガラス面のクリーニング 195, 200, 205
 - 校正 195
- スキャン
 - 最適化、テキストまたは画像 200
 - スキャンした画像の最適化 200
 - スキャンしてUSBドライブに保存 126
 - 有効化 118
 - スキャンしてプリンタのフォルダに保存 123
 - スキャンしてプリンタのメモリに保存 123
- スキャン
 - 概要 85
- スキャンデータをネットワークフォルダに送信
 - シヨキセットアップ 102
- スキャン、USBドライブ 126
- スキャン設定
 - HP 内蔵 Web サーバ 138, 140, 142
- ステイプル
 - 交換 57
- ステータス、ファックスアクセサリ ページ 209, 210
- スリープ遅延
 - 設定 156
- 寸法、プリンタ 27

せ

- 製品番号
 - 場所 14, 17
- セキュリティ
 - 暗号化されたハードディスク 153, 155
 - 付属 23
- セキュリティ設定
 - HP 内蔵 Web サーバ 138, 140, 145
- セット
 - トレイ 1 の用紙 32
 - トレイ 2 および 3 の用紙 39
 - トレイ 4 および 5 の用紙 39

そ

- その他のリンクのリスト
 - HP 内蔵 Web サーバ 138, 140, 148

た

- 代替レターヘッドモード 32, 38, 44
- タッチスクリーン
 - 機能の位置を確認 14, 19

ち

- 注文
 - サプライ品とアクセサリ 50

て

- テクニカル サポート
 - オンライン 160
- デジタル送信
 - プリンタのメモリ 123
- デジタル送信
 - USB 126
- デジタル送信設定
 - HP 内蔵 Web サーバ 138, 140, 142
- デフォルト ゲートウェイ、設定 149
- 電気仕様 28
- 電源スイッチ
 - 位置 14
- 電源接続
 - 位置 14
- 電源
 - 消費 28

と

- トナーカートリッジ
 - 低いときに使用する 162
 - 低い閾値の設定 162
- トナー回収ユニット
 - 位置 14
 - 交換 54
- トナーカートリッジ
 - 交換 51
 - コンポーネント 51
- トラブルシューティング
 - トナーカートリッジステータスの確認 178, 181
 - 紙詰まり 171
 - 用紙送りに関する問題 163

- トラブルシューティング用ツール
 - HP 内蔵 Web サーバ 138, 140, 144

トラブルシューティング

- 概要 159
- 紙詰まり 170
- トナーカートリッジステータスの確認 179
- 別のプリントドライバで試行 184

トレイ

- 収納枚数 23
- 付属 23
- トレイ 1
 - 位置 14
 - 紙詰まり 173
 - 封筒のセット 45
 - 用紙の向き 32, 33

トレイ 2

- 位置 14
- 紙詰まり 174
- セット 39
- 用紙の向き 39, 41

トレイ 3

- 位置 14
- 紙詰まり 174
- セット 39
- 用紙の向き 39, 41

トレイ 4

- セット 39
- 用紙の向き 39, 41

トレイ 5

- セット 39
- 用紙の向き 39, 41

トレイ

- 位置 14
- 代替レターヘッドモードの使用 38, 44

な

- 内蔵 Web サーバー (EWS)
 - 機能 138

ね

- ネットワーク
 - HP Web Jetadmin 157
 - IPv4 アドレス 149
 - IPv6 アドレス 149
 - サブネットマスク 149
 - デフォルトゲートウェイ 149

プリンタ名、変更 149
設定、表示 149
設定、変更 149
対応 23
ネットワークの管理 149
ネットワークリンク速度、変更
149
ネットワーク設定
HP 内蔵 Web サーバ 138, 140,
146
ネットワーク二重通信設定、変
更 149

は

ハードディスク
暗号化 153, 155
排紙ビン
位置 14
紙詰まりの解消 175
ハードウェア統合ポケット (HIP)
位置 14

ひ

ビン、排紙
位置 14

ふ

ファックス
セットアップ 130
給紙の問題 209, 213
最適化、テキストまたは画像
205
設定 131
必須設定 130
ファックスイメージの最適化
205
ファックス
概要 129
ファックスポート
位置 14
ファックス設定
HP 内蔵 Web サーバ 138, 140,
144
必要 130
封筒、セット 45
封筒
向き、セット 45
向き 32
フォーマッタ
位置 14, 17

部品

概要 49
フューザ
紙詰まり 176
プライベート印刷 69
プライベート印刷 69
ブラウザ要件
HP 内蔵 Web サーバ 138
ブラウザ要件
HP 内蔵 Web サーバ 138
プリンタの管理
概要 137
プリンタの仕様
概要 23
プリンタのメモリに保存 123
プリンタのメモリ
送信先 123
プリンタのメモリ、スキャン先
123
プリンタ
概要 11
プリントドライバ
プリンタ サポート Web サイト
からダウンロード 184
文書フィーダ
位置 14
紙詰まり 172

へ

ページ数/分 23
[ヘルプ] ボタン
位置 14, 19
ヘルプ、コントロールパネル 160

ほ

保存ジョブ
印刷 69
削除 69
作成 (Mac) 69
作成 (Windows) 69
保存、ジョブ
Mac の設定 69
ポート
位置 14, 18
[ホーム] ボタン
位置 14, 19

ま

マージン、最小
コピー 195

み

右のドア
位置 14
紙詰まり 176

む

向き
封筒 45
ラベル 47

め

メモリ
付属 23

よ

用紙トレイ
概要 31
ヨウシノピックアップニカンスル
モンダイ
カイケツ 163
用紙、注文 50
用紙
選択 179
トレイ 1 のセット 32
トレイ 1 の向き 32, 33
トレイ 2 および 3 のセット 39
トレイ 4 および 5 のセット 39
トレイ X の向き 39, 41

ら

ラベル
印刷 (Windows) 62
ラベル
印刷 47
向き、セット 47
向き 47
ラベル、セット 47

ろ

ロック
フォーマッタ 153, 155
ローカルエリア ネットワーク
(LAN)
位置 14, 18

ん

「EconoMode」設定 178
印刷
USB ストレージ アクセサリか
ら 73
印刷ジョブの保存 69

- 印刷、両面
 - Mac 66
 - Windows 62
 - 手差し、Windows 62
 - 設定 (Windows) 62
- 印刷設定
 - HP 内蔵 Web サーバ 138, 140, 142
- 画像品質
 - トナーカートリッジステータスの確認 178, 181
- 感電の危険性 13
- 技術仕様 23
- 給紙の問題 209, 213
- 校正
 - カラー 178
 - スキャナ 195
- 最小マージン 195
- 最小マージンコピー 195
- 最適化、コピー結果 195
- 削除
 - 保存ジョブ 72
- 使用電力
 - 1W 以下 156
- 紙詰まり
 - 原因 171
 - 自動ナビゲーション 171
- 手差し両面印刷
 - Mac 66
 - Windows 62
- 出荷時の設定に戻す 161
- 情報ページ
 - HP 内蔵 Web サーバ 138, 140
- 設定
 - ファックス 131
 - 出荷時の (デフォルト) 設定に戻す 161
- 全般的な設定
 - HP 内蔵 Web サーバ 138, 140, 141
- 速度、最適化 156
- 特殊用紙
 - 印刷 (Windows) 62
- 内蔵 Web サーバ
 - ネットワーク設定の変更 149
 - プリンタ名の変更 149
 - 開く 149
- 内蔵 Web サーバ (EWS)
 - ネットワーク接続 138
- パスワードの割り当て 153, 154
- 機能 138
- 必須設定
 - ファックス 130
- 文書フィーダ
 - 給紙の問題 163, 169
- 保存ジョブ
 - 削除 72
- 用紙
 - 紙詰まり 171
 - 選択する 178, 183
- 用紙あたりのページ数
 - 選択 (Mac) 66
 - 選択 (Windows) 62
- 用紙タイプ
 - 選択 (Mac) 66
 - 選択 (Windows) 62
- 用紙のピックアップに関する問題
 - 解決 163, 165
- 両面に印刷する
 - 設定 (Windows) 62
- 両面印刷
 - Mac 66
 - Windows 62
 - 手動 (Mac) 66
 - 手動 (Windows) 62
 - 設定 (Windows) 62

